

平成23年度

香川県

歯の健康と医療費に関する実態調査

報告書

平成24年3月

香川県

(社) 香川県歯科医師会

共同研究 監修：香川大学教授 真鍋芳樹
協 力 香川県国民健康保険団体連合会
香川県後期高齢者医療広域連合

目 次

I 平成23年5月歯科受診者の受診前1年間の1人あたり日数・医療費	1
一 調査の概要	1
1 調査の対象	1
2 残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度の調査方法	1
二 調査・分析結果	3
A 平成 23 年 5 月歯科受診者の属性	3
(1) 性別・年齢階級別の構成	3
(2) 対象者の残存歯数の状況	3
2-1 年齢階級別残存歯数階級別別人数	3
2-2 年齢階級別残存歯数状況	4
(3) 対象者の歯周病の状況	5
3-1 年齢階級別歯周病の程度別別人数	5
3-2 年齢階級別歯周病の状況	5
(4) 対象者の歯科健診受診頻度の状況	6
4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別別人数	6
B 平成 23 年 5 月に歯科を受診し、平成 22 年 5, 8, 11, 平成 23 年 2 月に受診した者の状況	7
1 分析対象者および分析方法	7
2 分析項目	7
3 分析結果	9
(1) 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度別医科、歯科、調剤別 一人あたり日数・診療費の状況	9
残存歯数別日数	9
歯周病の程度別日数	10
歯科健診受診頻度別日数	11
残存歯数別診療費	12
歯周病の程度別診療費	14
歯科健診受診頻度別診療費	16
(2) 19分類別の分析	18
残存歯数別19分類疾病別日数	18
歯周病の程度別19分類疾病別日数	19
歯科健診受診頻度別19分類疾病別日数	20
残存歯数別19分類疾病別診療費	21
歯周病の程度別19分類疾病別診療費	22
歯科健診受診頻度別19分類疾病別診療費	23
(3) 主要疾病別分析	24
悪性新生物	24
虚血性心疾患	27
脳血管疾患	30
糖尿病	33
高血圧性疾患	36
動脈硬化症	39
歯の疾患	42
(4) 生活習慣病に関する分析	45
まとめ・考察(I)	51

II 平成22年度特定健診受診者の特定健診結果	54
一 調査の概要	54
1 分析対象者および分析方法	54
二 調査・分析結果	55
A 平成22年度特定健診受診者の属性	55
(1) 性別・年齢階級別の構成	55
(2) 対象者の歯科階層化判定の状況	55
(3) 対象者の歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)の回答の状況	56
B 平成22年度特定健診受診者の特定健診結果の状況	57
(1) 特定健診の歯科階層化判定及び歯科質問項目1回答別、特定健診結果の状況	57
1-1 歯科階層化判定別 BMI	57
1-2 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 BMI	58
1-3 歯科階層化判定別 腹囲	59
1-4 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 腹囲	60
1-5 歯科階層化判定別 HbA1c	61
1-6 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 HbA1c	62
1-7 歯科階層化判定別 尿糖	63
1-8 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 尿糖	64
1-9 歯科階層化判定別 喫煙	65
1-10 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 喫煙	66
1-11 歯科階層化判定別 メタボ判定区分	67
1-12 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 メタボ判定区分	68
まとめ・考察(Ⅱ)	69
III 平成22年度特定健診受診者のうち平成22年5,8,11,平成23年2月に受診した者の状況	70
一 調査の概要	70
1 分析対象者および分析方法	70
2 分析項目	70
二 調査・分析結果	71
(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別医科、歯科、調剤別	
一人あたり日数・診療費の状況	71
1-1 歯科階層化判定別日数	71
1-2 歯科階層化判定別診療費	72
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別医科、歯科、調剤別	
一人あたり日数・診療費の状況	73
2-1 歯科質問項目1別日数	73
2-2 歯科質問項目1別診療費	74
(3) 主要疾病別分析	75
悪性新生物	75
虚血性心疾患	77
脳血管疾患	79
糖尿病	81
高血圧性疾患	83
動脈硬化症	85
歯の疾患	87
(4) 生活習慣病に関する分析	89
まとめ・考察(Ⅲ)	91

IV 平成 22 年度特定健診受診者のうち平成 23 年 5 月に歯科を受診した者の状況	92
一 調査の概要	92
1 分析対象者および分析方法	92
二 調査・分析結果	93
(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況	93
1-1 歯科階層化判定別残存歯数	93
1-2 歯科階層化判定別歯周病の程度	94
1-3 歯科階層化判定別歯科健診受診頻度	95
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況	96
2-1 歯科質問項目1別残存歯数	96
2-2 歯科質問項目1別歯周病の程度	97
2-3 歯科質問項目1別歯科健診受診頻度	98
まとめ・考察(IV)	99

I 平成23年5月歯科受診者の受診前1年間の1人あたり日数・医療費

一 調査の概要

1 調査の対象

平成23年5月末日時点で香川県内の40歳以上の国民健康保険被保険者あるいは後期高齢者医療被保険者で、同月中に歯科を受診した者を調査対象とした。

分析は以下の視点で行った。なお分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、受診者1人あたりの諸数値を求めた。なお、個人コードは完全に数値化され、個人名等の特定は不可能な状態で分析を行った。

(A) 香川県歯科医師会会員の調査協力を得て、平成23年5月に歯科を受診した40歳以上の国民健康保険あるいは後期高齢者医療の被保険者のレセプトに記載された残存歯数と歯周病の程度、歯科健診受診頻度を基に、これらの状況を分析した。

(B) 香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成22年5月、8月、11月、平成23年2月診療分のレセプト(これらは疾病分類を行っている)を入手し、上記歯科受診者と突合を行い、歯科受診前約1年間の医科(入院・入院外)・歯科・調剤の日数・診療費及び19分類疾病や悪性新生物、脳血管疾患をはじめとする主要疾病等生活習慣病の日数・診療費と残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度との関連を分析した。

以下の表に分析対象としたレセプト数(調剤を含む)と名寄せ人数等を示す。

平成23年5月診療分の歯科 〔(A)の視点の分析〕	レセプト数	15,624件
平成23年5月に歯科受診者で、 平成22年5,8,11,平成23年2月(病類月)診療分 〔(B)の視点の分析〕	レセプト数	139,503件
	医科	入院レセプト 1,697件
		外来レセプト 137,806件
	歯科	歯科レセプト 20,046件
		調剤レセプト 42,225件
	名寄せ人数	14,550人
	歯科受診者の	93.1%

2 残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度の調査方法

- ① 歯科レセプトの傷病名部位欄に、香川県歯科医師会会員が残存歯数及び歯周病の程度、歯科健診受診頻度を記載した。
- ② 残存歯数は、智歯は含み、C4は除外した。
残存歯数を基に「0~4歯」「5~9歯」「10~14歯」「15歯~19歯」「20歯以上」の5分類で分析した。
- ③ 歯周病の程度は、抜歯部位以外の最も重症な部位について、下の判定表を参考に、歯槽骨の吸収程度(X線撮影)、歯周ポケットの深さ、歯の動搖度(Miller分類)、根分岐部病変(Lindhe分類)などを総合的に考慮して4段階に分類した。
歯周病のないものはP-を記載し、軽度P1、中程度P2、重度P3と記載した。残存歯数が0のものは歯周病の程度は記載せず、集計時に無歯とし、P-~P3ならびに無歯の5分類で分析した。

歯周病	ポケット	歯の動搖	骨吸収(歯根長の)	根分岐病変
軽度 「P1」	3~5mm	0~1度	1/3 以下	なし
中等度「P2」	4~7mm	1~2 度	1/3~1/2	軽度
重度 「P3」	6mm以上	2~3 度	1/2 以上	2~3 度

- ④ 歯科健診受診頻度は、平成 22 年 6 月～平成 23 年 5 月に歯科健診を受診した回数を記載した。歯科健診とは、治療目的ではなく歯の健康維持のため歯科医院等で口腔内診査を受け、状況に応じて指導やPMTC等のメインテナンスを行っていることで、歯周治療終了後のSPTも含めた。また、1回の歯科健診で、一連の処置等により複数の受診日数がある場合でも、歯科健診の回数としては1回と数えた。

二 調査・分析結果

A 平成 23 年 5 月歯科受診者の属性

(1) 性別・年齢階級別の構成

対象となった歯科受診者 15,624 人の性別・年齢階級別の構成は次のとおりである。

表 A-1-1 性別・年齢階級別人数・割合

年齢階級	男性		女性	
	人数	割合	人数	割合
40 歳代	263	3.9%	311	3.5%
50 歳代	486	7.3%	660	7.4%
60-64 歳	780	11.7%	1,187	13.3%
65-69 歳	1,211	18.1%	1,476	16.5%
70-74 歳	1,309	19.6%	1,658	18.5%
75-79 歳	1,361	20.4%	1,799	20.1%
80 歳以上	1,273	19.0%	1,850	20.7%
合計	6,683	100.0%	8,941	100.0%

(2) 対象者の残存歯数の状況

2-1 年齢階級別残存歯数階級別人数

年齢階級別残存歯数について人数ならびに割合を表 A-2-1 および図 A-2-1 に示す。

40 歳代では 0-4 歯が 0.2%、20 歯以上が 94.4% であるのに対して、80 歳以上では 0-4 歯が 22.7%、20 歯以上が 31.1% と年齢が高くなるにつれて、残存歯数が減少していた。

表 A-2-1 年齢階級別残存歯数階級別人数

年齢階級	0-4 歯	5-9 歯	10-14 歯	15-19 歯	20 歯以上	総数
40 歳代	1	1	12	18	542	574
50 歳代	18	30	50	105	943	1,146
60-64 歳	60	89	156	228	1,434	1,967
65-69 歳	139	178	247	367	1,756	2,687
70-74 歳	200	269	309	483	1,706	2,967
75-79 歳	351	366	458	545	1,440	3,160
80 歳以上	709	491	479	472	972	3,123
合計	1,478	1,424	1,711	2,218	8,793	15,624
40 歳代	0.2%	0.2%	2.1%	3.1%	94.4%	100.0%
50 歳代	1.6%	2.6%	4.4%	9.2%	82.3%	100.0%
60-64 歳	3.1%	4.5%	7.9%	11.6%	72.9%	100.0%
65-69 歳	5.2%	6.6%	9.2%	13.7%	65.4%	100.0%
70-74 歳	6.7%	9.1%	10.4%	16.3%	57.5%	100.0%
75-79 歳	11.1%	11.6%	14.5%	17.2%	45.6%	100.0%
80 歳以上	22.7%	15.7%	15.3%	15.1%	31.1%	100.0%
合計	9.5%	9.1%	11.0%	14.2%	56.3%	100.0%

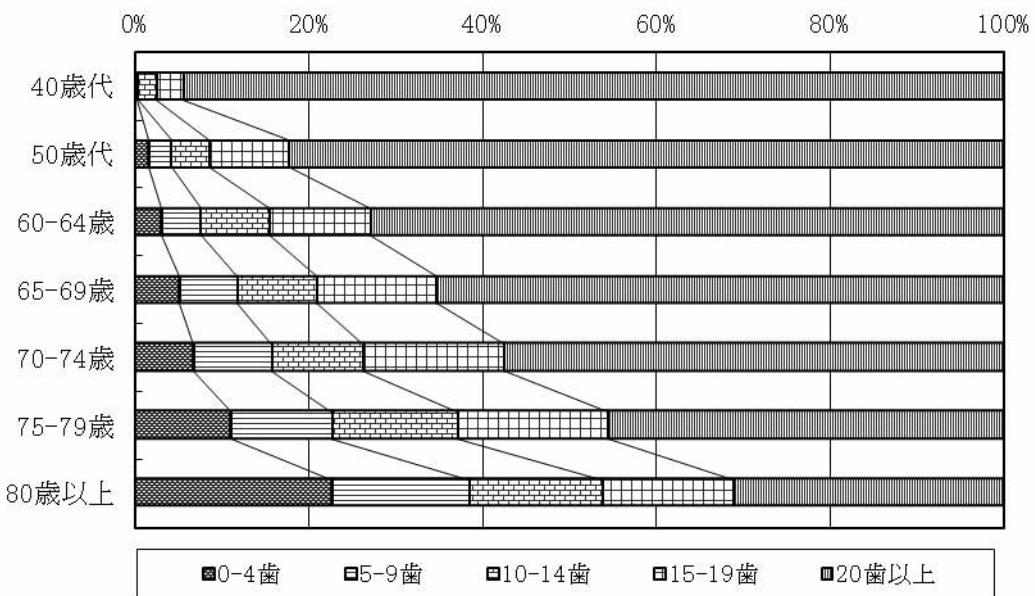


図 A-2-1 年齢階級別残存歯数階級別人数の割合

2-2 年齢階級別残存歯数状況

対象者のうち 80 歳以上(3,123 人)の平均残存歯数は 14.4 本で、20 歯以上(8020 達成者)は 972 人(31.1%)であった。80 歳以上の平均残存歯数は、平成 17 年 2 月調査では 10.6 本、平成 19 年 2 月調査では 11.7 本、平成 20 年 5 月調査では 12.5 本、平成 21 年 5 月調査では 11.8 本、平成 22 年 5 月調査では 12.6 本であったが、今回の調査では 14.4 本であり、過去最高であった。また 80 歳以上で 20 歯以上の割合は、平成 17 年 2 月調査では 19.7%、平成 19 年 2 月調査では 22.7%、平成 20 年 5 月調査では 24.9%、平成 21 年 5 月調査では 24.8%、平成 22 年 5 月調査では 27.0% と増加し、今回の調査では 31.1% となり、「健やか香川21ヘルスプラン」の 24 年度までの目標値 30% を超えた。79 歳以下の年齢階級においても、65-69 歳以外で、平均残存歯数、20 歯以上の割合とも過去最高となり、全体的にも、着実に改善されている。

表 A-2-2 年齢階級別残存歯数状況

年齢	人数	平均 残歯数	最小値	最大値	人数		割合	
					0-19歯	20歯以上	0-19歯	20歯以上
40 歳 代	574	26.5	4	32	32	542	5.6%	94.4%
50 歳 代	1,146	23.8	0	32	203	943	17.7%	82.3%
60-64 歳	1,967	22.0	0	32	533	1,434	27.1%	72.9%
65-69 歳	2,687	20.5	0	32	931	1,756	34.6%	65.4%
70-74 歳	2,967	19.4	0	32	1,261	1,706	42.5%	57.5%
75-79 歳	3,160	17.3	0	32	1,720	1,440	54.4%	45.6%
80 歳 以上	3,123	14.4	0	31	2,151	972	68.9%	31.1%
合 計	15,624	19.1	4	32	6,831	8,793	43.7%	56.3%

(3) 対象者の歯周病の状況

3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数

年齢階級別歯周病の程度について人数ならびに割合を表 A-3-1 および図 A-3-1 に示す。

表 A-3-1 の下段には無歯を除いた者のうちの P- ~P3 の割合を示している。

40 歳代では P1(軽度)が 47.5%、P3(重度)が 10.1%であるのに対して、80 歳以上では P1 が 20.0%、P3 が 23.3%と年齢が高くなるにつれて、歯周病の程度が重症になっていた。

表 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数

年齢階級	P-	P1	P2	P3	P1~P3(再掲)	無歯	総数
40 歳代	11	272	232	58	562	1	574
50 歳代	23	381	544	191	1,116	7	1,146
60-64 歳	44	581	1,022	300	1,903	20	1,967
65-69 歳	41	677	1,435	483	2,595	51	2,687
70-74 歳	36	705	1,622	523	2,850	81	2,967
75-79 歳	38	702	1,696	577	2,975	147	3,160
80 歳以上	39	548	1,511	636	2,695	389	3,123
合 計	232	3,866	8,062	2,768	14,696	696	15,624
40 歳代	1.9%	47.5%	40.5%	10.1%	98.1%		
50 歳代	2.0%	33.5%	47.8%	16.8%	98.0%		
60-64 歳	2.3%	29.8%	52.5%	15.4%	97.7%		
65-69 歳	1.6%	25.7%	54.4%	18.3%	98.4%		
70-74 歳	1.2%	24.4%	56.2%	18.1%	98.8%		
75-79 歳	1.3%	23.3%	56.3%	19.2%	98.7%		
80 歳以上	1.4%	20.0%	55.3%	23.3%	98.6%		
合 計	1.6%	25.9%	54.0%	18.5%	98.4%		

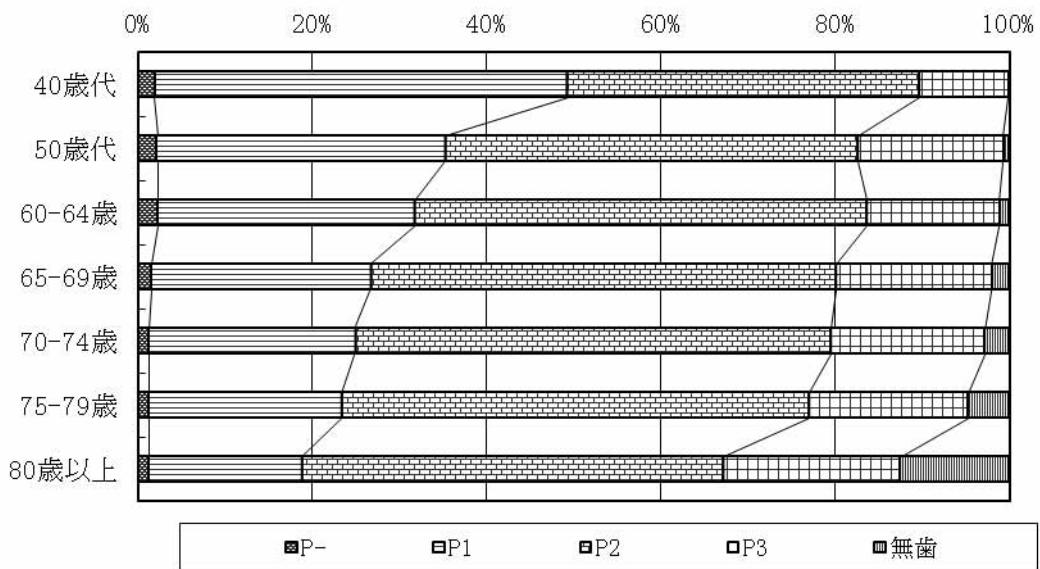


図 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別割合

3-2 年齢階級別歯周病の状況

有歯者のうち何らかの歯周病がある者(P1~P3)は、全ての年齢階級で、98%前後と高率になっていた。年齢階級別歯周病の程度別割合は、過去4回の調査と比較して、40歳代50歳代で、P3の割合が高くなり、重症化が認められた。

(4) 対象者の歯科健診受診頻度の状況

4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数

年齢階級別歯科健診受診頻度について人数ならびに割合を表A-4-1および図A-4-1に示す。

歯科健診を受診していない人の割合は70-74歳の年齢階級が54.1%と最も少なく、80歳以上が68.0%で最も多かった。歯科健診を受診する人の割合は、60-74歳が高く、ここから高齢層、若年層になるにつれて、少しづつ減少していた。

表 A-4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数

年齢階級	0回	1回	2回	3回以上	総数
40歳代	376	96	37	65	574
50歳代	707	162	97	180	1,146
60-64歳	1,093	326	176	372	1,967
65-69歳	1,486	455	257	489	2,687
70-74歳	1,605	490	255	617	2,967
75-79歳	1,805	487	265	603	3,160
80歳以上	2,125	423	183	392	3,123
合計	9,197	2,439	1,270	2,718	15,624
40歳代	65.5%	16.7%	6.4%	11.3%	100.0%
50歳代	61.7%	14.1%	8.5%	15.7%	100.0%
60-64歳	55.6%	16.6%	8.9%	18.9%	100.0%
65-69歳	55.3%	16.9%	9.6%	18.2%	100.0%
70-74歳	54.1%	16.5%	8.6%	20.8%	100.0%
75-79歳	57.1%	15.4%	8.4%	19.1%	100.0%
80歳以上	68.0%	13.5%	5.9%	12.6%	100.0%
合計	58.9%	15.6%	8.1%	17.4%	100.0%

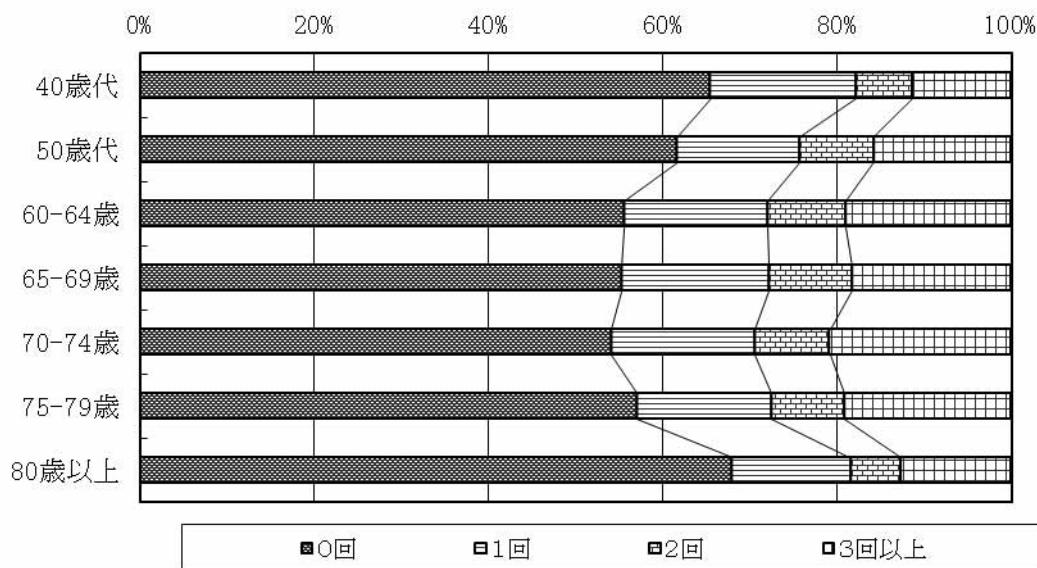


図 A-4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別割合

B 平成 23 年 5 月に歯科を受診し、平成 22 年 5, 8, 11, 平成 23 年 2 月に受診した者の状況

1 分析対象者および分析方法

香川県国保連合会および香川県後期高齢者医療広域連合では毎年度 5, 8, 11, 2 月診療分のレセプトについて疾病分類を行っているので、この 4 か月分のレセプトを用いて以下の項目について分析を行った。分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、分析に使用した。レセプトは 4 か月分なので求めた諸数値を 3 倍して、受診者 1 人あたり 1 年間の諸数値を求めた。

診療日数や診療費の分布はほとんどの場合、正規分布しない。そのような分布において、平均値は飛び外れた高い値に影響を受けるので、集団の代表値として適さないこともある。そのような場合、中央値は代表値として有用である。そこで、今回の分析では、それぞれの平均値とともに中央値を求めた。グラフでは、平均値を棒グラフに、中央値を折れ線グラフで示した。

2 分析項目

(1) 医科(入院・外来含む)、歯科、調剤別

(2) 疾病 19 分類

疾病 19 分類に調剤を加えた 20 分類で分析した。

下表に 19 分類名および本報告書での表記について記した。

疾病 19 分類 + 調剤	本報告での表記	対象者(人)
調剤	0_調剤	10,862
感染症及び寄生虫症	1_感染症	1,166
新生物	2_新生物	1,477
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3_血液・免疫	123
内分泌、栄養及び代謝疾患	4_内分泌	2,796
精神及び行動の障害	5_精神	722
神経系の疾患	6_神経系	879
眼及び付属器の疾患	7_眼	3,946
耳及び乳様突起の疾患	8_耳	793
循環器系の疾患	9_循環器系	5,702
呼吸器系の疾患	10_呼吸器系	2,276
消化器系の疾患	11_消化器系	10,536
皮膚及び皮下組織の疾患	12_皮膚	1,828
筋骨格系及び結合組織の疾患	13_筋骨格系	4,335
尿路性器系の疾患	14_尿路性器系	1,256
妊娠、分娩及び産じょく	15_妊娠分娩	1
周産期に発生した病態	16_周産期	0
先天奇形、変形及び染色体異常	17_先天奇形	51
症状、徵候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18_症状・徵候	851
損傷、中毒及びその他の外因の影響	19_損傷・中毒	1,416

なお、15_妊娠分娩、16_周産期は該当が少数だったため分析から除外した。

(3) 主要疾病別

以下の疾病を主要疾病とし、この疾病に分類されないものを「その他」として分析した。

主要疾病名	対象者(人)
悪性新生物	1,157
虚血性心疾患	615
脳血管疾患	813
糖尿病	1,368
高血圧性疾患	3,848
動脈硬化症	57
歯の疾患	9,817

(4) 生活習慣病

以下の疾病を生活習慣病として分析した。

悪性新生物 虚血性心疾患 脳血管疾患
糖尿病 高血圧性疾患 動脈硬化症

生活習慣病で受診した者は 6,898 人 (47.4%) であった。

残存歯数、歯周病の程度、受療状況等は年齢にも大きく依存するため、主要疾病と生活習慣病の分析では、年齢階級別に分析した。

3 分析結果

(1) 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

残存歯数別日数(一人あたり1年間、日)

全体の平均日数は医科 41.1 日で、歯科の 13.6 日に比べて約 28 日ほど長くなっていた。また、調剤は 16.6 日で歯科よりも多くなっていた。

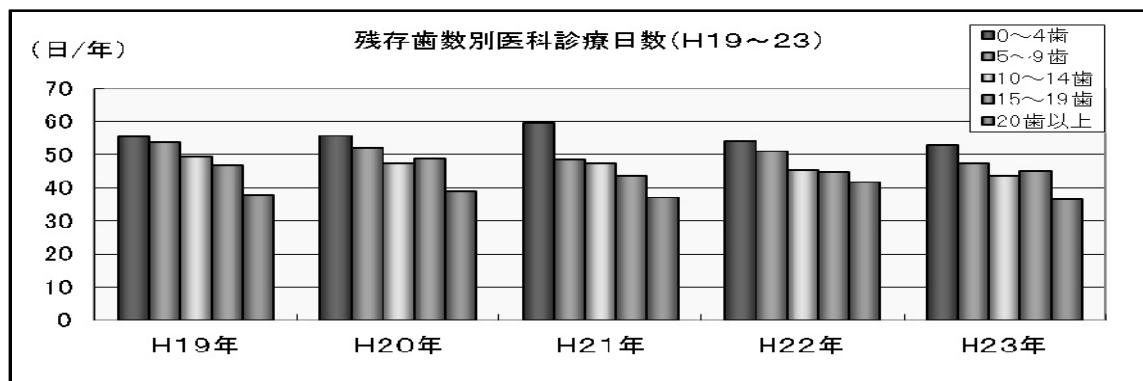
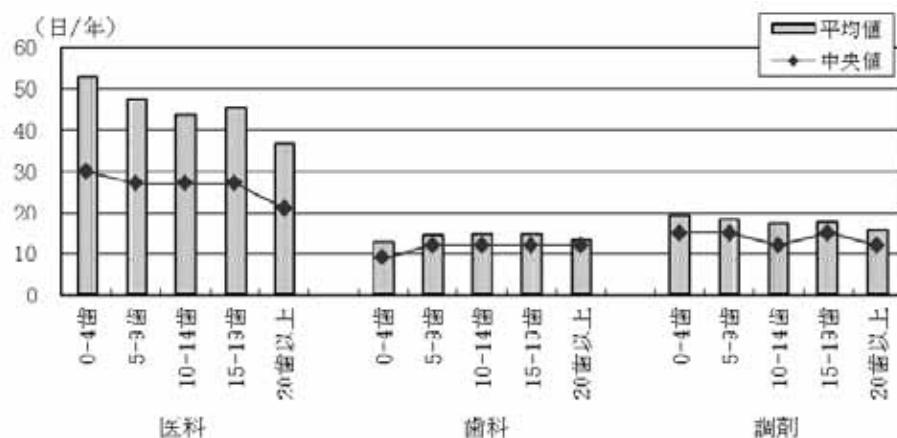
医科では 0-4 歯の平均日数が 52.8 日、20 歯以上が 36.4 日と、残存歯数が多いほど日数が少なくなっていた。歯科では 10-14 歯が平均 14.5 日と最も日数が多くなっていた。

調剤では 0-4 歯が平均 19.2 日、20 歯以上が 15.6 日と、残存歯数が多いほど日数が少なくなっていた。

19 歯以下と 20 歯以上では、医科、歯科、調剤ともに 19 歯以下のほうが多くなっていた。

これらの傾向は、平成 19 年、20 年、21 年、22 年の調査と同じである。

残存歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	1,402	52.8	30.0	12.6	9.0	19.2	15.0
5 - 9 歯	1,358	47.5	27.0	14.2	12.0	18.1	15.0
10 - 14 歯	1,624	43.6	27.0	14.5	12.0	17.0	12.0
15 - 19 歯	2,091	45.0	27.0	14.3	12.0	17.4	15.0
19 歯以下(A)	6,475	46.9	27.0	14.1	12.0	17.8	15.0
20 歯以上(B)	8,075	36.4	21.0	13.2	12.0	15.6	12.0
全 体	14,550	41.1	24.0	13.6	12.0	16.6	12.0
比 較 (A)/(B)	80.2%	129.0%	128.6%	106.8%	100.0%	114.5%	125.0%



平成 19~23 年調査別 残存歯数別診療日数(医科)

歯周病の程度別日数(一人あたり1年間、日)

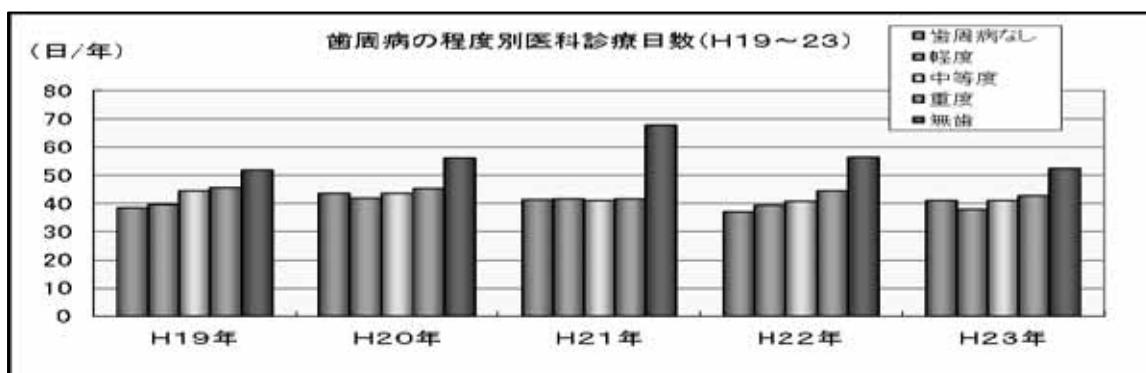
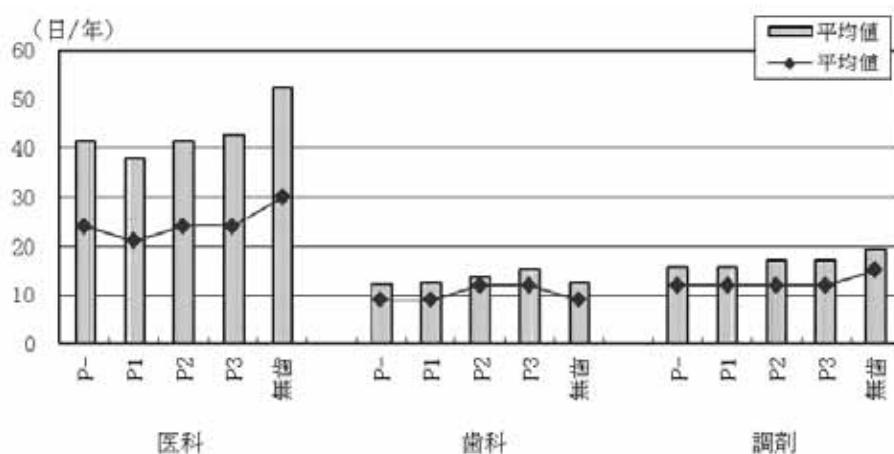
医科ではP- の平均日数が41.2日であったが、歯周病ありの中では、P1が38.0日、P3が42.8日と、重度ほど日数が多くなっていた。

歯科ではP- が平均12.3日、P3が15.2日と、重度ほど日数が多くなっていた。

調剤ではP- が平均15.6日、P1が15.5日、P2とP3が16.9日と重度の方が多くなっていた。

歯周病あり・なしでは、医科では歯周病なしの方が多かったが、歯科、調剤では、歯周病ありのほうが多くなっていた。

歯周病分類	人 数	医科		歯科		調剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	274	41.2	24.0	12.3	9.0	15.6	12.0
P1	3,547	38.0	21.0	12.4	9.0	15.5	12.0
P2	7,559	41.1	24.0	13.6	12.0	16.9	12.0
P3	2,576	42.8	24.0	15.2	12.0	16.9	12.0
歯周病有り(A)	13,682	40.6	24.0	13.6	12.0	16.5	12.0
無歯	594	52.4	30.0	12.5	9.0	19.3	15.0
全 体	14,550	41.1	24.0	13.6	12.0	16.6	12.0
比較(A)/(P-)	4993.4%	98.5%	100.0%	110.7%	133.3%	106.0%	100.0%



平成19～23年調査別 歯周病の程度別診療日数(医科)

歯科健診受診頻度別日数(一人あたり1年間、日)

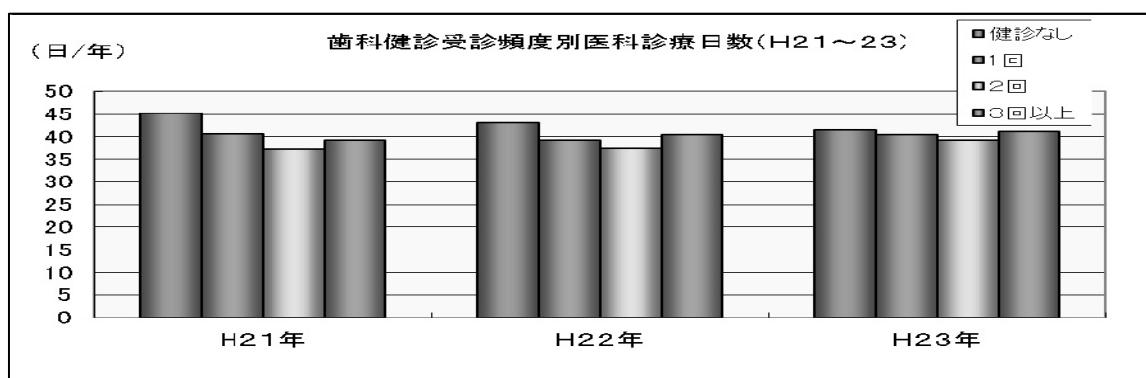
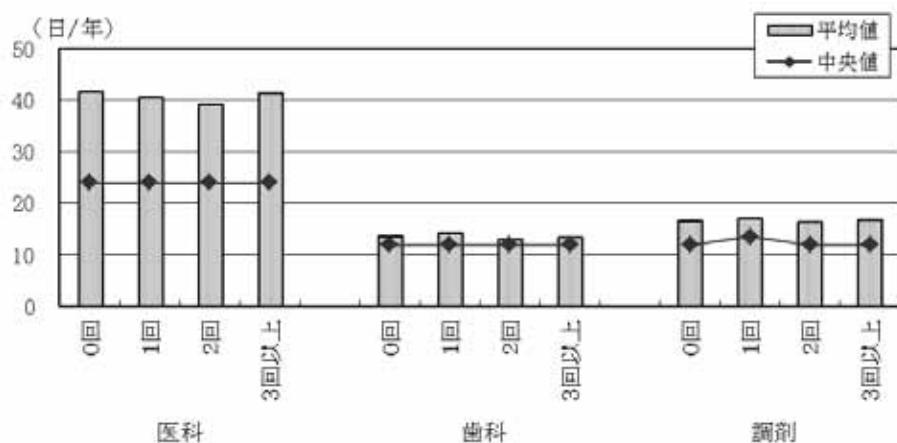
医科では健診なしの平均日数が41.6日、1回が40.4日、2回が39.2日と歯科健診を受診するほど日数が少くなり、3回以上では41.2日と2回よりやや多くなっていた。

歯科では健診なし13.6日、1回が14.2日で、2回が12.9日、3回以上が13.3日と1回が最も多くなっていた。

調剤では健診なし16.5日、1回が16.9日で最も多く、2回が16.4日、3回以上では16.8日と2回より多くなっていた。

健診あり・なしでは、医科、歯科、調剤とも、健診ありの方が少なくなっていた。

健 診 頻 度	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	8,413	41.6	24.0	13.6	12.0	16.5	12.0
1 回	2,289	40.4	24.0	14.2	12.0	16.9	13.5
2 回	1,221	39.2	24.0	12.9	12.0	16.4	12.0
3 回以上	2,627	41.2	24.0	13.3	12.0	16.8	12.0
健 診 有 り (B)	6,137	40.5	24.0	13.5	12.0	16.8	12.0
全 体	14,550	41.1	24.0	13.6	12.0	16.6	12.0
比 較 (A)/(B)	137.1%	102.6%	100.0%	100.9%	100.0%	98.7%	100.0%



平成 21～23 年調査別 歯科健診受診頻度別診療日数(医科)

残存歯数別診療費(一人あたり1年間、円)

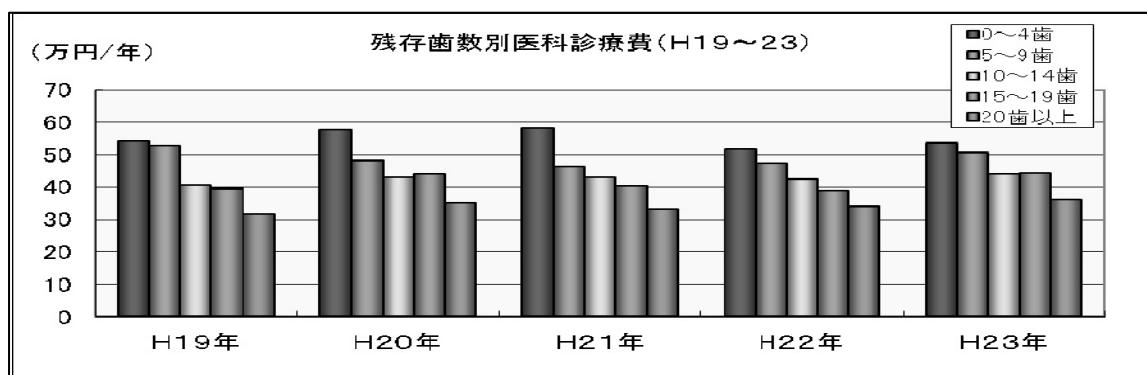
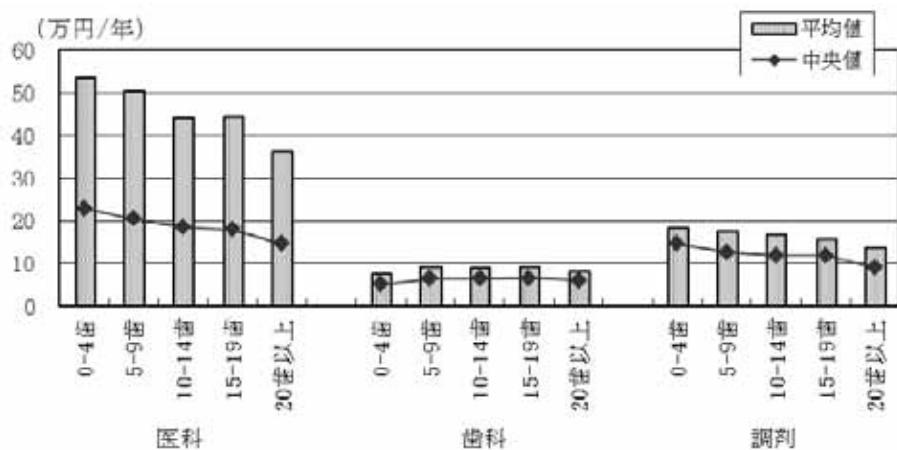
全体の平均診療費は医科約41.4万円で、歯科の約8.3万円に比べて約33万円高くなっていた。また、調剤は約15.1万円で歯科よりも約7万円高くなっていた。

医科では0-4歯の平均診療費が約53.7万円、20歯以上が約36.1万円と、残存歯数が多いほど診療費が低くなっていた。歯科では0-4歯は平均約7.6万円、15-19歯は約9.1万円であったが、20歯以上は約8.0万円と低くなっていた。調剤では0-4歯が平均約18.3万円、20歯以上が約13.6万円と、残存歯数が多いほど診療費が低くなっていた。

19歯以下と20歯以上では、医科、歯科、調剤ともに19歯以下のほうが高くなっていた。特に医科では19歯以下は20歯以上の約1.3倍高くなっていた。

これらの傾向は、平成19年、20年、21年、22年の調査と同じである。

残存歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剂	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4歯	1,402	536,668	228,915	75,688	51,090	183,375	145,440
5 - 9歯	1,358	506,190	203,685	90,444	63,870	173,856	126,690
10 - 14歯	1,624	440,775	184,230	88,511	63,090	167,001	117,975
15 - 19歯	2,091	443,187	179,355	91,114	65,070	157,078	118,620
19歯以下(A)	6,475	476,464	196,575	87,603	61,980	168,947	124,320
20歯以上(B)	8,075	361,446	146,010	80,203	60,210	136,174	88,980
全 体	14,550	413,507	166,980	83,447	60,900	151,325	104,610
比 較 (A)/(B)	80.2%	131.8%	134.6%	109.2%	102.9%	124.1%	139.7%

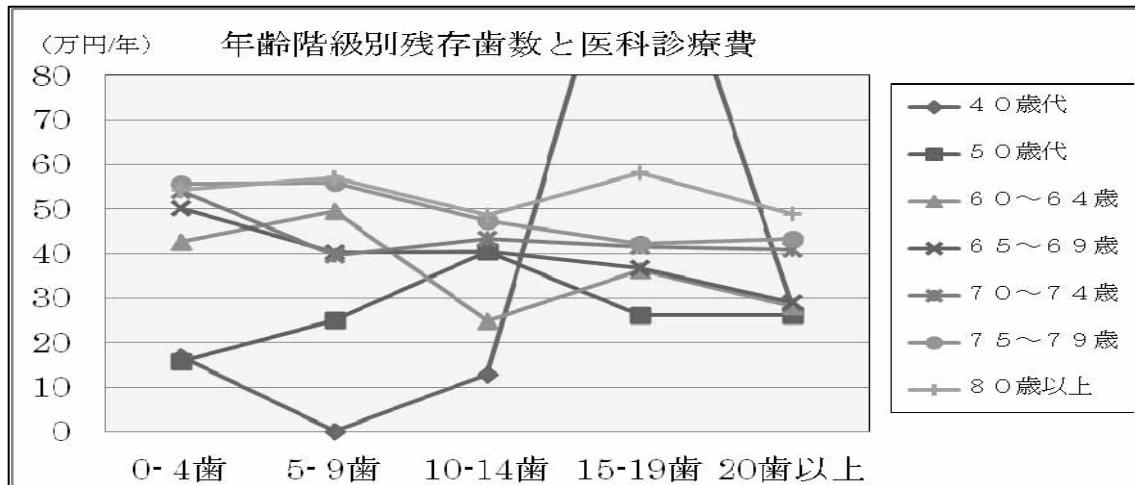


平成19～23年調査別 残存歯数別診療費(医科)

年齢階級別残存歯数別診療費(一人あたり一年間、円)

年齢階級別に残存歯数と診療費の関係をみると、医科では、50歳代以下では残存歯数が少ない人の母数が少ないため、傾向が不明だが、60歳以上では年齢階級が高くなるほど、残存歯数が多いほど診療費が低くなる傾向が認められた。ただし今回は80歳以上の15-19歯でやや高い値となっていた。また、40歳代の15-19歯の平均値は、約132万円と極端に高くなっていたが、中央値は約22万円で、極端に高額な医療費がかかった人が含まれていたと考えられる。

年齢階級	残歯数分類	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	0-4歯	1	168,870	0	0	168,870	0	0
	5-9歯	1	0	185,160	0	0	185,160	0
	10-14歯	10	129,420	94,750	38,798	71,835	36,330	38,835
	15-19歯	14	1,316,706	182,898	176,134	215,970	100,920	69,270
	20歯以上	420	277,189	69,585	99,126	74,700	55,260	47,295
50歳代	0-4歯	13	157,414	32,670	143,646	97,545	29,460	78,150
	5-9歯	25	248,969	58,943	92,278	111,570	36,495	54,030
	10-14歯	41	405,043	114,537	123,252	88,740	95,190	75,645
	15-19歯	86	262,146	116,910	113,372	80,325	79,740	56,130
	20歯以上	783	260,059	75,695	102,553	81,900	56,220	41,280
60-64歳	0-4歯	52	426,592	84,819	146,109	116,310	53,760	111,300
	5-9歯	70	494,903	93,625	104,247	131,730	64,920	65,880
	10-14歯	134	248,788	77,787	93,947	88,815	51,300	58,380
	15-19歯	196	363,250	85,326	94,856	103,380	62,460	68,430
	20歯以上	1,234	280,459	73,556	104,901	103,635	56,130	61,050
65-69歳	0-4歯	119	501,733	81,348	136,078	173,490	62,160	78,795
	5-9歯	167	402,324	96,264	146,671	133,320	64,695	84,510
	10-14歯	224	404,101	82,770	120,293	117,030	61,440	80,415
	15-19歯	332	367,643	92,350	124,819	133,620	55,485	86,700
	20歯以上	1,637	290,647	73,144	113,059	120,915	55,140	75,435
70-74歳	0-4歯	190	541,682	78,239	164,908	190,275	58,380	117,180
	5-9歯	254	394,868	77,587	135,870	156,780	59,520	88,185
	10-14歯	297	433,289	84,983	174,450	165,645	65,610	109,320
	15-19歯	466	415,635	91,554	152,986	174,945	72,390	105,285
	20歯以上	1,639	408,323	84,741	141,355	170,850	63,360	99,555
75-79歳	0-4歯	336	556,858	70,431	172,858	229,020	48,990	121,260
	5-9歯	357	558,991	90,670	183,254	219,225	61,875	138,090
	10-14歯	444	473,850	90,759	175,795	229,065	61,110	130,590
	15-19歯	531	422,916	89,450	163,769	202,830	65,235	130,170
	20歯以上	1,402	433,164	82,676	164,985	198,675	63,300	122,355
80歳以上	0-4歯	691	543,009	76,572	202,458	251,280	49,800	169,455
	5-9歯	484	569,367	95,987	202,320	286,845	67,290	159,390
	10-14歯	474	485,766	92,441	194,071	246,540	64,920	150,120
	15-19歯	466	581,214	86,049	196,586	284,430	63,810	161,070
	20歯以上	960	487,498	97,339	181,787	242,880	71,820	151,860



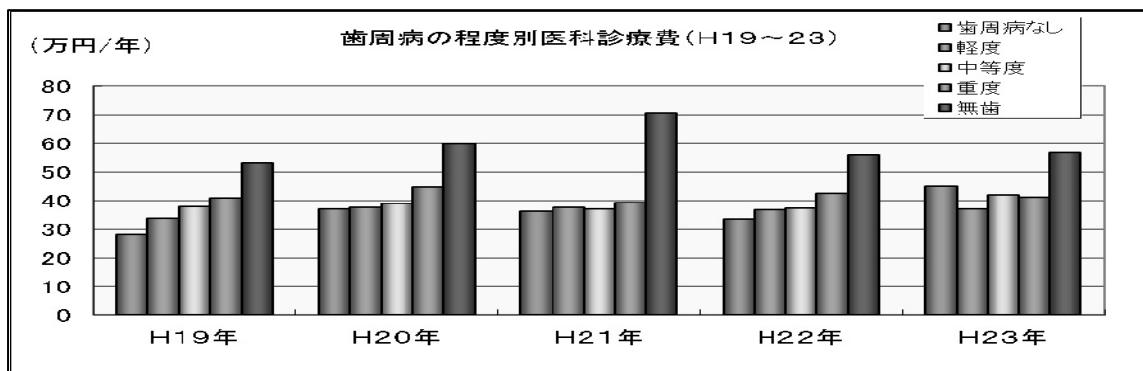
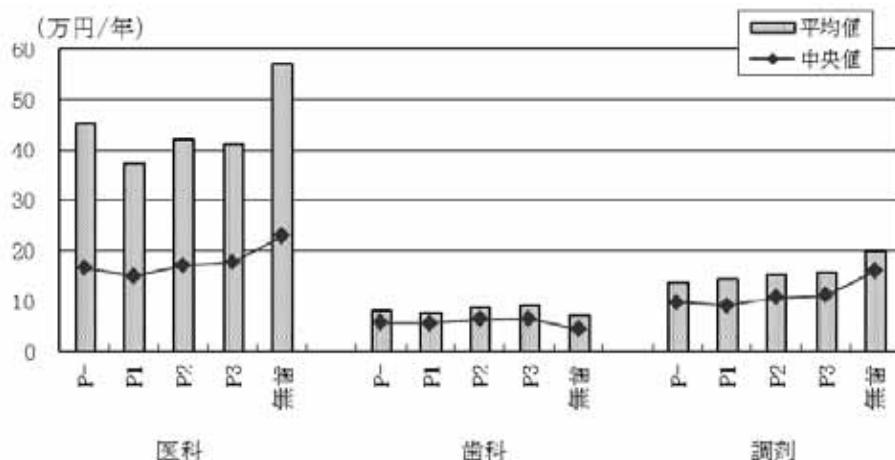
歯周病の程度別診療費(一人あたり1年間、円)

医科ではP-の平均診療費が約45.0万円とこれまでの調査とは違い高かった。

歯周病ありの中では、P1が約37.1万円でP2の約42.0万円、P3の約41.1万円と比べ診療費が低くなっていた。中央値では、歯周病が重度なほど高くなっていた。

医科ではP-が平均約7.9万円、P3は約9.0万円、調剤ではP-が平均約13.5万円、P3が約15.5万円と、歯周病の程度が重度になるほど診療費が高くなっていた。歯周病あり・なしでは、医科では今回は歯周病なしの方が高かったが、歯科、調剤では、歯周病ありのほうが高くなっていた。

歯周病分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	274	450,476	164,385	79,179	56,250	135,346	96,120
	P1	3,547	371,255	148,200	74,495	55,500	142,052
	P2	7,559	419,927	169,620	86,098	63,270	150,607
	P3	2,576	411,008	176,955	89,940	64,110	155,461
歯周病有り(A)	13,682	405,629	164,655	83,886	61,470	149,346	103,020
無 虫	594	569,604	227,910	70,853	43,350	198,876	158,250
全 体	14,550	413,507	166,980	83,447	60,900	151,325	104,610
比較(A)/(P-)	4993.4%	90.0%	100.2%	105.9%	109.3%	110.3%	107.2%

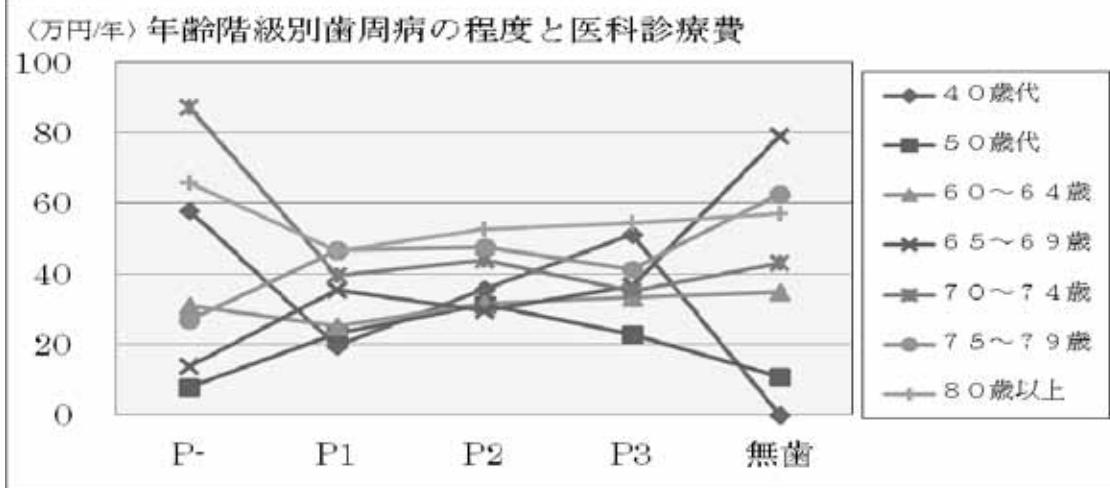


平成19～23年調査別 歯周病の程度別診療費(医科)

年齢階級別歯周病の程度別診療費(一人あたり1年間、円)

年齢階級別に歯周病の程度と診療費の関係をみると、医科では、これまでの調査では、年齢階級が高くなるほど、歯周病の程度が重度になるほど診療費が高くなる傾向が認められていたが、今回は、40歳代、70-74歳代、80歳以上の年齢階級のP-が高くなっていた。

年齢階級	歯周病分類	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	P-	8	578,781	56,049	16,958	49,500	61,800	5,565
	P1	201	194,812	65,537	103,568	73,530	49,110	38,355
	P2	192	356,951	83,824	100,371	84,060	60,000	51,870
	P3	45	510,555	75,034	98,416	116,490	62,850	43,875
	無歯	0	0	0	0	0	0	0
50歳代	P-	20	78,268	54,415	85,333	58,905	52,170	34,215
	P1	312	229,686	63,617	115,165	76,350	46,080	40,020
	P2	450	313,797	83,366	94,182	82,470	64,335	47,340
	P3	161	228,722	106,124	111,483	102,990	72,750	54,030
	無歯	5	106,613	12,900	149,610	97,545	12,900	149,610
60-64歳	P-	40	311,668	81,216	97,188	88,050	53,640	84,720
	P1	494	250,910	67,932	116,069	102,825	49,890	56,670
	P2	881	317,688	80,308	96,198	100,650	62,085	63,270
	P3	254	335,353	75,786	102,500	109,350	56,850	64,725
	無歯	17	349,154	93,737	184,808	156,990	67,680	171,090
65-69歳	P-	38	137,922	79,315	118,452	88,710	64,065	61,260
	P1	637	353,849	70,925	109,745	120,780	52,740	68,820
	P2	1,328	295,014	78,844	119,377	123,690	58,380	78,900
	P3	433	367,195	87,379	123,222	135,480	57,735	80,670
	無歯	43	789,324	86,940	183,036	180,690	69,720	89,190
70-74歳	P-	35	873,481	77,854	176,958	190,950	64,050	123,750
	P1	673	396,916	75,464	133,429	170,160	58,920	97,170
	P2	1,566	440,664	87,317	154,736	168,585	65,580	106,035
	P3	502	352,018	93,639	143,061	173,835	67,440	98,970
	無歯	70	431,067	57,118	148,897	178,290	30,885	86,700
75-79歳	P-	54	268,092	103,910	128,804	164,385	74,640	85,470
	P1	687	467,009	77,854	171,315	198,150	59,190	119,175
	P2	1,650	476,694	85,910	165,489	214,545	61,800	127,380
	P3	554	412,443	92,638	178,263	201,315	70,050	133,680
	無歯	125	625,346	59,932	185,106	242,670	29,400	131,145
80歳以上	P-	79	656,743	64,828	158,798	284,700	42,630	141,360
	P1	543	464,281	87,749	188,613	238,245	68,745	144,720
	P2	1,492	525,944	96,063	194,661	259,650	66,705	160,830
	P3	627	543,705	89,085	188,593	270,780	65,700	158,130
	無歯	334	568,543	73,277	215,962	246,615	49,470	172,320



歯科健診受診頻度別診療費(一人あたり1年間、円)

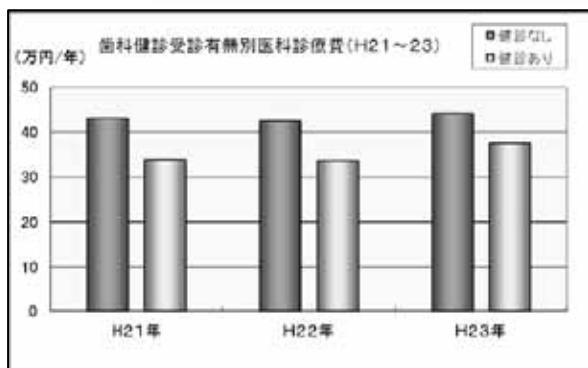
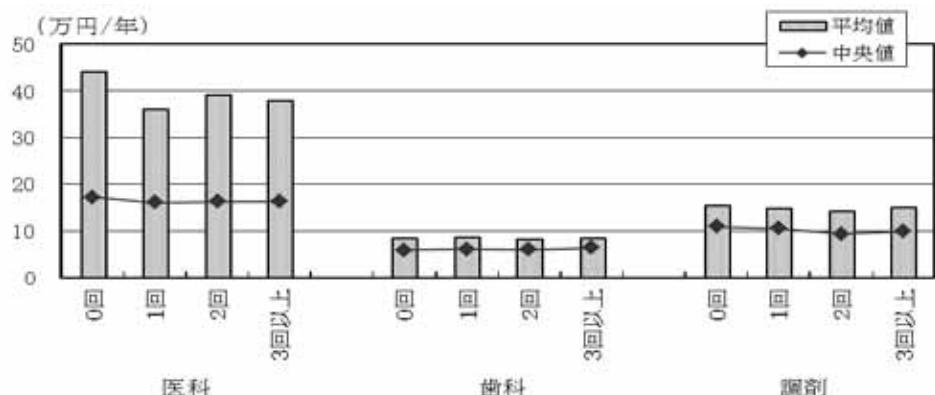
医科では健診なしの平均診療費が約44.1万円と高く、1回が約34.5万円で最も低くなっていた。

歯科では健診なし平均約8.4万円、1回が約8.5万円、2回が約8.1万円、3回以上が約8.3万円と2回が低くなっていた。

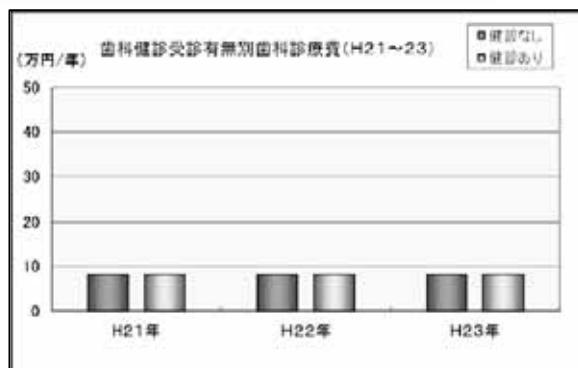
調剤では健診なし平均約15.4万円で、1回が約14.8万円、2回が約14.1万円と歯科健診を受診するほど低くなり、3回以上が約14.9万円と2回より高くなっていた。

健診あり・なしでは、医科、調剤では、健診ありの方が低くなり、歯科ではほぼ同等だった。

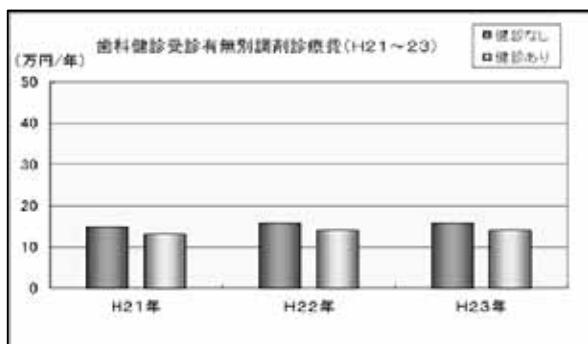
健診頻度	人 数	医科		歯科		調剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	8,413	441,071	171,465	83,771	58,860	154,273	108,630
1回	2,289	360,329	160,080	85,025	60,810	147,971	105,090
2回	1,221	391,932	162,315	80,828	60,180	141,730	94,020
3回以上	2,627	379,275	162,300	82,736	64,080	149,105	98,505
健診有り(B)	6,137	374,720	160,560	83,130	62,370	147,196	100,800
全 体	14,550	413,507	166,980	83,447	60,900	151,325	104,610
比 較 (A)/(B)		137.1%	117.7%	106.8%	100.8%	94.4%	104.8%
							107.8%



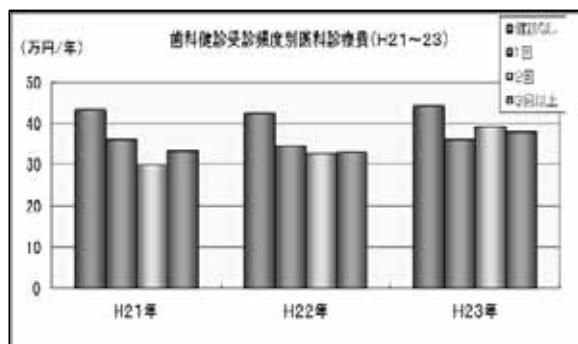
歯科健診受診有無別診療費(医科)



歯科健診受診有無別診療費(歯科)



歯科健診受診有無別診療費(調剤)

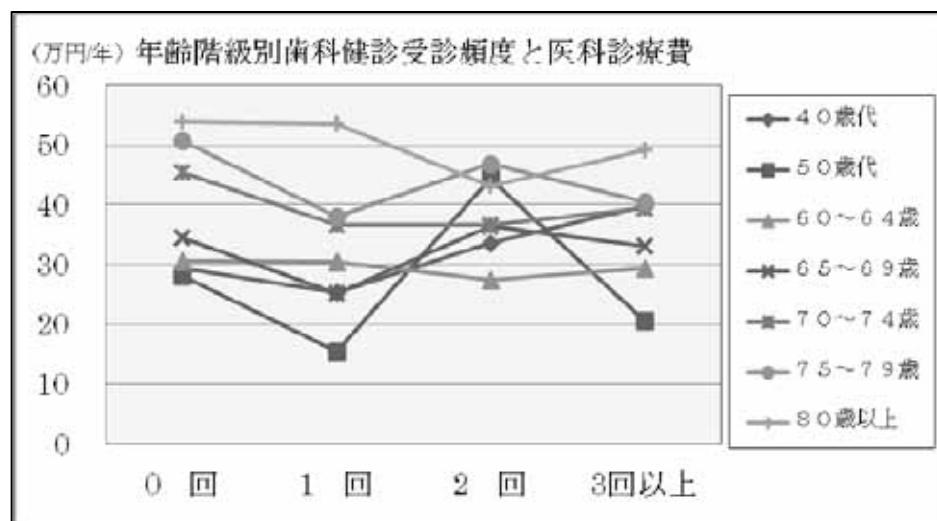


歯科健診受診頻度別診療費 (医科)

年齢階級別歯科健診受診頻度別診療費(一人あたり1年間、円)

年齢階級別に歯科健診受診頻度と診療費の関係をみると、医科では、各年齢階級とも概ね、歯科健診なしが高い、1回、2回が低くなり、3回以上はやや高くなる傾向が認められた。

年齢階級	健診頻度	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	0回	271	294,635	69,912	100,616	73,845	49,050	49,830
	1回	85	252,948	72,125	78,859	61,290	59,160	44,820
	2回	33	336,930	98,568	72,076	116,100	70,365	49,185
	3回	57	397,891	78,146	145,724	135,990	55,950	43,650
50歳代	0回	558	282,485	80,359	96,728	83,190	54,240	40,650
	1回	135	154,157	77,232	111,667	75,540	51,810	44,415
	2回	89	443,893	88,208	127,381	75,510	69,540	45,375
	3回	166	205,893	79,435	113,969	89,700	63,360	65,430
60-64歳	0回	905	306,554	76,144	107,224	103,800	56,940	61,920
	1回	276	304,239	76,404	91,631	102,120	55,755	61,320
	2回	161	274,898	88,536	107,640	109,170	60,480	68,760
	3回	344	294,438	71,864	104,295	101,820	55,920	62,610
65-69歳	0回	1,343	344,937	76,091	119,139	124,020	51,600	78,150
	1回	424	251,558	83,181	129,624	127,980	57,810	85,650
	2回	246	365,255	76,911	112,441	130,350	60,180	64,950
	3回	466	330,419	80,489	111,011	124,620	62,670	68,640
70-74歳	0回	1,518	454,674	86,080	149,402	174,600	62,265	101,895
	1回	472	365,966	88,873	133,074	164,190	65,595	103,815
	2回	249	366,362	73,274	150,178	170,565	57,960	100,110
	3回	607	395,287	85,348	153,917	160,470	66,900	100,230
75-79歳	0回	1,738	508,444	85,881	172,015	217,620	59,730	128,730
	1回	476	380,345	85,475	164,980	188,940	62,460	128,070
	2回	261	469,361	82,403	160,754	190,830	60,000	114,450
	3回	595	404,685	84,012	168,531	210,660	67,335	122,670
80歳以上	0回	2,080	539,770	91,341	193,593	250,080	64,800	156,810
	1回	421	535,936	92,405	203,090	286,410	65,490	164,055
	2回	182	431,899	80,585	180,081	243,915	58,740	143,730
	3回	392	492,536	90,953	191,069	292,980	67,320	163,140



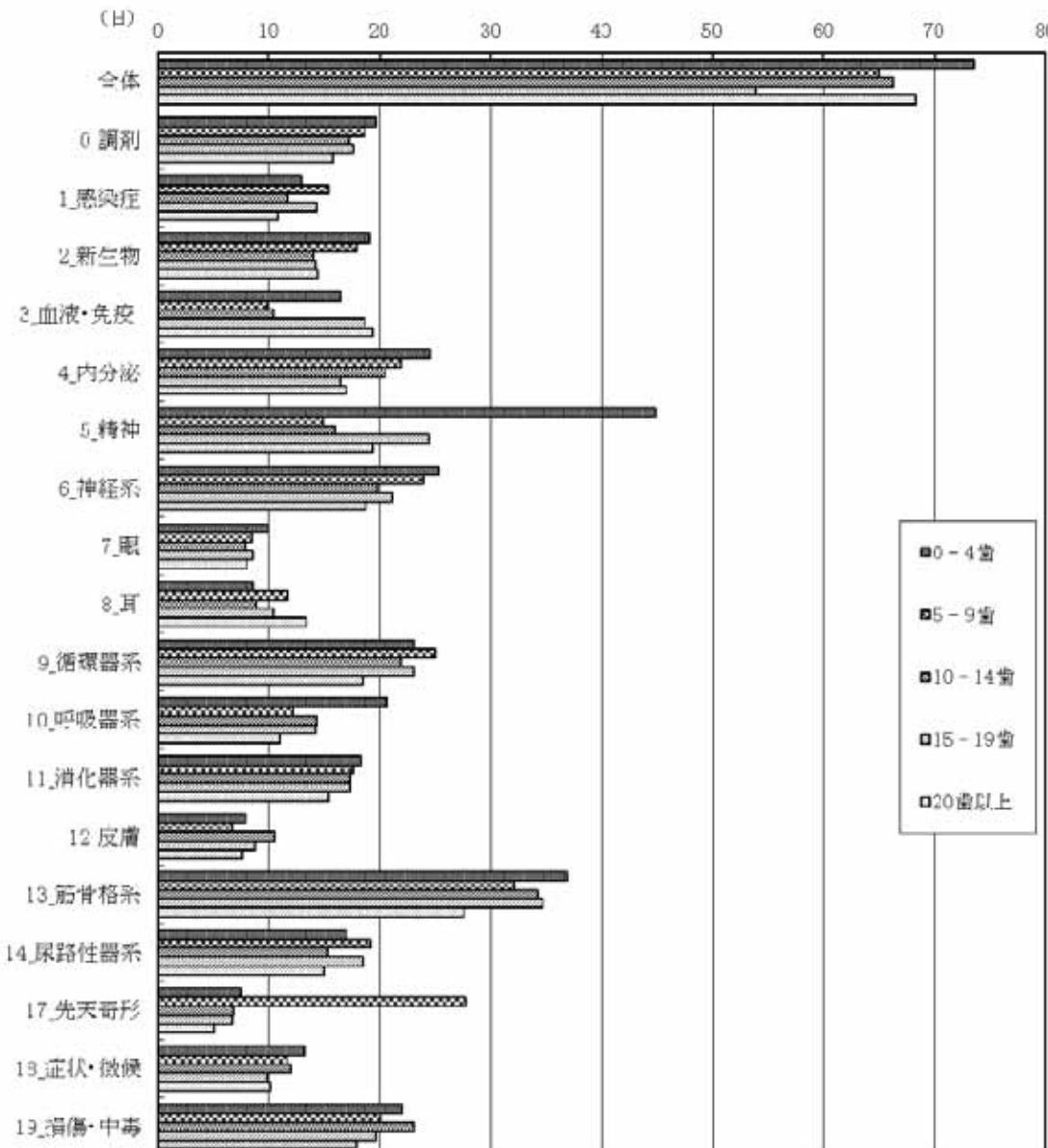
(2) 19分類別の分析

残存歯数別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、これまでの調査では、残存歯数が多いほど診療日数が少なくなっていたが、今回は、20歯以上の日数が多くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、神経系、眼、循環器系、消化器系、症状・微候で概ね残存歯数が多いほど診療日数が少なくなる傾向が認められた。

残存歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0~4歯	73.5	19.6	12.9	19.1	16.4	24.5	44.9	25.3	9.9
5~9歯	64.9	18.6	15.4	17.9	9.9	21.9	14.8	23.9	8.5
10~14歯	66.2	17.2	11.8	14.0	10.4	20.5	16.0	19.8	7.8
15~19歯	53.9	17.6	14.3	14.2	18.6	16.4	24.5	21.1	8.6
20歯以上	68.3	15.8	10.8	14.4	19.4	17.0	19.4	18.7	8.1

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・微候	19_損傷・中毒
8.6	23.0	20.7	18.3	8.0	36.9	17.0	7.5	13.2	21.9
11.8	25.0	12.2	17.7	6.7	32.1	19.2	27.8	11.6	20.0
8.9	21.8	14.3	17.4	10.5	34.2	15.3	6.9	12.0	23.1
10.4	23.0	14.2	17.3	8.8	34.7	18.5	6.8	9.9	19.6
13.4	18.5	11.0	15.4	7.6	27.5	15.0	5.1	10.2	17.9

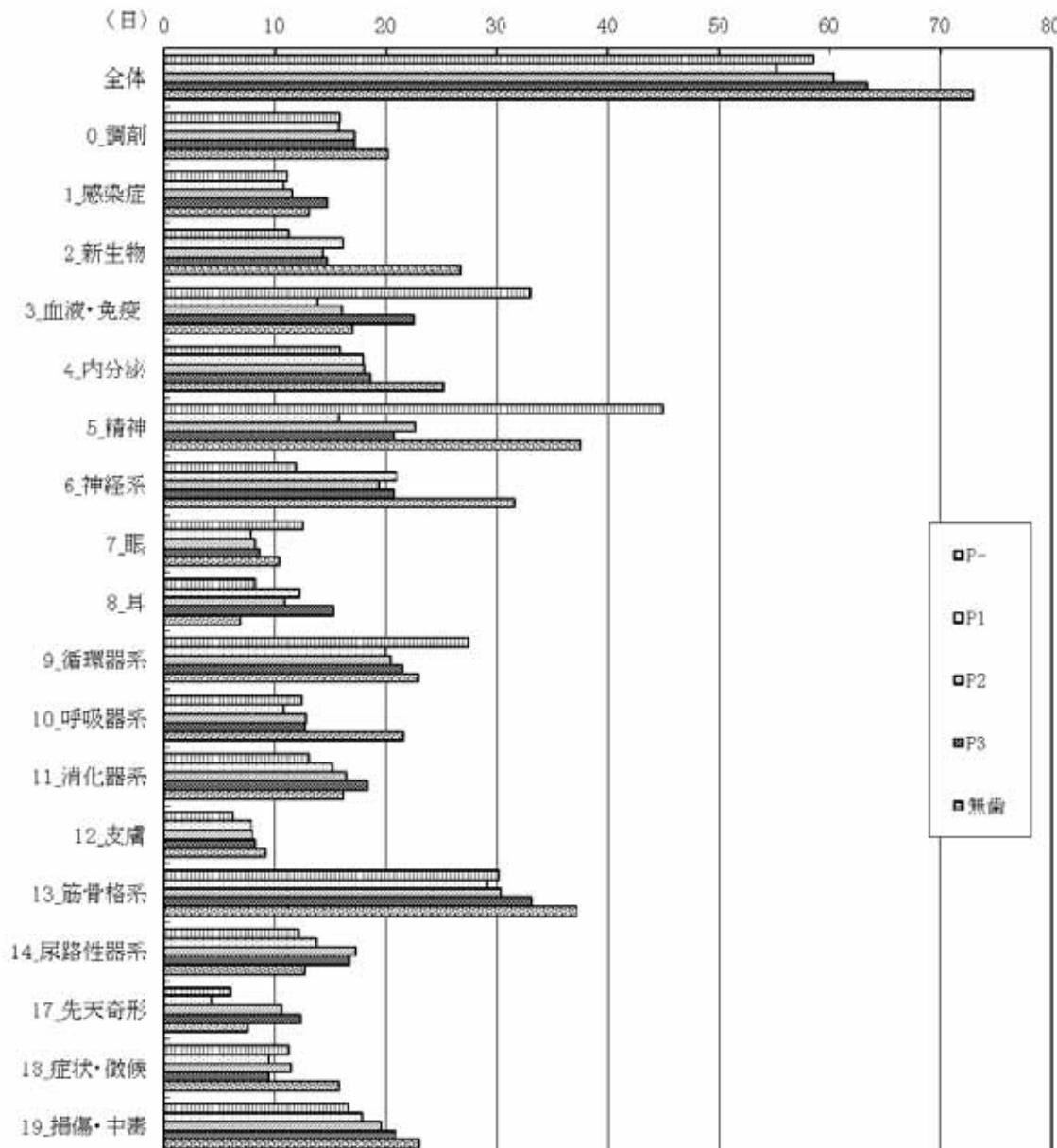


歯周病の程度別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、これまでの調査では、歯周病の程度が重いほど診療日数が多くなっていたが、今回はP-の日数がやや多くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、消化器系、皮膚、筋骨格型、損傷・中毒で歯周病の程度が重いほど診療日数が多くなる傾向が認められた。

歯周炎分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	58.5	15.9	11.1	11.3	33.0	15.9	45.0	12.0	12.5
P1	55.1	15.7	10.8	16.2	13.8	18.0	15.8	21.0	7.8
P2	60.4	17.1	11.6	14.2	16.0	18.1	22.6	19.4	8.2
P3	63.5	17.2	14.8	14.7	22.6	18.6	20.7	20.7	8.6
無歯	72.9	20.2	13.1	26.7	17.0	25.2	37.6	31.6	10.4

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・微候	19_損傷・中毒
8.3	27.5	12.5	13.1	6.2	30.2	12.2	6.0	11.3	16.6
12.2	20.0	10.8	15.2	7.9	29.2	13.7	4.3	9.5	17.9
10.8	20.4	12.8	16.4	8.0	30.3	17.2	10.6	11.5	19.5
15.3	21.5	12.7	18.3	8.2	33.1	16.7	12.3	9.5	20.8
6.9	22.9	21.6	16.2	9.2	37.2	12.7	7.5	15.7	23.0

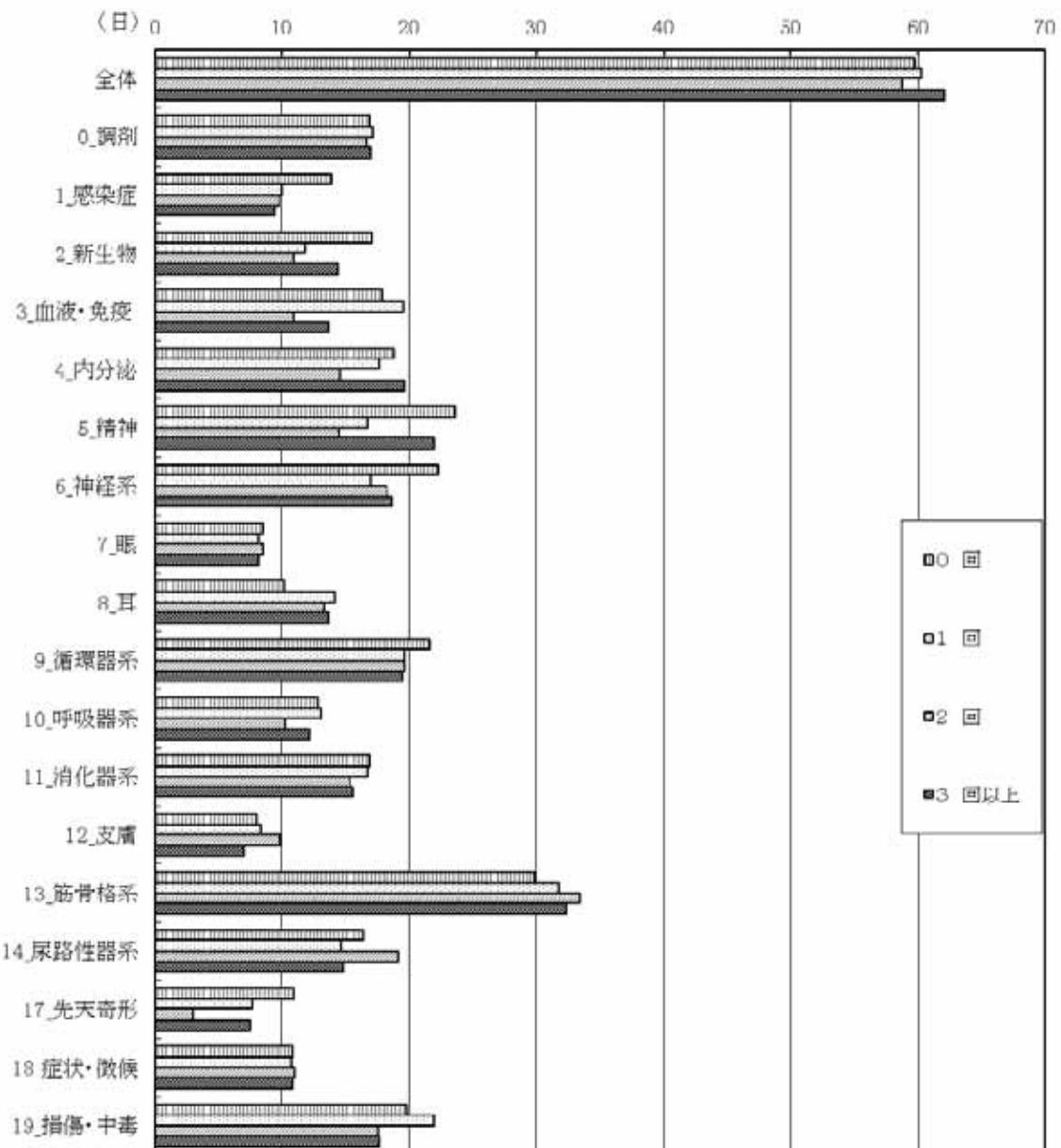


歯科健診受診頻度別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、これまでの調査では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなり、3回以上では多くなっていたが、今回は、健診なしの診療日数がやや少なくなっていた。疾病分類別では、感染症、新生物、内分泌、精神、循環器系、消化器系、先天奇形において歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなるか、3回以上でやや多くなる傾向が認められた。

健診頻度	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0回	59.7	16.9	13.9	17.0	17.8	18.8	23.6	22.3	8.5
1回	60.2	17.1	10.0	11.8	19.5	17.6	16.7	16.9	8.1
2回	58.8	16.6	9.7	10.9	10.9	14.5	14.5	18.3	8.5
3回以上	62.0	16.9	9.4	14.3	13.7	19.6	21.9	18.7	8.2

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・微候	19_損傷・中毒
10.2	21.6	12.8	16.8	8.0	29.8	16.4	10.9	10.8	19.7
14.1	19.6	13.1	16.7	8.3	31.7	14.6	7.6	10.8	22.0
13.3	19.6	10.2	15.3	9.8	33.4	19.1	3.0	11.0	17.5
13.6	19.4	12.1	15.5	7.0	32.3	14.8	7.5	10.8	17.6

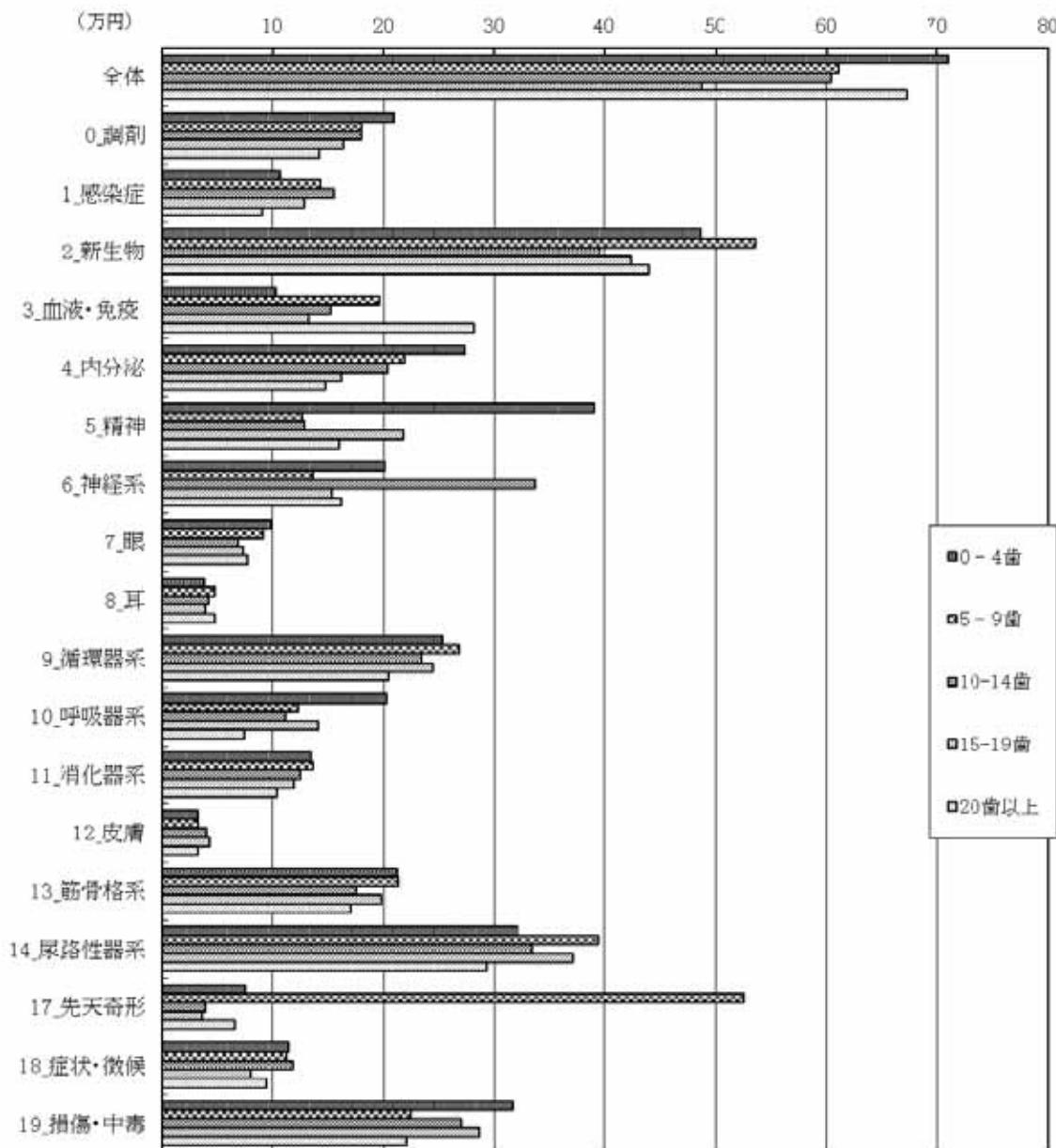


残存歯数別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間平均、円）

全体では、これまでの調査では、残存歯数が多いほど診療費が低くなっていたが、今回は、20歯以上の日数が高くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、消化器系で残存歯数が多いほど診療費が低くなる傾向が認められた。

残歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0 - 4歯	709330	209930	106320	486450	102720	272970	389650	200470	98060
5 - 9歯	610490	179710	142490	534910	195440	219070	125760	136350	90650
10-14歯	603840	180130	154840	395290	152280	203180	127620	336960	69000
15-19歯	487080	163360	127570	422800	131520	161870	218200	153450	73540
20歯以上	672940	142190	90160	439330	281250	147670	159390	160980	77000

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・微候	19_損傷・中毒
38470	253030	202600	134550	32900	212110	320610	74900	114500	316410
47450	267930	122580	135980	32730	213510	393050	524920	112090	224680
41300	233700	111170	123930	39600	175140	333960	38650	118230	270060
38790	243810	141130	118450	42800	197890	371510	36020	79990	286600
47100	204000	74370	103540	32250	169420	292760	65620	93750	220760

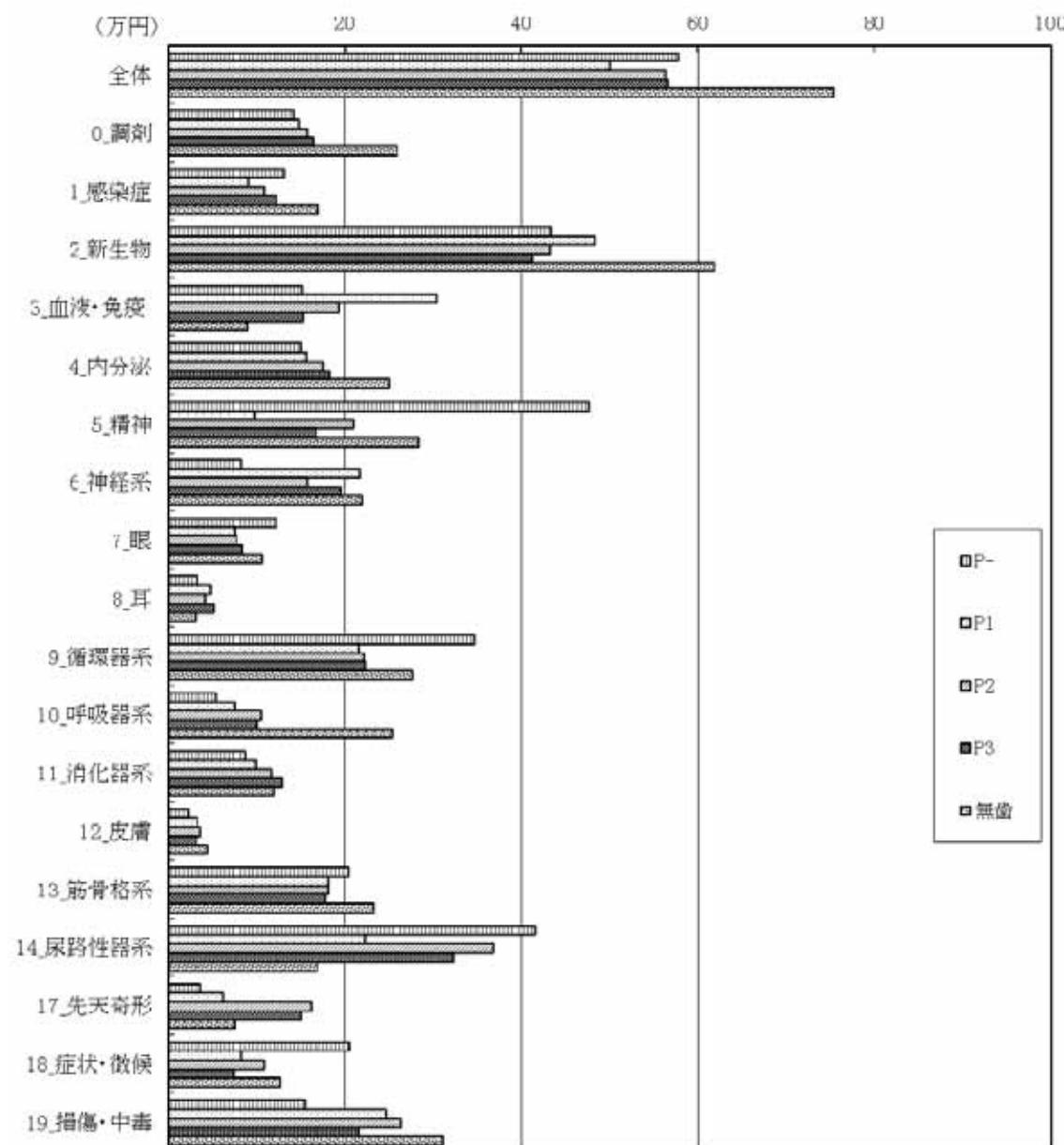


歯周病の程度別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、これまでの調査では、歯周病の程度が重いほど診療日数が多くなっていたが、今回はP-の診療費が高くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、呼吸器系、消化器系で歯周病の程度が重いほど診療日数が多くなる傾向が認められた。

歯周炎分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	578390	141600	131670	432890	150780	149350	476770	81990	122510
P1	500390	147060	90500	483780	304950	155490	97150	217680	74320
P2	563340	157190	108020	432530	192420	175930	208970	156760	76450
P3	565320	164090	121620	412480	152490	182190	167690	194630	83670
無歯	753640	259510	169110	619530	89510	249620	284010	219040	106050

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・微候	19_損傷・中毒
32090	345870	53510	87360	22210	203380	415730	36240	204730	154130
47540	215510	74500	98820	32110	181070	223600	61040	82200	245720
42060	221790	105130	115770	36580	181320	368090	161220	108570	263240
51050	222520	99340	128920	31690	177770	323110	150360	73680	216150
29980	277040	253570	117930	44100	232200	168400	74900	126430	311640

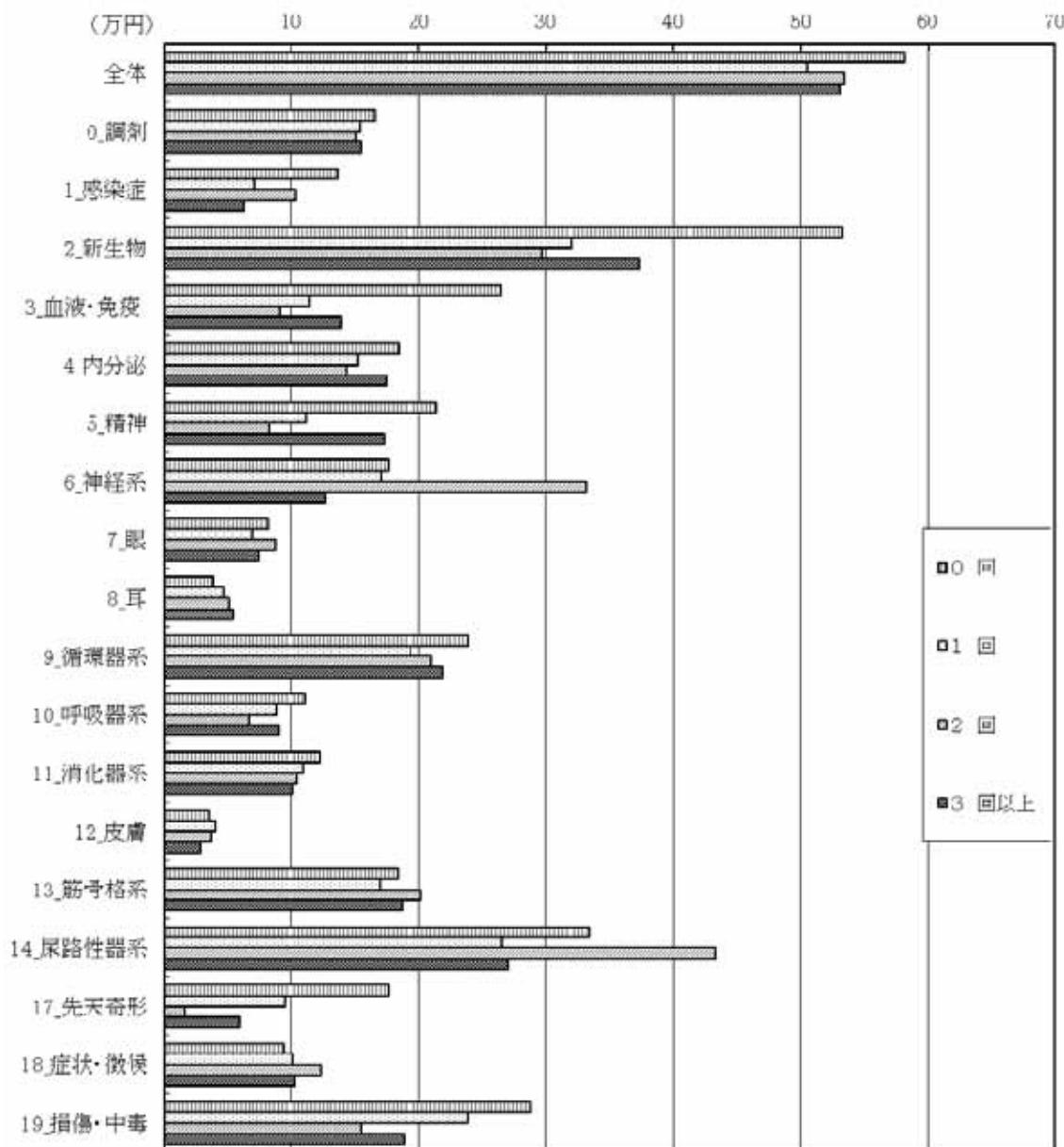


歯科健診受診頻度別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、これまでの調査では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなり、3回以上では高くなっていたが、今回は、2回が1回より高くなっていた。疾病分類別では、調剤、新生物、血液・免疫、内分泌、精神、呼吸器系、消化器系、先天奇形、損傷・中毒において歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなるか、3回以上でやや多くなる傾向が認められた。

健診頻度	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0回	581830	165410	137020	531850	264850	184720	213760	176090	82020
1回	504340	153270	71440	320360	113800	152310	111870	171050	69590
2回	533480	150050	103430	297050	90930	142820	82110	331550	87590
3回以上	530960	154520	62170	372810	139470	174610	172870	125990	74750

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・微候	19_損傷・中毒
38860	238850	111140	122460	34650	183810	334120	176550	93670	287960
46810	193430	88350	108930	40260	169700	264940	94900	101390	238530
50880	209160	66540	104130	37280	201700	432670	16160	122710	154860
54220	218040	90070	101070	28600	186630	270310	59420	102330	188150



(3) 主要疾病別分析

悪性新生物 年齢階級別残存歯数別

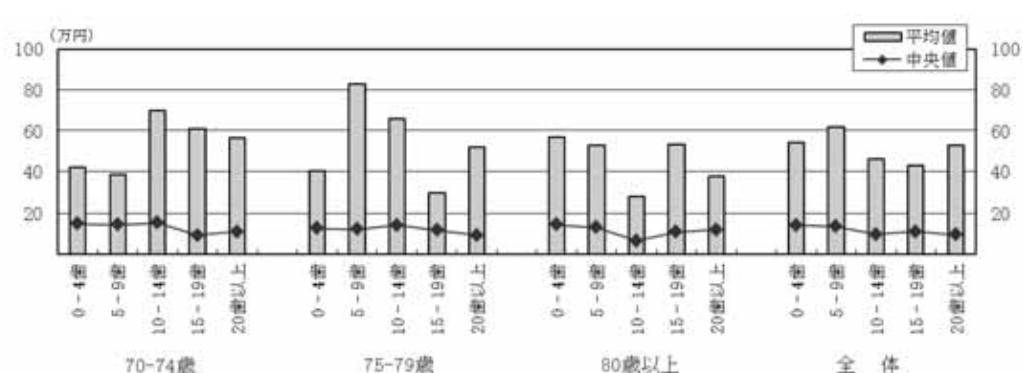
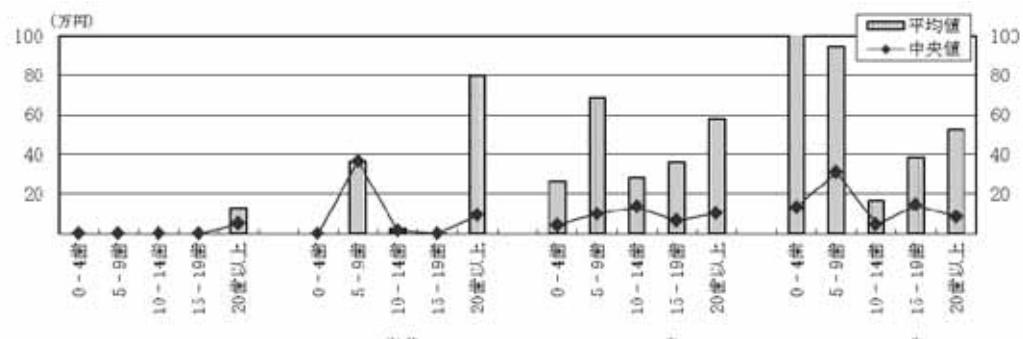
悪性新生物の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

残存歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	4	10	12	26	50	102
5 - 9 歯	0	2	8	10	26	38	57	141
10 - 14 歯	0	3	8	13	33	34	42	133
15 - 19 歯	0	1	13	26	30	58	47	175
20 歯以上	8	35	81	120	148	138	76	606
計	8	41	114	179	249	294	272	1,157

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別でばらつきがあるが、全体では、平均値は、20 歯以上がやや高くなっていたが、中央値では、残存歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

残歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	0	0	262520	44100	1003660	131150
5 - 9 歯	0	0	364950	364950	681080	99600	943200	310370
10 - 14 歯	0	0	23280	14700	280030	133610	161670	46200
15 - 19 歯	0	0	2100	2100	361300	65400	383710	143780
19 歯以下(A)	0	0	133640	33050	407150	81000	534690	135900
20 歯以上(B)	124840	51470	794110	92850	571720	103410	524010	84890
全 体	124840	51470	697460	91350	524080	93950	527530	105300
比較(A)/(B)	-	-	16.8%	35.6%	71.2%	78.3%	102.0%	160.1%
残歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	422010	149190	406830	125840	569850	143370	541380	141020
5 - 9 歙	388270	143100	830140	121010	529410	131160	620050	135420
10 - 14 歯	698420	153900	660030	141500	281030	66260	463940	97020
15 - 19 歙	610470	93540	298070	117090	535740	108780	431190	111330
19 歯以下(A)	559620	147900	524690	127890	488020	110340	507820	117780
20 歯以上(B)	565370	109980	519530	92780	377530	119120	531430	95870
全 体	563040	126240	522270	108230	457150	114680	520190	105810
比較(A)/(B)	99.0%	134.5%	101.0%	137.8%	129.3%	92.6%	95.6%	122.9%



悪性新生物 年齢階級別歯周病の程度別

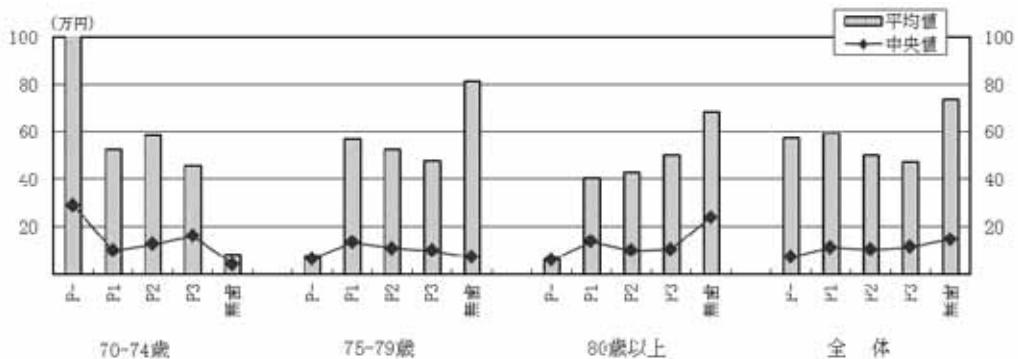
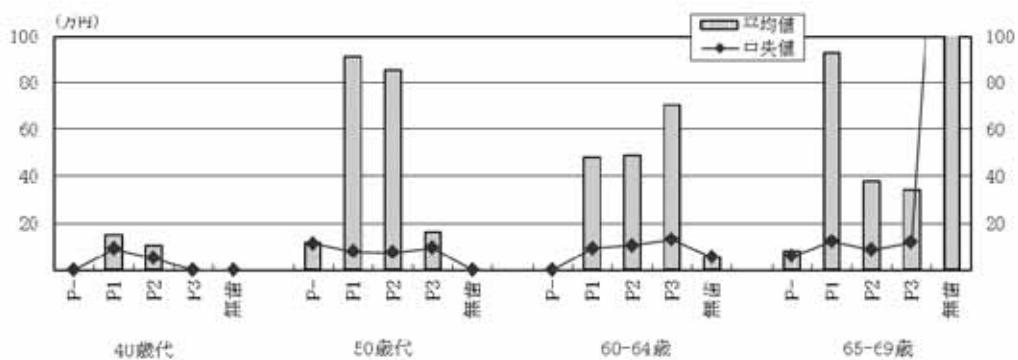
悪性新生物の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	2	0	5	5	5	2	19
P1	4	12	32	46	62	61	45	262
P2	4	19	57	93	134	164	135	606
P3	0	8	24	33	44	56	69	234
無歯	0	0	1	2	4	8	21	36
計	8	41	114	179	249	294	272	1,157

・診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、平均値では、概ね歯周病が重度になるほど診療費が低くなっているが、中央値では、歯周病なしと低く、歯周病ありが高くなっていた。

歯周病分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	0	0	112310	112310	0	0	75870	57990
P1	147730	90030	911130	78230	477710	91940	928350	122630
P2	101950	51470	851010	73680	483540	103410	375070	87150
P3	0	0	158540	93540	701770	130350	340240	117960
歯周病あり(A)	124840	51470	727460	91350	528240	94110	516360	105380
無歯	0	0	0	0	54780	54780	2617620	2617620
全 体	124840	124840	697460	697460	524080	524080	527530	527530
比較(A)/(P-)	-	-	647.8%	81.3%	-	-	680.6%	181.7%
歯周病分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	1943170	290580	77830	65580	61020	61020	570050	71490
P1	522060	98460	566170	134070	400500	138690	589470	112640
P2	580460	127050	521690	108950	426950	98340	495040	103850
P3	454570	161730	474640	100080	496590	104250	470870	114650
歯周病あり(A)	542290	127050	521970	109290	441470	111900	512360	106490
無歯	82380	42390	810590	72620	680790	241080	733360	147870
全 体	563040	563040	522270	522270	457150	457150	520190	520190
比較(A)/(P-)	27.9%	43.7%	670.6%	166.7%	723.5%	183.4%	89.9%	149.0%



悪性新生物 年齢階級別歯科健診受診頻度別

悪性新生物の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

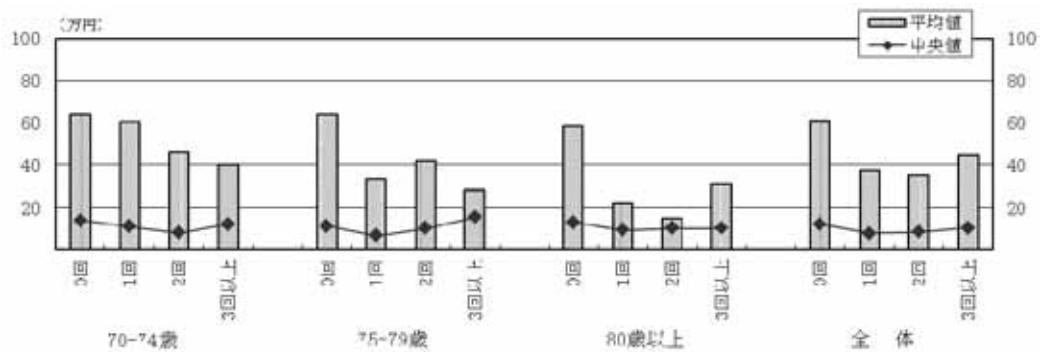
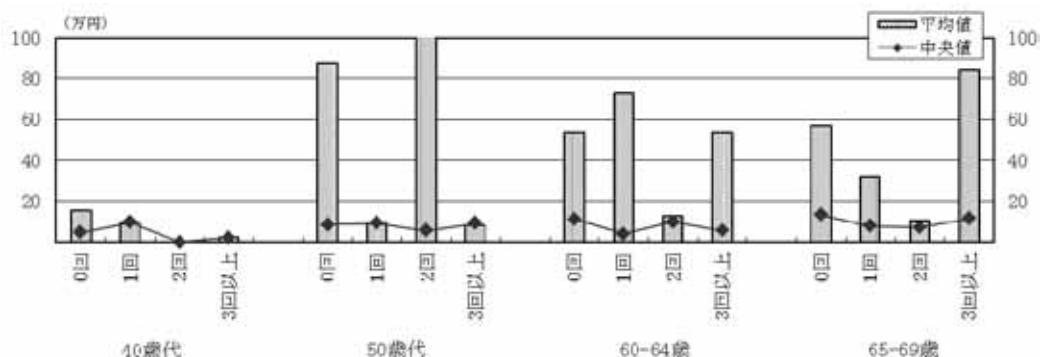
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0回	5	23	69	87	130	182	173	669
1回	2	6	14	36	38	46	51	193
2回	0	5	10	19	29	24	18	105
3回以上	1	7	21	37	52	42	30	190
計	8	41	114	179	249	294	272	1,157

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では歯科健診なしが最も高く、1回2回と低くなり3回以上では、やや高かった。また、健診なしは健診ありと比較しても約1.5倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	156160	47400	874010	86400	535430	113910	571040	132600
1回	97700	97700	95170	92780	727780	40740	322670	78740
2回	0	0	1470290	56670	128870	99660	104990	73200
3回以上	22500	22500	81560	92850	539190	56460	841520	116610
健診有り(B)	72630	55530	471860	92100	506680	55320	486380	78740
全体	124840	51470	697460	91350	524080	93950	527530	105300
比較(A)/(B)	215%	85%	185%	94%	106%	206%	117%	168%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	638290	138290	638480	113150	583940	130140	609430	120810
1回	605400	111620	333390	66810	224630	93300	374970	78030
2回	460660	81360	420630	102900	149820	101730	350340	84720
3回以上	401030	121340	283630	154710	305640	102030	447300	104820
健診有り(B)	480820	103020	333430	93630	235580	95280	397830	92480
全体	563040	126240	522270	108230	457150	114680	520190	105810
比較(A)/(B)	133%	134%	191%	121%	248%	137%	153%	131%



虚血性心疾患 年齢階級別残存歯数別

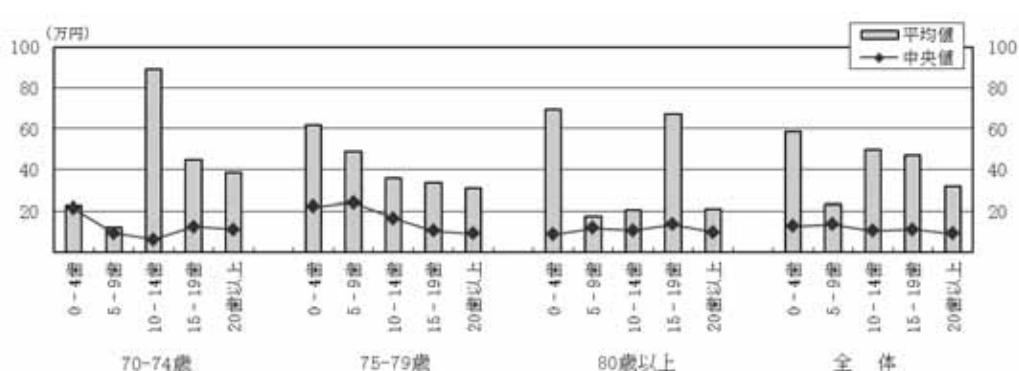
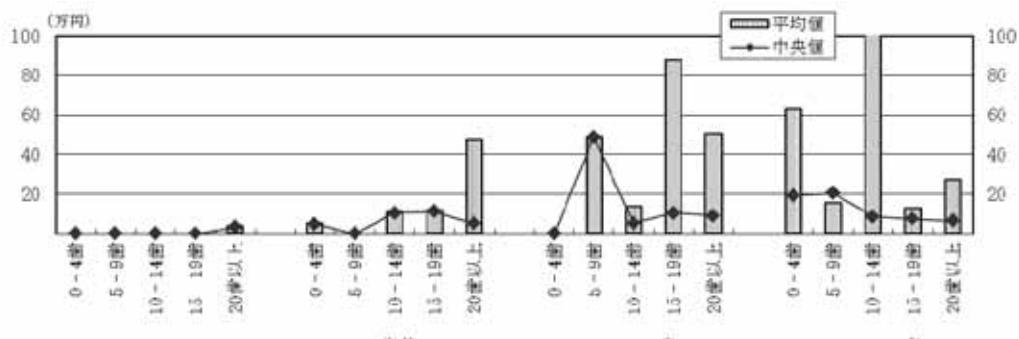
虚血性心疾患の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

残存歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	1	0	7	10	13	33	64
5 - 9 歯	0	0	1	3	15	14	34	67
10 - 14 歯	0	1	3	8	14	28	34	88
15 - 19 歯	0	2	9	13	25	31	32	112
20 歯 以上	2	11	26	53	64	67	61	284
計	2	15	39	84	128	153	194	615

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では中央値で見ると概ね残存歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

残歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	48330	48330	0	0	627010	193320
5 - 9 歯	0	0	0	0	486690	486690	149310	205290
10 - 14 歯	0	0	103860	103860	129360	53190	1738140	86130
15 - 19 歯	0	0	110720	110720	873970	103380	120340	74640
19 歯以下(A)	0	0	93410	77910	672350	103380	655050	108390
20 歯以上(B)	30980	30980	469870	50400	501970	90080	268830	63960
全 体	30980	30980	369480	51960	558760	93510	411360	73650
比較(A)/(B)	-	-	19.9%	154.6%	133.9%	114.8%	243.7%	169.5%
残歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	230340	210360	620930	219330	693630	85740	589100	126930
5 - 9 歯	124480	92100	488260	240830	175860	117390	233080	135240
10 - 14 歙	891970	60980	358830	163800	206920	105290	499630	104450
15 - 19 歯	450470	124650	338000	102990	674010	135480	472850	110060
19 歯以下(A)	436250	105230	412010	162740	432130	108090	453920	114540
20 歯以上(B)	387610	109890	308930	89490	210260	96600	319930	89660
全 体	411930	107270	366870	132360	362360	106220	392040	105030
比較(A)/(B)	112.5%	95.8%	133.4%	181.8%	205.5%	111.9%	141.9%	127.8%



虚血性心疾患 年齢階級別歯周病の程度別

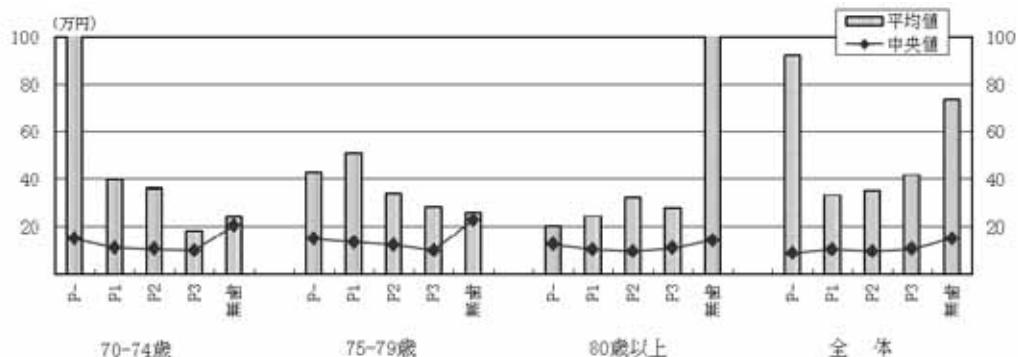
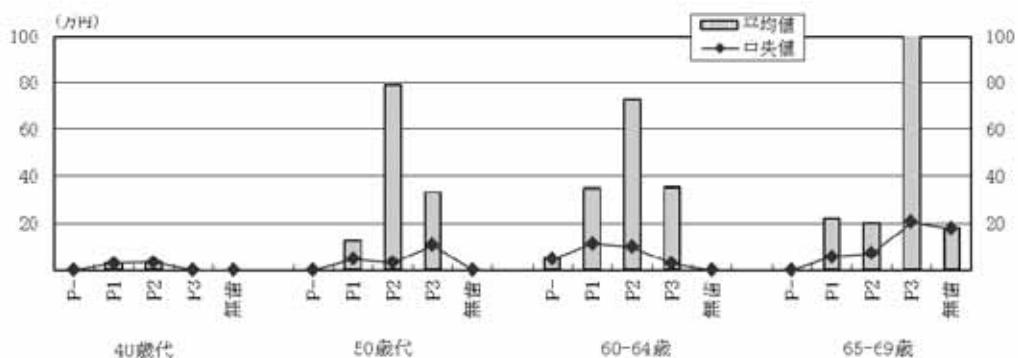
虚血性心疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	3	0	4	3	5	15
P1	1	6	9	18	22	31	37	124
P2	1	4	24	47	77	93	94	340
P3	0	5	3	18	20	21	40	107
無 歯	0	0	0	1	5	5	18	29
計	2	15	39	84	128	153	194	615

・診療費（一人あたり1年間、円）

平均値では、70-74歳のP-が284万円と極めて高く、全体でもP-が平均値は高くなっていたが、中央値では、歯周病の程度が重つなほど診療費が高くなっていた。

歯周病分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	0	0	0	0	51380	47790	0	0
P1	28980	28980	123200	46340	345460	112440	218320	56280
P2	32970	32970	784770	30380	728180	98450	198540	69810
P3	0	0	332780	107040	350680	28140	1173080	204470
歯周病あり(A)	30980	30980	369480	51960	601040	105260	414170	72660
無 歯	0	0	0	0	0	0	178020	178020
全 体	30980	30980	369480	369480	558760	558760	411360	411360
比較(A)/(P-)	-	-	-	-	1169.8%	220.2%	-	-
歯周病分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	2843740	149750	426480	149010	203420	125370	921710	89340
P1	396910	111900	510630	136590	245510	104040	334290	105590
P2	360250	106410	341390	123660	323130	97560	352480	96830
P3	184250	100310	284760	101970	279280	110970	417450	107040
歯周病あり(A)	337440	106410	369370	128790	296080	102150	360700	103020
無 歯	239210	205020	258680	229650	1036240	144660	735160	151620
全 体	411930	411930	366870	366870	362360	362360	392040	392040
比較(A)/(P-)	11.9%	71.1%	86.6%	86.4%	145.5%	81.5%	39.1%	115.3%



虚血性心疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

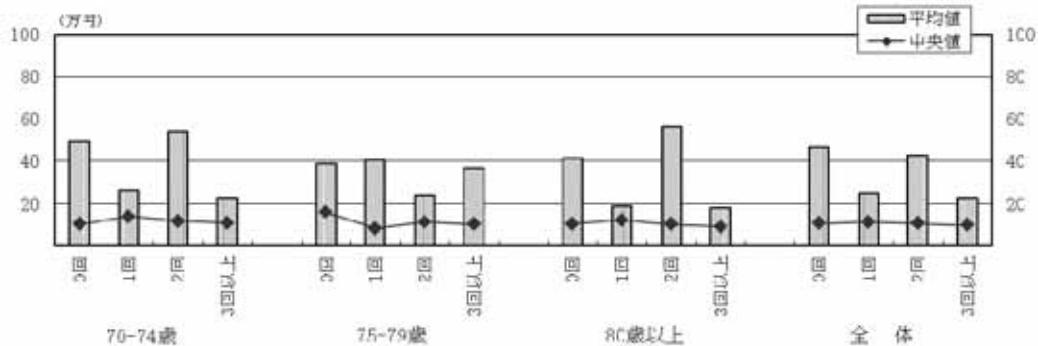
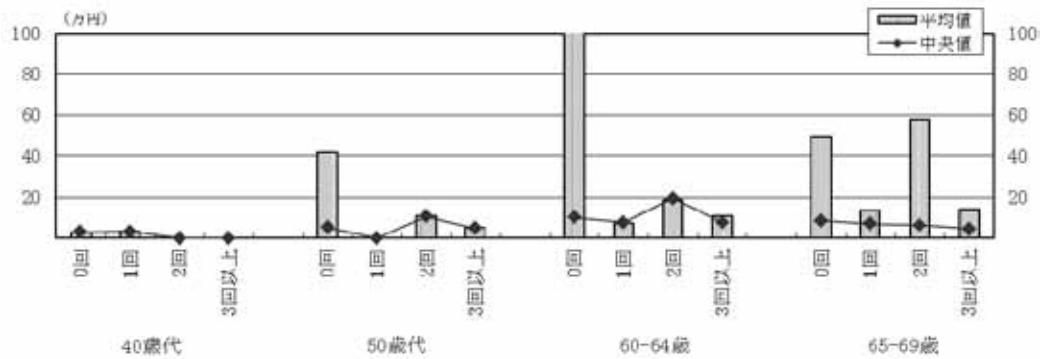
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0回	1	13	18	51	72	79	130	364
1回	1	0	4	10	17	24	27	83
2回	0	1	4	11	13	20	12	61
3回以上	0	1	13	12	26	30	25	107
計	2	15	39	84	128	153	194	615

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少ない40歳代を除き、各年齢階級で健診なしの診療費が高く、全体では健診なしは健診ありの約1.6倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	28980	28980	414370	51960	1077070	102470	493350	85080
1回	32970	32970	0	0	72930	77640	136210	71040
2回	0	0	107040	107040	183740	194730	575700	63960
3回以上	0	0	48330	48330	105980	76170	141580	46230
健診有り(B)	32970	32970	77690	77690	114490	83880	284660	64860
全体	30980	30980	369480	51960	558760	93510	411360	73650
比較(A)/(B)	88%	88%	533%	67%	941%	122%	173%	131%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	490000	103050	388300	159660	414380	105290	466450	107430
1回	264420	138960	403570	82710	188740	121800	252570	112440
2回	539120	117960	244390	113910	562080	101930	423210	107040
3回以上	228590	109230	362750	102480	183540	91740	229340	97050
健診有り(B)	311550	119630	344000	96990	256710	111170	284140	101970
全体	411930	107270	366870	132360	362360	106220	392040	105030
比較(A)/(B)	157%	86%	113%	165%	161%	95%	164%	105%



脳血管疾患 年齢階級別残存歯数別

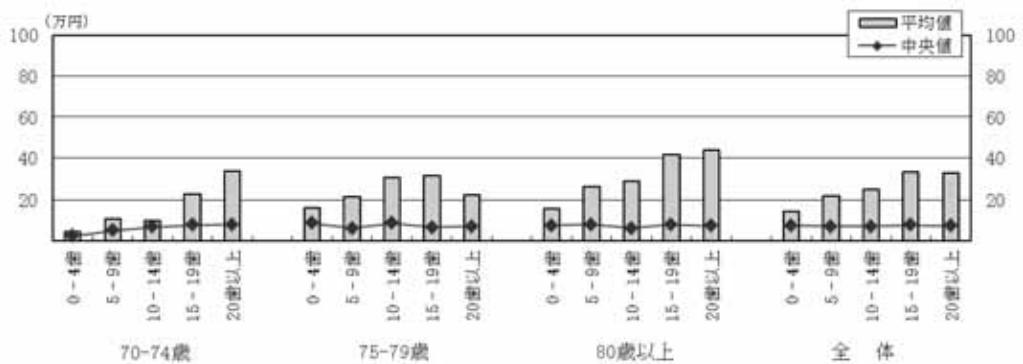
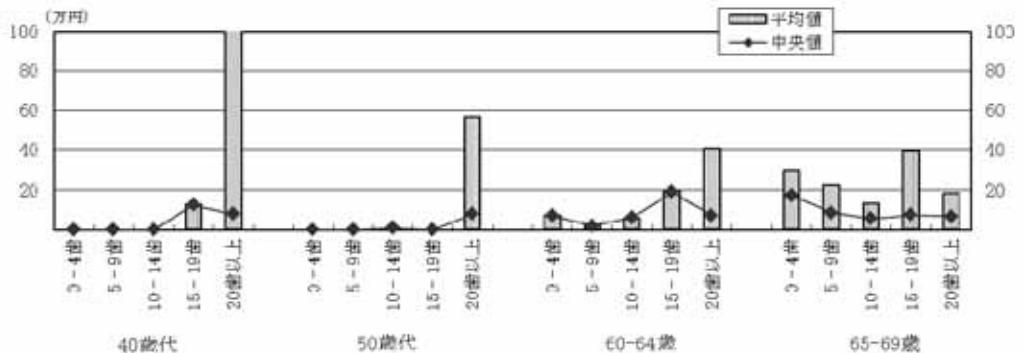
脳血管疾患の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

残存歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	2	3	17	24	69	115
5 - 9 歯	0	0	1	10	12	29	42	94
10 - 14 歯	0	1	3	13	14	45	41	117
15 - 19 歯	1	0	2	18	33	30	37	121
20 歯以上	4	10	34	65	82	93	78	366
計	5	11	42	109	158	221	267	813

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者の多い70歳以上の年齢階級では、概ね残存歯数が多いほど診療費が高くなる傾向があり、全体でもその傾向が認められた。

残歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	0	0	68340	68340	291640	174630
5 - 9 歯	0	0	0	0	20460	20460	223060	86250
10 - 14 歯	0	0	8280	8280	53810	60930	128030	55200
15 - 19 歯	125700	125700	0	0	191150	191150	396740	74370
19 歯以下(A)	125700	125700	8280	8280	87610	59810	270710	78300
20 歯以上(B)	1319810	77490	564610	79290	406330	70800	179670	67980
全 体	1080980	84480	514040	78360	345620	70500	216420	70500
比較(A)/(B)	9.5%	162.2%	1.5%	10.4%	21.6%	84.5%	150.7%	115.2%
残歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	48100	24300	163880	84930	157310	73800	144490	73800
5 - 9 歯	108310	49500	216980	61260	262060	78150	221810	70580
10 - 14 歯	98510	68900	306230	85020	288440	61500	246320	70500
15 - 19 歙	228680	77550	316840	65070	416510	80190	331500	77550
19 歯以下(A)	145300	63090	261800	71420	259770	75720	238030	71730
20 歯以上(B)	339250	78120	226830	70500	441590	72540	327260	71960
全 体	245960	70800	247090	70500	312890	72960	278200	71820
比較(A)/(B)	42.8%	80.8%	115.4%	101.3%	58.8%	104.4%	72.7%	99.7%



脳血管疾患 年齢階級別歯周病の程度別

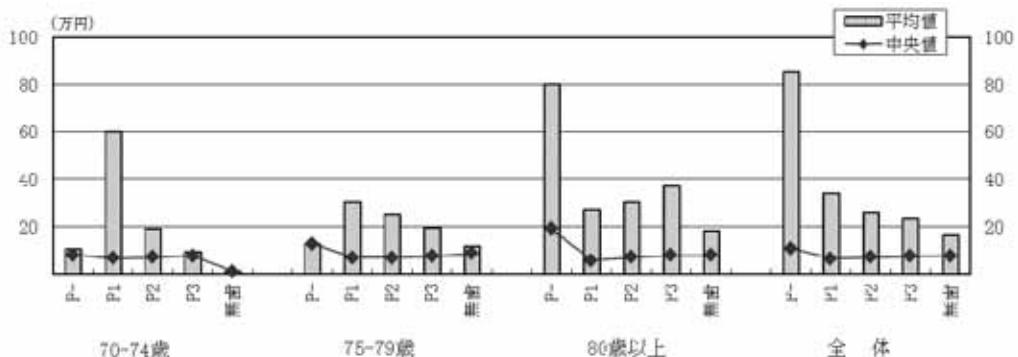
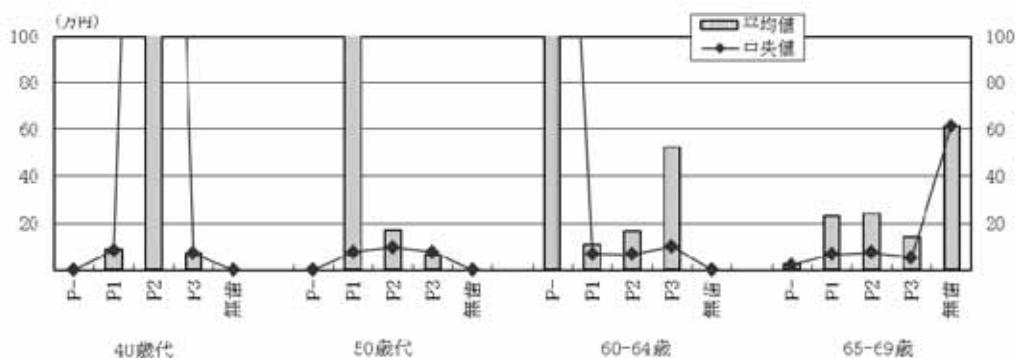
脳血管疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	2	1	3	2	8	16
P1	3	4	14	31	30	40	25	147
P2	1	3	20	55	90	129	139	437
P3	1	4	6	21	31	41	53	157
無 歯	0	0	0	1	4	9	42	56
計	5	11	42	109	158	221	267	813

・診療費(一人あたり1年間、円)

全体では、歯周病の程度が重度なほど、診療費が低くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	0	0	0	0	3326210	3326210	21240	21240
P1	85350	84480	1227420	77360	104860	68570	228180	66600
P2	5078370	5078370	167530	95550	164000	67430	237070	73950
P3	70500	70500	60530	76820	519300	100430	135450	52080
歯周病あり(A)	1080980	84480	514040	78360	196600	70130	214550	70500
無 歯	0	0	0	0	0	0	611850	611850
全 体	1080980	1080980	514040	514040	345620	345620	216420	216420
比較(A)/(P-)	-	-	-	-	5.9%	2.1%	1010.1%	331.9%
歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	108100	81720	127410	127410	796620	191280	851610	108420
P1	602040	67730	307080	69830	273830	57570	346240	66930
P2	193750	72360	255660	70500	307410	72540	263270	72270
P3	96240	77370	195800	76650	373430	80190	236150	76650
歯周病あり(A)	254850	71100	253770	70500	319660	72540	273980	70650
無 歯	13680	12750	117770	87060	185740	79380	170140	78000
全 体	245960	245960	247090	247090	312890	312890	278200	278200
比較(A)/(P-)	235.8%	87.0%	199.2%	55.3%	40.1%	37.9%	32.2%	65.2%



脳血管疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

脳血管疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

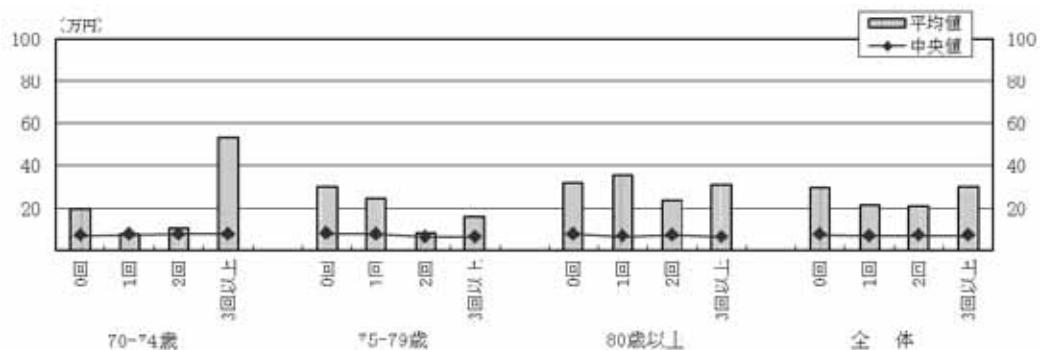
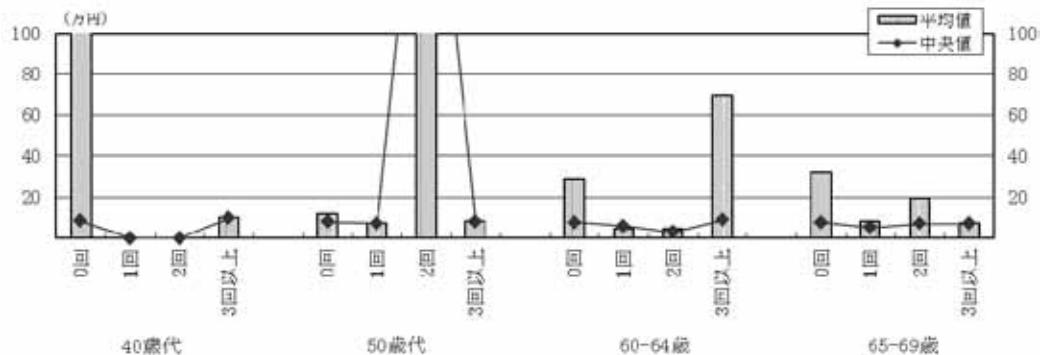
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0回	3	5	23	57	85	122	184	479
1回	0	1	3	15	21	38	32	110
2回	0	2	5	14	17	15	19	72
3回以上	2	3	11	23	35	46	32	152
計	5	11	42	109	158	221	267	813

・診療費(一人あたり1年間、円)

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなり、3回以上では高くなっていた。健診なしは健診ありの1.2倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	1736240	84480	114740	80220	283910	78000	317100	78000
1回	0	0	72540	72540	46850	58680	78920	52080
2回	0	0	2379480	2379480	46400	28800	192370	71520
3回以上	98100	98100	83060	78360	692160	87660	71230	70500
健診有り(B)	98100	98100	846780	76820	420330	69750	106060	70040
全体	1080980	84480	514040	78360	345620	70500	216420	70500
比較(A)/(B)	1770%	86%	14%	104%	68%	112%	299%	111%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	197880	70500	296950	80220	314810	78000	295110	75900
1回	81000	75900	248280	78800	354170	67800	216960	68310
2回	106690	78000	87080	64500	235970	72870	212330	70580
3回以上	529330	79110	166040	65720	306250	65970	300410	70500
健診有り(B)	301940	78000	185650	66930	308640	70500	253940	70500
全体	245960	70800	247090	70500	312890	72960	278200	71820
比較(A)/(B)	66%	90%	160%	120%	102%	111%	116%	108%



糖尿病 年齢階級別残存歯数別

糖尿病の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

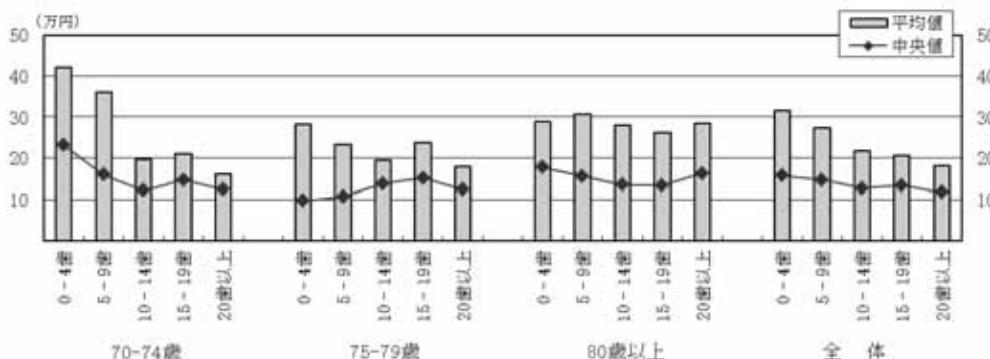
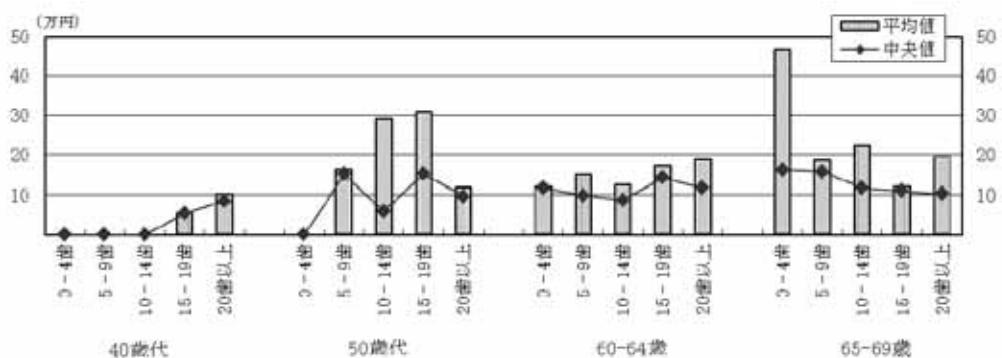
残存歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	8	15	25	45	68	161
5 - 9 歯	0	3	7	15	29	41	52	147
10 - 14 歯	0	3	11	20	43	44	42	163
15 - 19 歯	1	7	23	40	53	56	34	214
20 歯以上	13	52	101	157	167	133	60	683
計	14	65	150	247	317	319	256	1,368

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では残存歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

0-4 歯は 20 歯以上の約 1.4 倍高かった。

残歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	0	0	119730	116720	464040	162420
5 - 9 歯	0	0	161690	151440	149400	98640	185420	156870
10 - 14 歯	0	0	288860	58830	124520	87240	221580	116420
15 - 19 歯	53130	53130	307240	151440	170280	141750	119630	109200
19 歯以下(A)	53130	53130	269410	151440	148770	123150	210650	123840
20 歯以上(B)	99500	84930	116650	97080	186440	116430	194770	102060
全 体	96190	84690	147200	98940	174140	118380	200560	112620
比較(A)/(B)	53.4%	62.6%	231.0%	156.0%	79.8%	105.8%	108.2%	121.3%
残歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	422740	230880	283460	96420	290580	177360	316780	157260
5 - 9 歯	361860	159360	234080	107010	306460	156050	274410	146880
10 - 14 歙	197950	121320	195100	138020	280640	134480	218110	126630
15 - 19 歯	210370	146700	237120	151290	263120	133190	206910	133160
19 歯以下(A)	271490	145560	237720	124190	287900	161940	249890	136500
20 歯以上(B)	161170	123090	179170	124050	285970	162410	182540	117240
全 体	213370	129420	213310	124050	287450	162260	216260	126260
比較(A)/(B)	168.5%	118.3%	132.7%	100.1%	100.7%	99.7%	136.9%	116.4%



糖尿病 年齢階級別歯周病の程度別

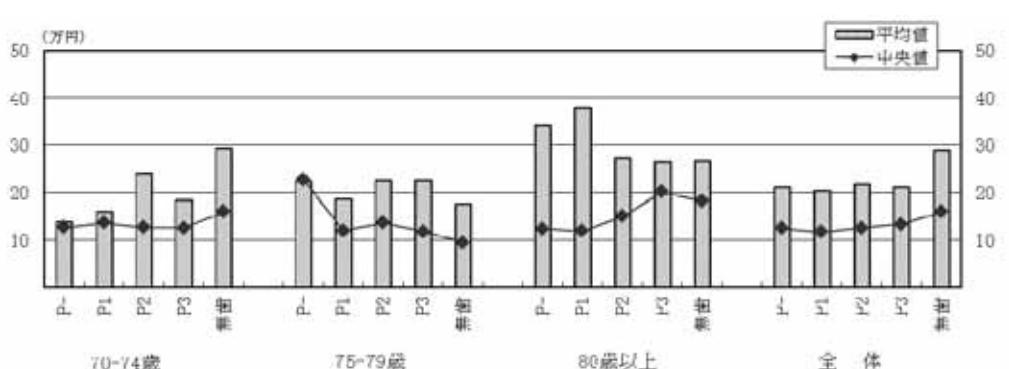
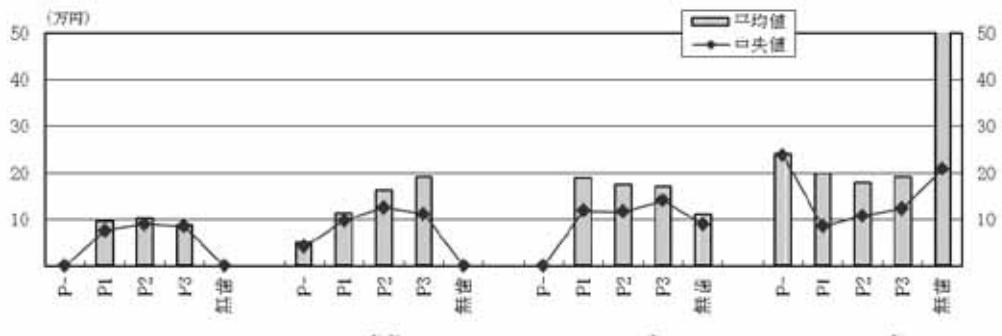
糖尿病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	3	0	2	4	5	5	19
P1	3	18	48	54	71	65	42	301
P2	10	32	75	140	179	158	115	709
P3	1	12	23	45	54	71	60	266
無 歯	0	0	4	6	9	20	34	73
計	14	65	150	247	317	319	256	1,368

・診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、平均値では歯周病の程度による差は認められなかつたが、中央値では概ね歯周病の程度が重度なほど診療費が高くなっていた。

歯周病分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	0	0	48630	40980	0	0	237830	237830
P1	92640	75630	111590	97140	186460	117800	195420	84500
P2	98380	89270	160980	124980	171630	116190	175750	107570
P3	84930	84930	188540	111260	167840	139710	187240	122880
歯周病あり(A)	96190	84690	151970	100200	175910	119580	182360	110520
無 歯	0	0	0	0	109400	89420	913050	207390
全 体	96190	96190	147200	147200	174140	174140	200560	200560
比較(A)/(P-)	-	-	312.5%	244.5%	-	-	76.7%	46.5%
歯周病分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	139110	127100	222790	226440	341330	123780	210450	124770
P1	161290	136380	184860	120150	378690	119820	203200	117660
P2	240810	127590	224710	137000	271100	150600	216360	126390
P3	183170	125900	223840	118590	262510	200510	211160	134310
歯周病あり(A)	212000	128190	215690	124680	289550	160680	212170	124760
無 歯	292720	160350	175970	95100	266120	181370	289280	160350
全 体	213370	213370	213310	213310	287450	287450	216260	216260
比較(A)/(P-)	152.4%	100.9%	96.8%	55.1%	84.8%	129.8%	100.8%	100.0%



糖尿病 年齢階級別歯科健診受診頻度別

糖尿病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

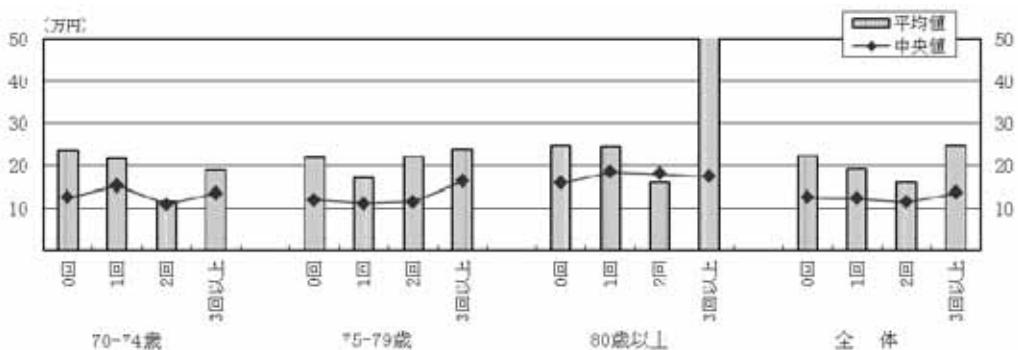
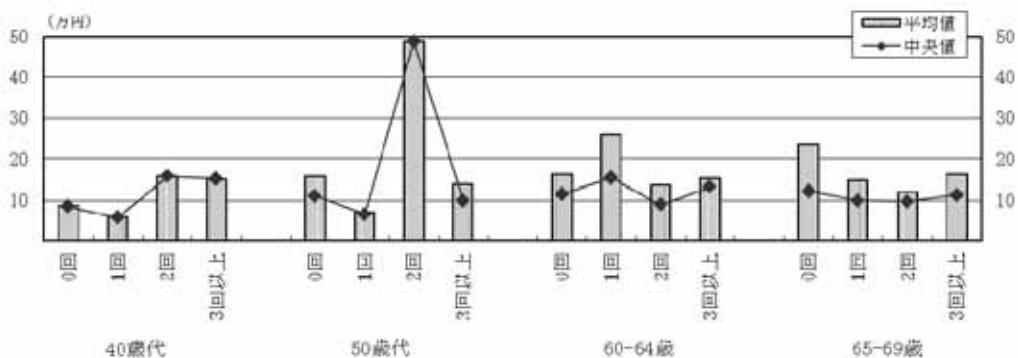
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0回	8	34	88	146	177	195	177	825
1回	3	12	24	38	48	50	36	211
2回	2	2	13	22	24	25	14	102
3回以上	1	17	25	41	68	49	29	230
計	14	65	150	247	317	319	256	1,368

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなり、3回以上では高くなっていた。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	87320	84690	158300	110540	162630	114780	236760	122100
1回	61010	57660	71290	65640	258170	153360	149140	99740
2回	157140	157140	485790	485790	137020	89700	120980	96890
3回以上	150780	150780	138770	98820	153270	132480	161990	112620
健診有り(B)	108020	103580	135040	93600	190470	125990	148220	102060
全体	96190	84690	147200	98940	174140	118380	200560	112620
比較(A)/(B)	81%	82%	117%	118%	85%	91%	160%	120%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	234870	124770	217290	119250	246770	157680	221310	124740
1回	216280	152760	170280	110900	242990	183530	192150	123150
2回	114760	109230	220760	115110	159060	179790	159100	113970
3回以上	190160	135120	237590	162000	652900	172500	245610	136160
健診有り(B)	186190	131900	207050	129680	378590	173220	208590	128100
全体	213370	129420	213310	124050	287450	162260	216260	126260
比較(A)/(B)	126%	95%	105%	92%	65%	91%	106%	97%



高血圧性疾患 年齢階級別残存歯数別

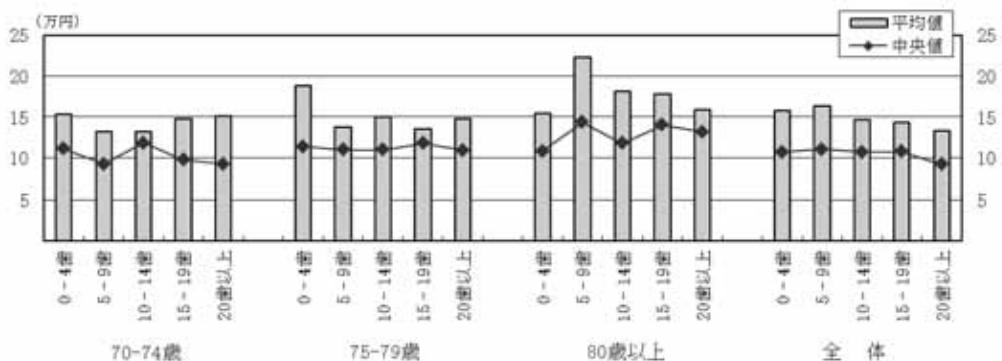
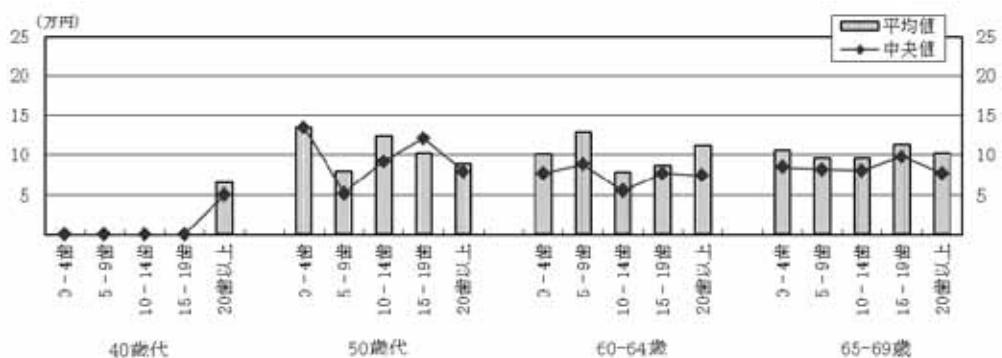
高血圧性疾患の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

残存歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0 - 4 歯	0	1	11	32	43	104	227	418
5 - 9 歯	0	7	18	46	66	122	160	419
10 - 14 歯	0	9	24	56	81	135	158	463
15 - 19 歯	0	6	41	83	124	156	161	571
20 歯以上	16	95	245	398	456	448	319	1,977
計	16	118	339	615	770	965	1,025	3,848

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では概ね残存歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

残歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	134910	134910	100510	76140	104670	84000
5 - 9 歯	0	0	78770	51540	128110	87470	94650	81200
10 - 14 歯	0	0	122150	91620	77250	54870	94130	79940
15 - 19 歯	0	0	102120	120570	85460	76290	111990	97320
19 歯以下(A)	0	0	104280	91620	93290	74010	102620	87870
20 歯以上(B)	64010	49760	87660	78450	110850	73470	102130	76320
全 体	64010	49760	90900	78450	105980	73470	102310	79980
比較(A)/(B)	-	-	119.0%	116.8%	84.2%	100.7%	100.5%	115.1%
残歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	153570	110820	188700	113700	154940	108060	157870	106800
5 - 9 歯	132390	92480	138630	109950	223180	143490	163650	110430
10 - 14 歯	132180	118260	150240	109680	182220	117810	146880	107070
15 - 19 歙	148460	97280	135920	117720	178920	139860	143310	107610
19 歯以下(A)	141580	103140	150920	111780	181980	123840	152000	107940
20 歯以上(B)	151690	92690	147820	109250	158920	131400	133160	92160
全 体	147570	97680	149480	111210	174800	126870	142320	100260
比較(A)/(B)	93.3%	111.3%	102.1%	102.3%	114.5%	94.2%	114.2%	117.1%



高血圧性疾患 年齢階級別歯周病の程度別

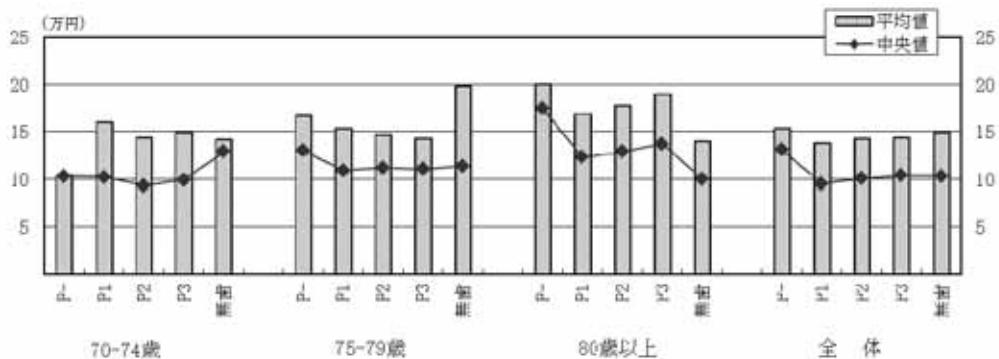
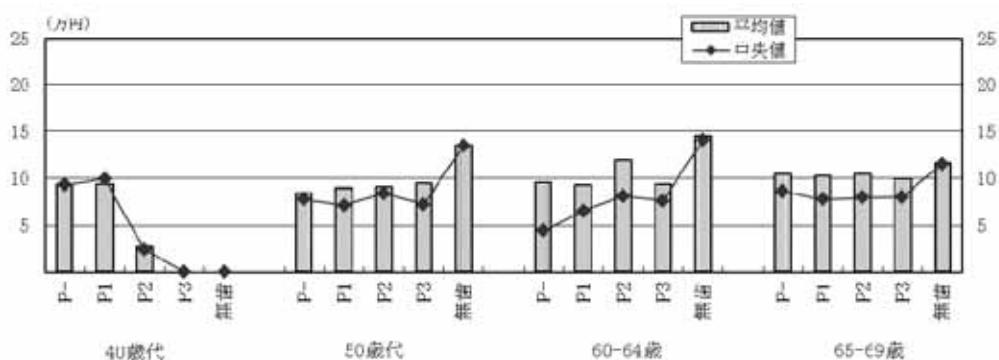
高血圧性疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	1	3	13	4	12	22	33	88
P1	8	39	104	154	173	209	166	853
P2	7	47	165	314	429	547	508	2,017
P3	0	28	53	133	137	154	208	713
無 歯	0	1	4	10	19	33	110	177
計	16	118	339	615	770	965	1,025	3,848

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、P-が高くなっていたが、歯周病ありでは、歯周病の程度が重度なほど診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	92490	92490	84210	78090	95410	44400	103530	86490
P1	93300	99360	89460	71340	91820	65660	102110	77670
P2	26450	24090	89660	84540	118970	81510	103350	79940
P3	0	0	94120	72450	93070	76440	99030	80460
歯周病あり(A)	62110	27630	90690	78450	105940	74990	102080	79350
無 歯	0	0	134910	134910	143840	140450	115650	114800
全 体	64010	64010	90900	90900	105980	105980	102310	102310
比較(A)/(P-)	67.1%	29.9%	107.7%	100.5%	111.0%	168.9%	98.6%	91.7%
歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	102720	102720	166470	129350	199730	174600	153250	130580
P1	160280	101970	152590	108750	168360	122790	137250	95220
P2	143410	92970	146550	111630	177080	128480	142850	100230
P3	149290	98910	142810	110310	189110	136770	143790	103500
歯周病あり(A)	148450	96840	147310	110630	178270	130460	141700	99390
無 歯	141670	128760	198040	113400	139450	99930	149340	102900
全 体	147570	147570	149480	149480	174800	174800	142320	142320
比較(A)/(P-)	144.5%	94.3%	88.5%	85.5%	89.3%	74.7%	92.5%	76.1%



高血圧性疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

高血圧性疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

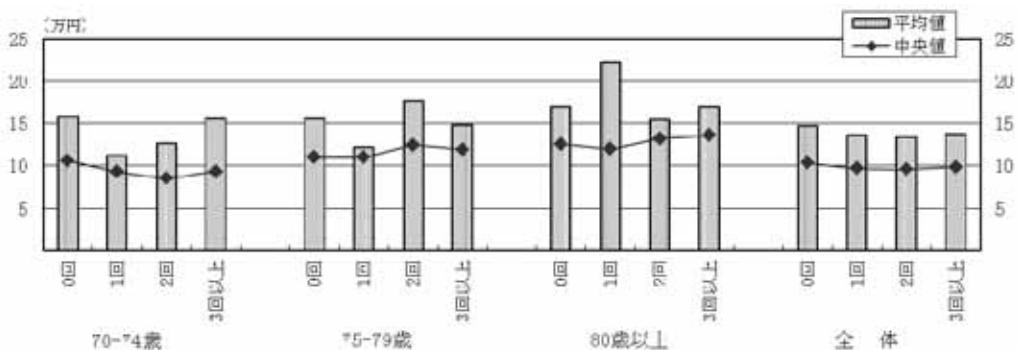
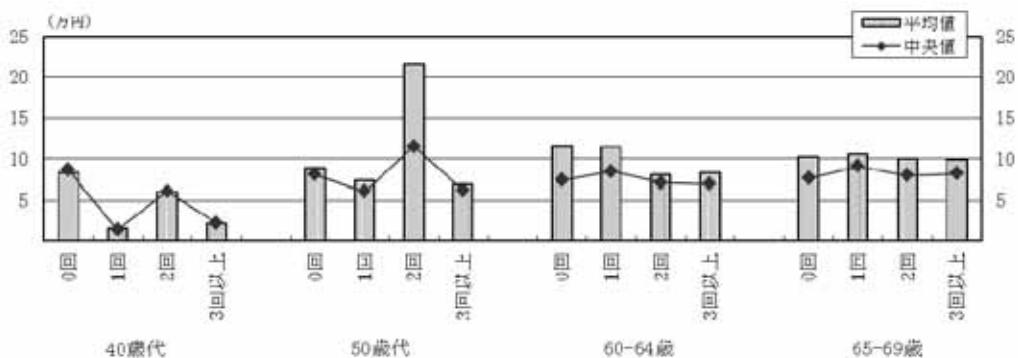
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0回	10	65	195	347	425	541	713	0
1回	3	22	45	100	127	164	126	0
2回	2	8	32	65	58	61	65	0
3回以上	1	23	67	103	160	199	121	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯科健診頻度が多くなるほど診療費が低くなり3回以上では高くなる傾向が見られた。健診なしは健診ありの約1.1倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	83090	86250	88900	80760	115840	73890	102810	76170
1回	16330	14400	73710	60690	115080	84420	105550	90920
2回	60900	60900	215250	115080	81050	71180	99900	79350
3回以上	22380	22380	69740	61350	83100	69240	98960	82110
健診有り(B)	32200	23240	93350	74550	92640	73340	101650	82770
全体	64010	49760	90900	78450	105980	73470	102310	79980
比較(A)/(B)	258%	371%	95%	108%	125%	101%	101%	92%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	158010	105270	155710	109080	169310	125010	146770	102620
1回	112280	91950	121070	109130	222170	118890	135460	96510
2回	125660	84050	175840	124140	154040	131430	133880	95250
3回以上	155780	92570	147860	118530	168970	135180	136770	98130
健診有り(B)	134700	91200	141520	115050	187340	131420	135730	96720
全体	147570	97680	149480	111210	174800	126870	142320	100260
比較(A)/(B)	117%	115%	110%	95%	90%	95%	108%	106%



動脈硬化症 年齢階級別残存歯数別

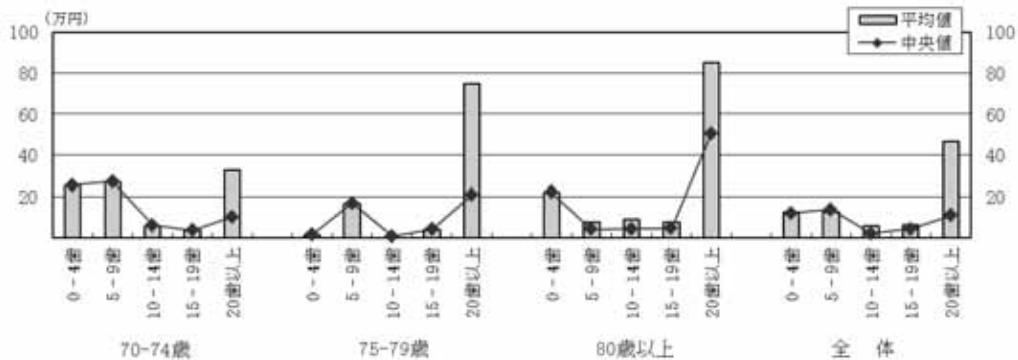
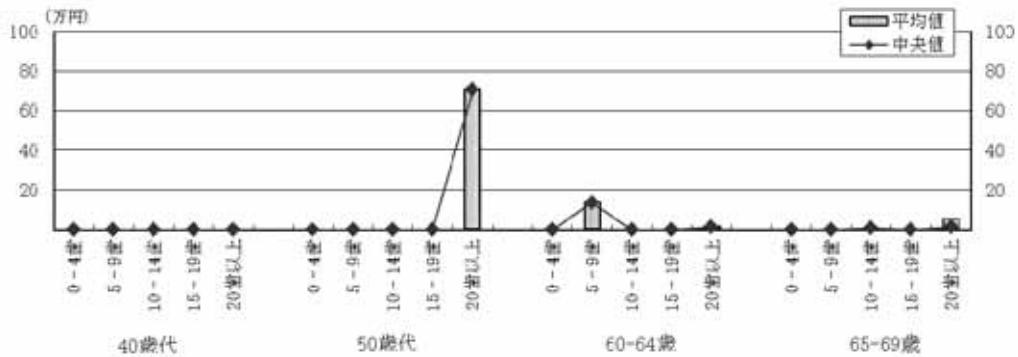
動脈硬化症の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

残存歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	0	0	1	2	1	4
5 - 9 歯	0	0	1	0	1	1	4	7
10 - 14 歯	0	0	0	1	1	2	5	9
15 - 19 歯	0	0	0	0	1	2	7	10
20 歯以上	0	1	3	5	6	6	6	27
計	0	1	4	6	10	13	23	57

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、残存歯数との関連は不明だった。

残歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	0	0	0	0	0	0
5 - 9 歯	0	0	0	0	136500	136500	0	0
10 - 14 歯	0	0	0	0	0	0	9600	9600
15 - 19 歙	0	0	0	0	0	0	0	0
19 歯以下(A)	0	0	0	0	136500	136500	9600	9600
20 歯以上(B)	0	0	705540	705540	12000	12510	51230	12750
全 体	0	0	705540	705540	43130	12930	44300	11180
比較(A)/(B)	-	-	-	-	1137.5%	1091.1%	18.7%	75.3%
残歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	254280	254280	15600	15600	219630	219630	126280	118550
5 - 9 歯	272130	272130	168900	168900	77630	41670	126870	136500
10 - 14 歯	60450	60450	6990	6990	93490	44160	61270	20640
15 - 19 歙	35790	35790	40640	40640	78720	44490	66810	43260
19 歯以下(A)	155660	157370	42190	17460	91090	44490	87090	44220
20 歯以上(B)	330020	102230	749560	208710	854270	502500	466700	108720
全 体	260280	102230	368670	37200	290180	74640	266900	45660
比較(A)/(B)	47.2%	153.9%	5.6%	8.4%	10.7%	8.9%	18.7%	40.7%



動脈硬化症 年齢階級別歯周病の程度別

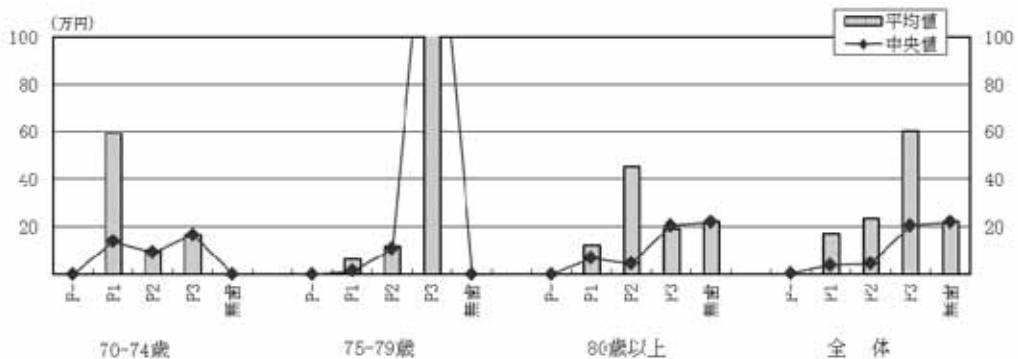
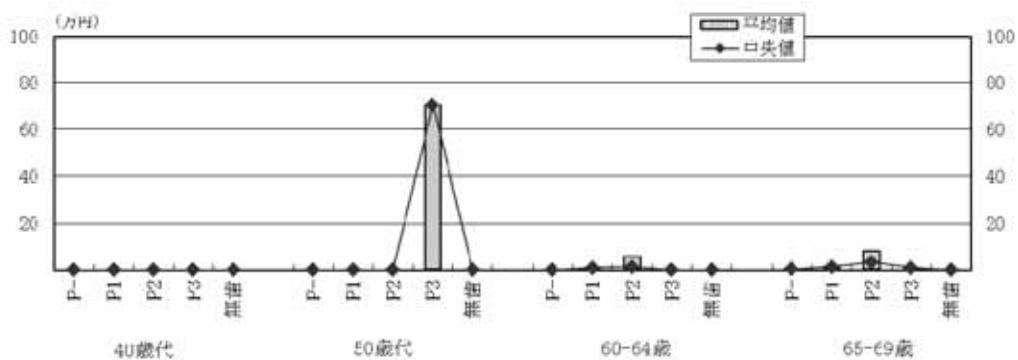
動脈硬化症の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	1	0	0	0	1
P1	0	0	1	1	3	5	8	18
P2	0	0	3	3	5	6	11	28
P3	0	1	0	1	2	2	3	9
無 歯	0	0	0	0	0	0	1	1
計	0	1	4	6	10	13	23	57

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯周病の程度との関連は不明だが、全体では、歯周病の程度が重度なほど診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	0	0	0	0	0	0	3660	3660
P1	0	0	0	0	10140	10140	12750	12750
P2	0	0	0	0	54120	13350	79920	33150
P3	0	0	705540	705540	0	0	9600	9600
歯周病あり(A)	0	0	705540	705540	43130	12930	52420	12750
無 歯	0	0	0	0	0	0	0	0
全 体	0	0	705540	705540	43130	43130	44300	44300
比較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	1432.3%	348.4%
歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	0	0	0	0	0	0	3660	3660
P1	588620	137610	60140	14220	119060	67980	169000	38660
P2	100870	90600	116630	106590	448690	44490	233640	44390
P3	166290	166290	1896090	1896090	188850	204930	600720	204930
歯周病あり(A)	260280	102230	368670	37200	293390	60150	272550	45660
無 歯	0	0	0	0	219630	219630	219630	219630
全 体	260280	260280	368670	368670	290180	290180	266900	266900
比較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	7446.7%	1247.5%



動脈硬化症 年齢階級別歯科健診受診頻度別

動脈硬化症の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

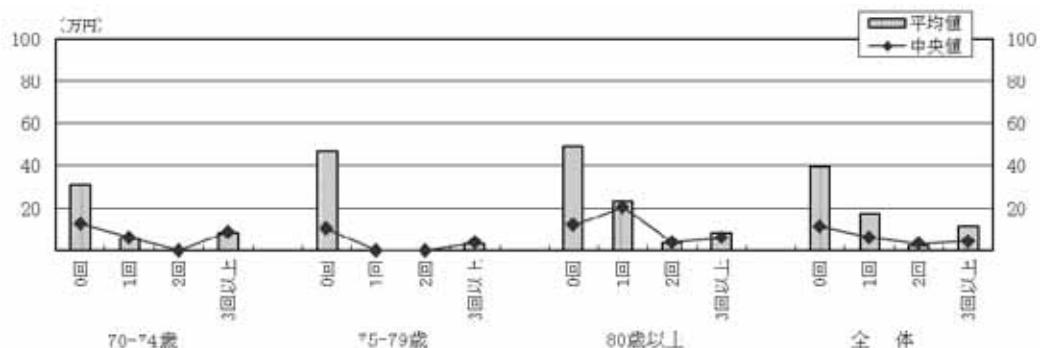
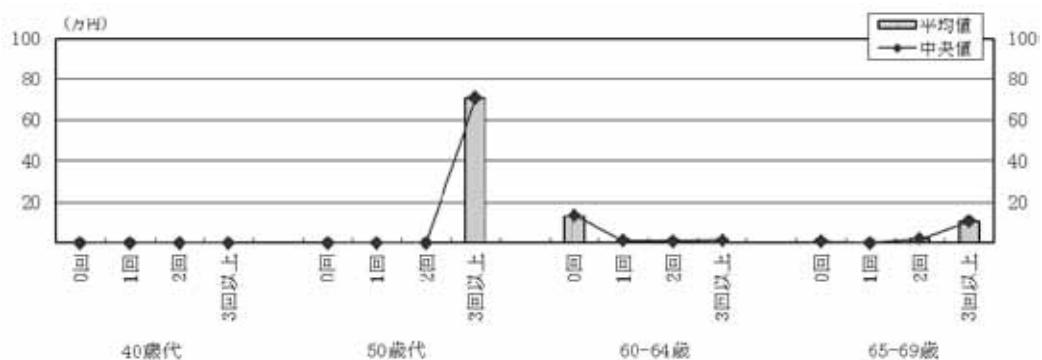
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0回	0	0	1	2	8	10	10	31
1回	0	0	1	0	1	0	5	7
2回	0	0	1	2	0	0	2	5
3回以上	0	1	1	2	1	3	6	14
計	0	1	4	6	10	13	23	57

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯科健診受診頻度との関連は不明だが、全体では、歯科健診頻度が多くなるほど診療費が低くなり3回以上では高くなる傾向が見られた。健診なしは健診ありの約3.4倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	0	0	0	0	136500	136500	6630	6630
1回	0	0	0	0	12510	12510	0	0
2回	0	0	0	0	10140	10140	20400	20400
3回以上	0	0	705540	705540	13350	13350	105860	105860
健診有り(B)	0	0	705540	705540	12000	12510	63130	22950
全体	0	0	705540	705540	43130	12930	44300	11180
比較(A)/(B)	-	-	-	-	1138%	1091%	11%	29%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	306980	125730	469700	102950	490600	118740	393830	113850
1回	60450	60450	0	0	235680	204930	178770	60450
2回	0	0	0	0	39960	39960	26170	33150
3回以上	86490	86490	31900	37200	84980	59400	115910	44220
健診有り(B)	73470	73470	31900	37200	136020	44490	115570	43200
全体	260280	102230	368670	37200	290180	74640	266900	45660
比較(A)/(B)	418%	171%	1472%	277%	361%	267%	341%	264%



歯の疾患 年齢階級別残存歯数別

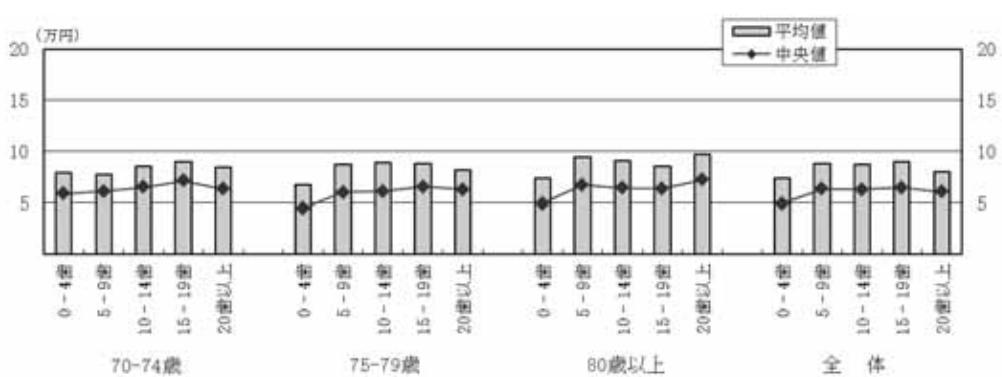
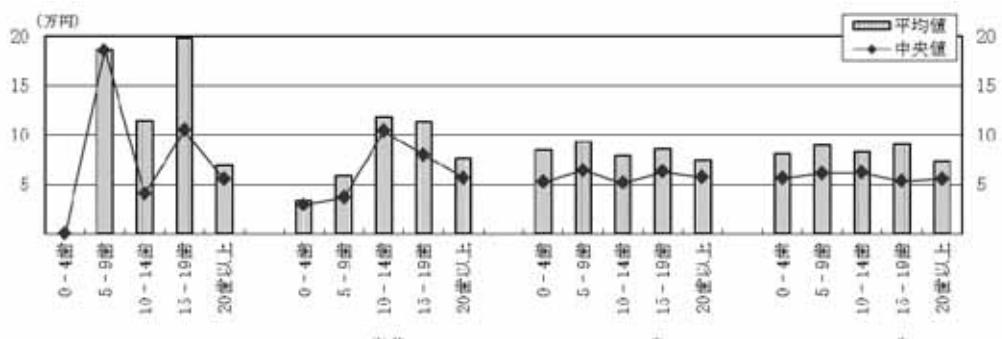
歯の疾患の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

残存歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0 - 4 歯	0	8	32	72	97	174	355	738
5 - 9 歯	1	18	43	100	159	226	316	863
10 - 14 歯	5	26	98	164	210	319	326	1,148
15 - 19 歯	9	68	132	242	356	387	332	1,526
20 歯以上	274	534	837	1,122	1,144	979	652	5,542
計	289	654	1,142	1,700	1,966	2,085	1,981	9,817

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも、概ね5-19歯の診療費が高く、0-4歯と20歯以上は低くなっていた。全体でも、同様に5-19歯が高く、0-4歯と20歯以上は低くなっていた。

残歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	32670	29460	83690	51920	80360	56030
5 - 9 歯	185160	185160	58320	36500	92440	63960	89280	61080
10 - 14 歯	113030	40020	117600	103380	78140	51300	82520	61470
15 - 19 歙	197260	104250	112380	79740	84980	62250	89310	53270
19歯以下(A)	168370	97590	100090	71630	83700	57540	86260	59340
20歯以上(B)	68600	54840	75890	56510	73790	56730	72610	55410
全体	73780	55620	80330	57870	76440	56940	77250	56160
比較(A)/(B)	245.4%	178.0%	131.9%	126.8%	113.4%	101.4%	118.8%	107.1%
残歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	78720	58380	67690	44420	74060	48750	73750	48950
5 - 9 歯	77290	60660	87490	59480	94800	66710	88240	62760
10 - 14 歯	84990	64490	89030	60570	90700	63780	87660	62360
15 - 19 歙	89860	71090	88380	65250	85750	63080	89720	64100
19歯以下(A)	84870	63590	85130	59480	85990	60720	86110	60750
20歯以上(B)	84080	62880	82030	62310	96920	71640	79800	60000
全体	84410	63090	83670	60810	89590	64140	82550	60330
比較(A)/(B)	100.9%	101.1%	103.8%	95.5%	88.7%	84.8%	107.9%	101.3%



歯の疾患 年齢階級別歯周病の程度別

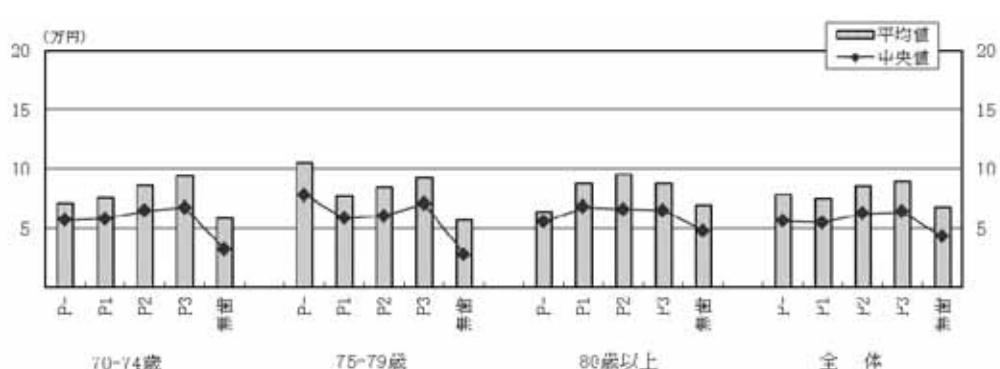
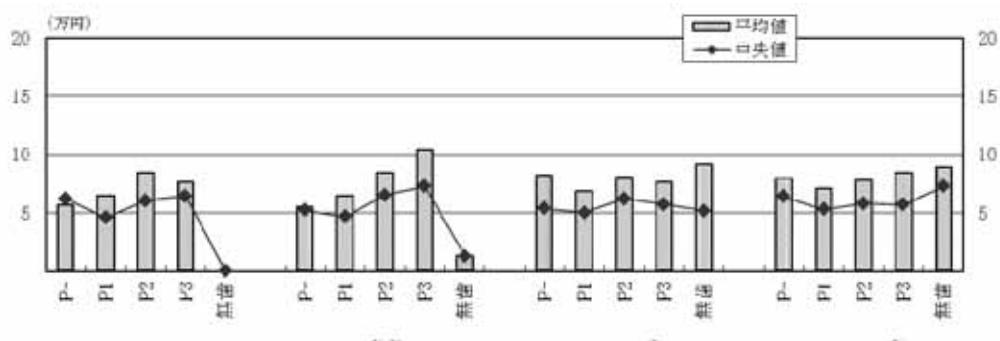
歯の疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	7	11	31	26	25	39	38	177
P1	125	211	304	427	466	481	363	2,377
P2	128	312	612	911	1,098	1,143	1,015	5,219
P3	29	119	188	310	350	376	412	1,784
無 歯	0	1	7	26	27	46	153	260
計	289	654	1,142	1,700	1,966	2,085	1,981	9,817

・診療費（一人あたり1年間、円）

60-64歳、65-69歳、75-79歳でP-の診療費が高くなっていたが、概ね歯周病が重度なほど診療費が高くなっていた。全体でも、P-が高くなっていたが、歯周病ありでは歯周病の程度が重度なほど高くなっていた。

歯周病分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	56050	61800	54410	52170	81220	53640	79320	64070
P1	63710	45690	63830	46380	68360	50040	70600	52800
P2	84130	60350	83770	64970	80080	61890	77850	57840
P3	75770	64260	103500	72630	76300	57320	83560	56970
歯周病あり(A)	74220	55500	80880	58340	76210	57050	77040	56070
無 歯	0	0	12900	12900	91260	51810	88600	72600
全 体	73780	73780	80330	80330	76440	76440	77250	77250
比較(A)/(P-)	132.4%	89.8%	148.6%	111.8%	93.8%	106.3%	97.1%	87.5%
歯周病分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	71590	57120	104410	77520	64460	55440	78430	56310
P1	75280	58190	76380	58500	87430	67920	74010	55230
P2	86220	64640	84280	60570	95290	66090	85180	62640
P3	93790	67410	92230	70770	87240	65070	88680	63860
歯周病あり(A)	84940	63420	83870	61500	91840	66320	83020	60840
無 歯	58910	32280	57440	28040	69430	48270	68510	43010
全 体	84410	84410	83670	83670	89590	89590	82550	82550
比較(A)/(P-)	118.7%	111.0%	80.3%	79.3%	142.5%	119.6%	105.8%	108.0%



歯の疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

歯の疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

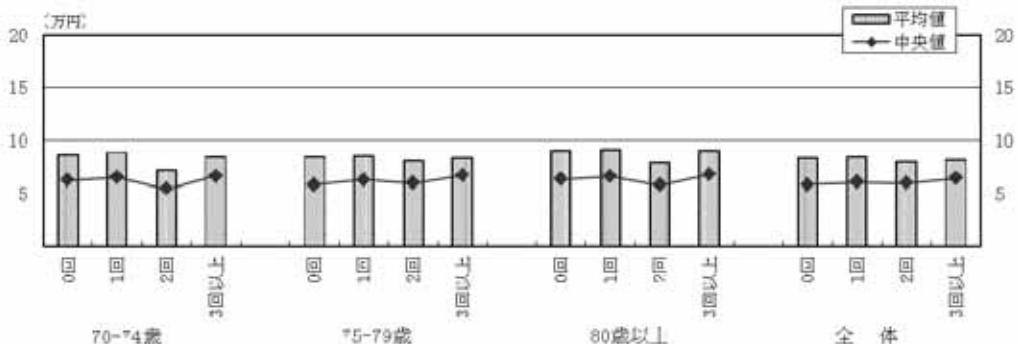
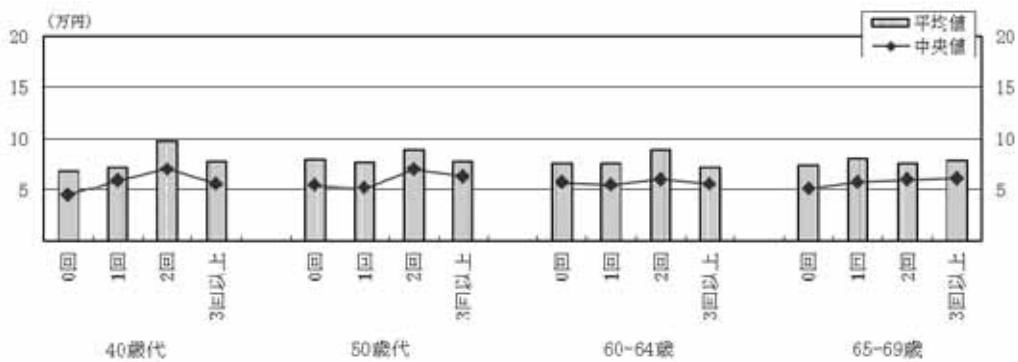
健診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	149	331	502	785	860	1,022	1,175	4,824
1 回	63	99	197	310	347	325	312	1,653
2 回	26	72	126	194	198	203	140	959
3 回 以 上	51	152	317	411	561	535	354	2,381
計	289	654	1,142	1,700	1,966	2,085	1,981	9,817

・診療費（一人あたり1年間、円）

64歳以下では2回が高くなっていたが、65歳以上では、健診なしよりも1回が高くなり、2回は低く、3回以上はまた高くなる傾向が認められた。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	68660	44970	80290	54570	76490	57140	74720	51480
1回	72130	59160	77010	51810	76210	55260	80860	57830
2回	98570	70370	88950	69770	88690	60570	76810	60170
3回以上	78150	55950	78480	63360	71630	55920	79580	61440
健 診 有 り (B)	79230	59660	80370	60270	76400	56870	79430	60000
全 体	73780	55620	80330	57870	76440	56940	77250	56160
比 較 (A)/(B)	87%	75%	100%	91%	100%	100%	94%	86%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	85960	62010	84330	58280	90140	63240	82890	58170
1回	88170	64770	84780	62520	91300	65490	84020	60300
2回	72240	54480	80650	59490	78600	58010	80000	59490
3回以上	84020	66000	82900	66510	90590	67620	81850	63900
健 診 有 り (B)	83210	63770	83040	63840	88780	64850	82210	61740
全 体	84410	63090	83670	60810	89590	64140	82550	60330
比 較 (A)/(B)	103%	97%	102%	91%	102%	98%	101%	94%



(4) 生活習慣病に関する分析

生活習慣病 年齢階級別残存歯数別

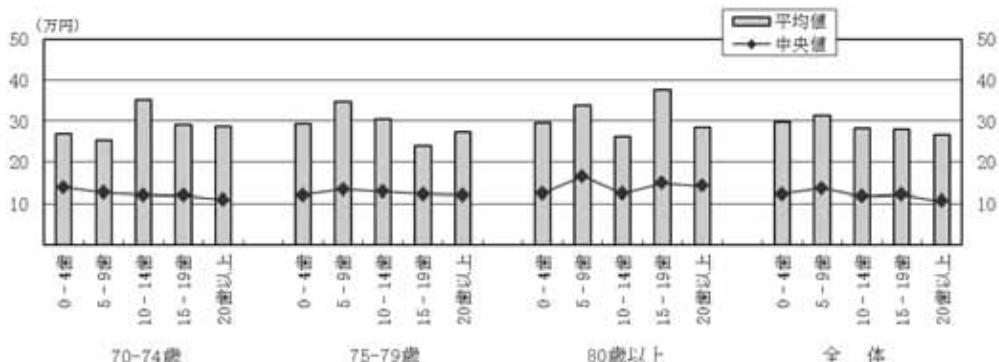
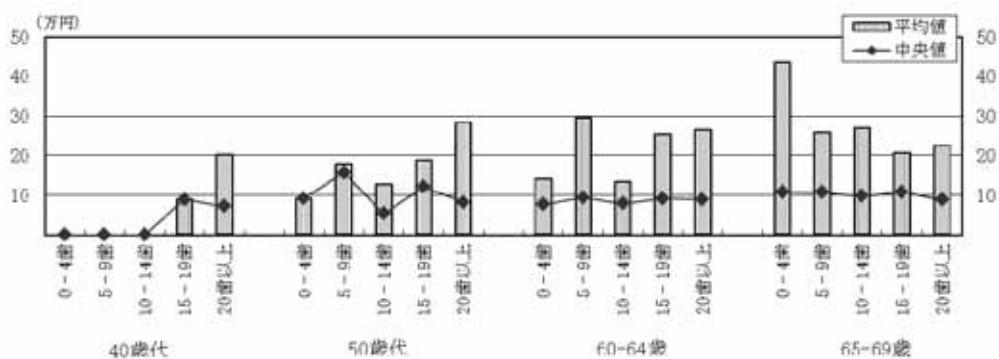
生活習慣病の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

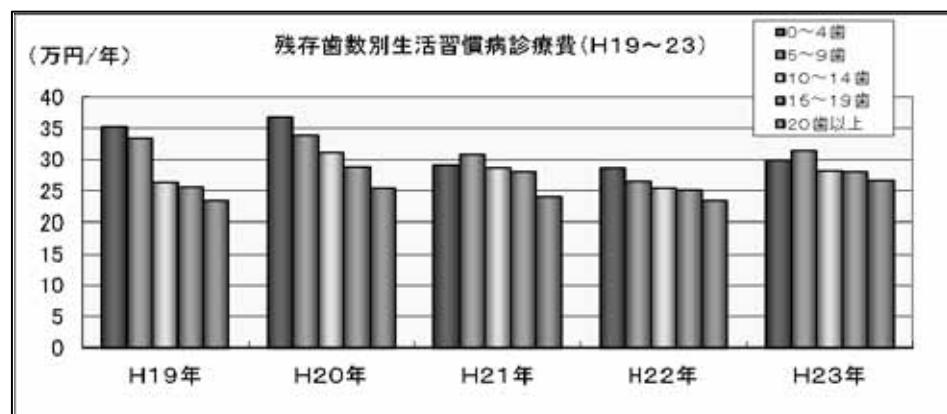
残存歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0 - 4 歯	0	2	23	59	95	187	395	761
5 - 9 歯	0	10	32	75	129	205	292	743
10 - 14 歯	0	17	45	102	160	247	274	845
15 - 19 歯	2	16	81	160	228	298	267	1,052
20 歯以上	43	190	452	716	814	761	521	3,497
計	45	235	633	1,112	1,426	1,698	1,749	6,898

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では 0-4 歯がやや少ないが概ね残存歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。0-4 歯は 20 歯以上の 1.1 倍高かった。

残歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	91620	91620	141310	76140	434080	108600
5 - 9 歯	0	0	176630	157620	295130	93860	256610	107100
10 - 14 歯	0	0	126350	53370	133630	79320	268470	97440
15 - 19 歯	89420	89420	186680	120570	251430	92250	204770	107930
19 歯以下(A)	89420	89420	157430	103860	215870	89070	265160	105380
20 歯以上(B)	201340	71880	282670	81900	263720	89250	223870	88130
全体	196360	71880	258690	83340	250040	89070	238570	96020
比較(A)/(B)	44.4%	124.4%	55.7%	126.8%	81.9%	99.8%	118.4%	119.6%
残歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	269600	138030	294090	119730	297180	123930	298340	122520
5 - 9 歯	254000	125310	348060	133710	339440	165440	314520	136110
10 - 14 歙	351210	120350	304250	128040	261710	122970	282360	116760
15 - 19 歯	292620	118820	241050	122820	376260	147930	280710	121640
19 歯以下(A)	296220	123690	291710	124770	316510	139350	292450	122970
20 歯以上(B)	287920	109040	273380	120480	285870	141570	266860	105390
全体	291480	113570	283490	123620	307380	139380	279480	113690
比較(A)/(B)	102.9%	113.4%	106.7%	103.6%	110.7%	98.4%	109.6%	116.7%





生活習慣病 年齢階級別歯周病の程度別

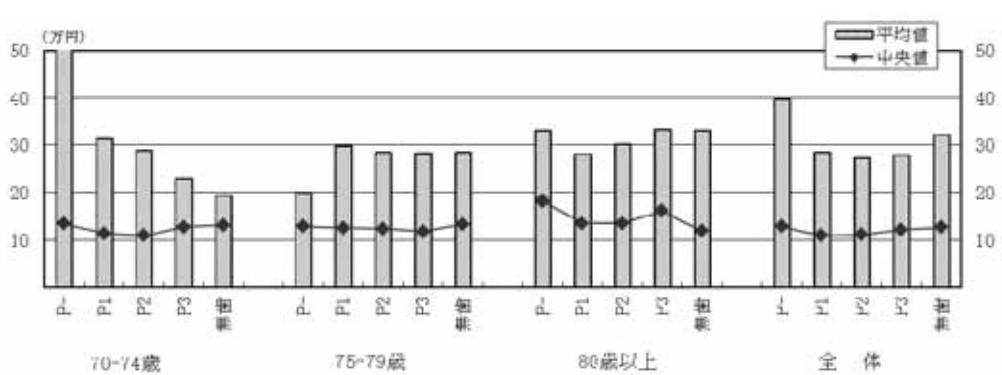
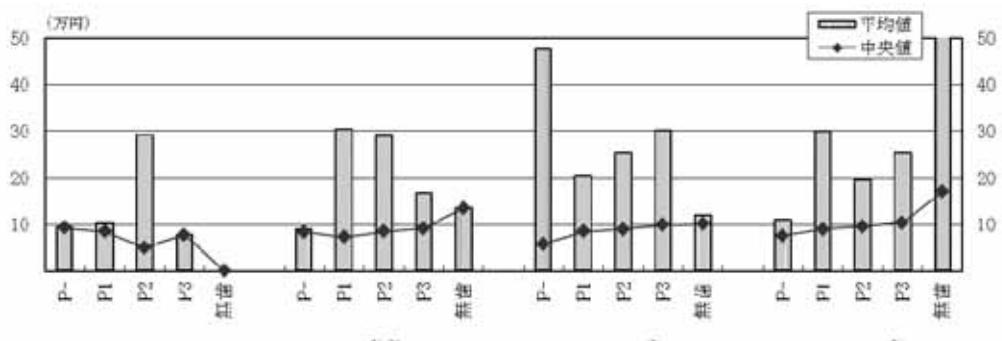
生活習慣病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

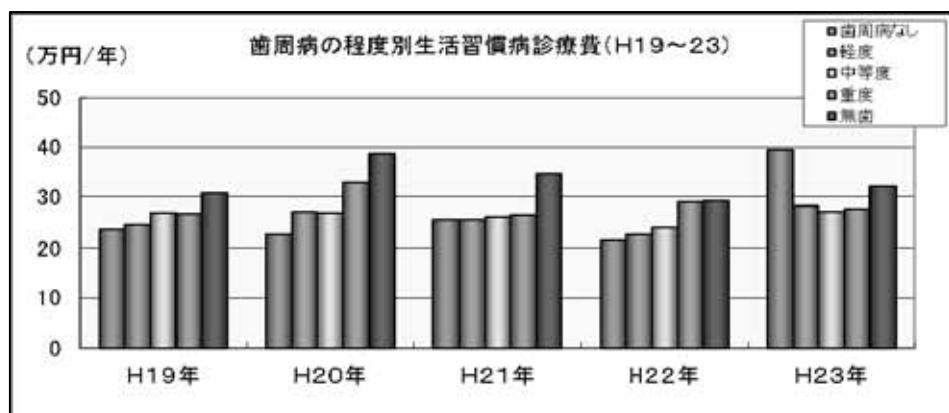
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	1	7	17	12	22	34	48	141
P1	19	73	188	269	321	360	282	1,512
P2	23	101	320	590	794	944	857	3,629
P3	2	53	99	224	253	293	364	1,288
無 歯	0	1	9	17	36	67	198	328
計	45	235	633	1,112	1,426	1,698	1,749	6,898

・診療費（一人あたり1年間、円）

60-64歳、70-74歳のP-が極めて高くなつており、全体でも、P-が最も高くなつていた。これまでの調査では、P-が最も低くなつており、この傾向は今回が初めてであった。

歯周病分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	92490	92490	89020	83340	473350	57960	107840	76080
P1	100020	84480	302470	72450	204110	84600	297390	89400
P2	290790	49740	288870	84900	253070	89390	194150	95330
P3	77720	77720	165620	91620	301040	98640	253540	103380
歯周病あり(A)	198720	71190	264470	82620	245730	89730	232080	95550
無 歯	0	0	134910	134910	118640	100830	744700	169560
全 体	196360	196360	258690	258690	250040	250040	238570	238570
比較(A)/(P-)	214.9%	77.0%	297.1%	99.1%	51.9%	154.8%	215.2%	125.6%
歯周病分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	1054740	134870	197050	129350	329380	182640	395540	129420
P1	311860	114690	296830	125790	279280	136280	283120	109230
P2	287270	109920	282470	124070	299660	135780	270860	111180
P3	226660	128280	280770	118380	332090	162170	276410	122030
歯周病あり(A)	281830	112920	285400	122760	303690	140040	274860	112710
無 歯	191840	131640	281980	134250	330090	119810	320180	127530
全 体	291480	291480	283490	283490	307380	307380	279480	279480
比較(A)/(P-)	26.7%	83.7%	144.8%	94.9%	92.2%	76.7%	69.5%	87.1%





生活習慣病 年齢階級別歯科健診受診頻度別

生活習慣病の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

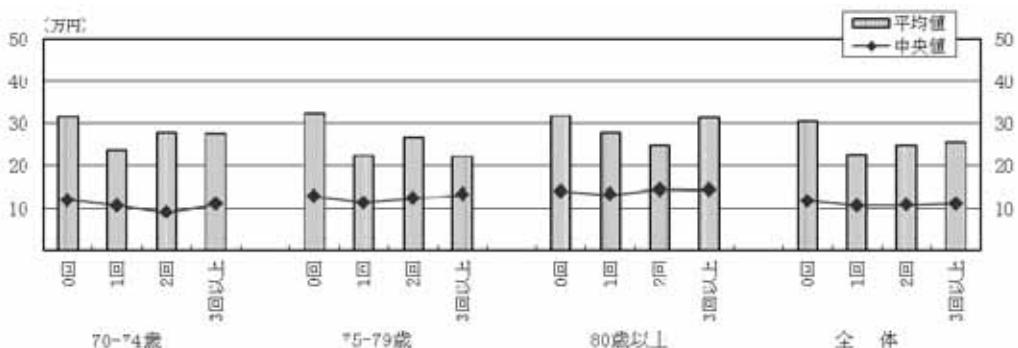
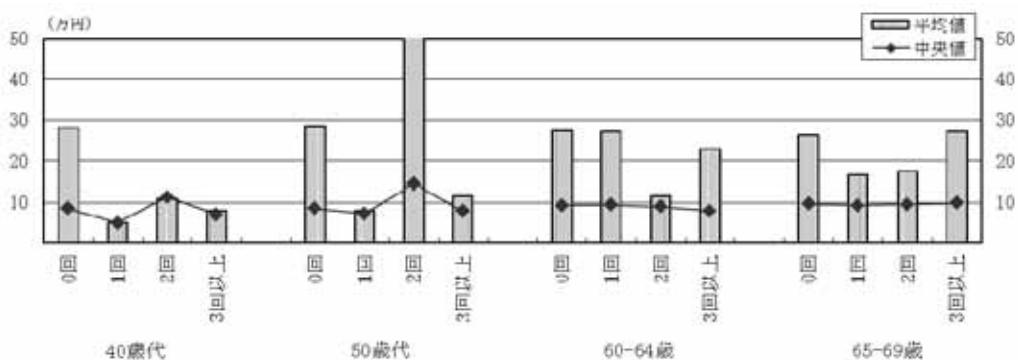
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全体
0回	27	131	365	623	780	971	1,203	4,100
1回	9	39	81	183	228	281	237	1,058
2回	4	17	57	116	116	123	106	539
3回以上	5	48	130	190	302	323	203	1,201
計	45	235	633	1,112	1,426	1,698	1,749	6,898

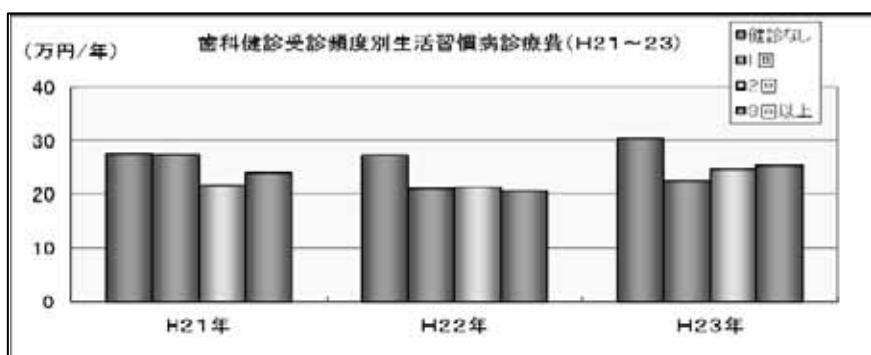
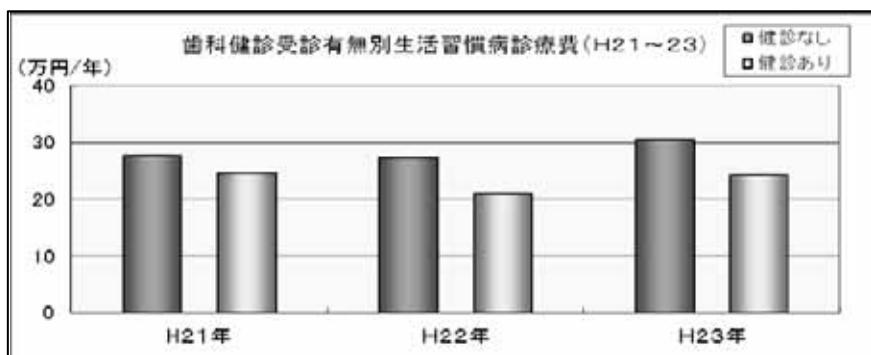
・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも、健診なしより健診ありより高くなり、全体では健診なしよりも最も高く、1回が最も低く、歯科健診受診頻度が多くなるほど高くなっていた。健診なしは健診ありの約1.3倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	279550	84450	284150	84900	273690	92490	261910	96480
1回	51150	49740	80020	72540	271710	93780	166030	92340
2回	109020	113370	877120	144300	116510	88740	174280	95240
3回以上	78370	70500	115350	78450	228670	79440	271160	98520
健診有り(B)	71570	56600	226620	79350	217820	84320	208840	95280
全体	196360	71880	258690	83340	250040	89070	238570	96020
比較(A)/(B)	391%	149%	125%	107%	126%	110%	125%	101%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	315720	119870	323810	127440	317640	139590	305030	117470
1回	236420	106860	223580	113100	277660	131400	225430	106490
2回	277790	90470	264510	122760	247590	143810	247140	107610
3回以上	275710	110250	221660	131130	312540	142860	254360	110400
健診有り(B)	262220	107480	229650	119400	284790	138900	242030	108590
全体	291480	113570	283490	123620	307380	139380	279480	113690
比較(A)/(B)	120%	112%	141%	107%	112%	100%	126%	108%





まとめ・考察（I）

A 平成 23 年 5 月歯科受診者

残存歯数の状況

- 平成 23 年 5 月に香川県下の歯科医院を受診した調査対象者の残存歯数の状況をみると、80 歳以上の平均残存歯数は 14.4 本で、20 歯以上の歯を有する 8020 達成者の割合は 31.1% であった。これは、これまでの調査を上回り、過去最高の値であった。また、79 歳以下の各年齢階級においても、平均残存歯数は、65-69 歳を除き過去最高となり、全体的にも、着実に残存歯数は増加している。

歯周病の状況

- 有歯者のうち歯周病がある者 (P1～P3) は、60-64 歳で 97.7%、その他の年齢階級では 98% 以上といずれも高率になっていた。

歯科健診受診頻度の状況

- 歯科健診を受診する人の割合は、60-74 歳の年齢階級が約 45% 前後と高く、ここから高齢層、若年層になるにつれて減少していた。今回は、74-79 歳でも約 43% となり、過去 3 年間の調査結果からも、この年齢階級の伸びが著しく、歯科健診受診者は着実に増加していると考えられる。これは、以前から定期的歯科健診を受診している人が加齢によりこの年齢階級にシフトしてきており、定期的歯科健診の重要性が周知されてきたことによるものと思われる。また、40 歳代、50 歳代では、歯科健診受診者の伸びは見られず、この年代が、現役世代で時間的余裕がないことや、残存歯数も多く食事など日常生活にやや不便を感じる事が少なく、歯の健康の大切さの認識があまりないためと思われる。

B 平成 23 年 5 月に歯科を受診し、平成 22 年 5, 8, 11, 平成 23 年 2 月に受診した者

残存歯数と診療日数・診療費の関係

- 残存歯数と診療日数・診療費との関係では、医科・調剤では、今回は 40 歳代の 15-19 歯で突出して多日数・高診療費の人がいたと考えられ、平均値では日数・診療費ともやや多くなっていたが、中央値で見ると残存歯数が少ないほど、診療日数・診療費は増加していた。この傾向は 19 年、20 年、21 年、22 年の調査と同じである。
- 歯科の診療日数・診療費は、10-19 歯で多く、0-4 歯と 20 歯以上では少なくなっていた。これは、中程度の欠損歯数が治療において多くの補綴装置を必要とするためと考えられる。

歯周病の程度と診療日数・診療費の関係

- 歯周病の程度と診療日数・診療費との関係では、医科では、今回は 40 歳代の P-(虚血性心疾患) と 60-64 歳の P-(脳血管疾患) で突出して多日数・高診療費の人がいたと考えられ、P- の平均値が高くなっていたが、70-74 歳、80 歳以上では平均値、中央値とも P- が高くなっていた。歯科・調剤では、概ね歯周病の程度が重度なほど、診療日数・診療費は増加していた。

歯科健診受診頻度と診療日数・診療費の関係

- 歯科健診受診頻度と診療日数・診療費との関係では、医科診療費の 2 回が高くなっていたが、医科・調剤では、概ね健診なし最も高く、健診回数が 1 回、2 回と増えるほど減少していた。このことは、歯の健康に関する意識が高く健診を受診する人ほど、医療費も少なくなることを示唆している。

しかし、3回以上で、逆に増加していたのは、3回以上のグループでは、歯周治療後のSPTで受診回数が多かったことも考えられ、これらの人々は、もともとある程度重度の歯周病があった人が多く、基礎疾患を持っている人も多いと考えられるので、医療費が高くなつたのではないかと思われる。

主要疾病別の状況

- ・主要疾病別分析では、糖尿病、高血圧性疾患において、残存歯数が少なくなるほど診療費が高くなる傾向が見られた。また、悪性新生物、虚血性心疾患、動脈硬化症において、中央値では歯周病の程度が重度になるほど、診療費が高くなる傾向が見られた。悪性新生物、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、動脈硬化症の生活習慣病のすべての疾患で、歯科健診受診なしは歯科健診受診あり(1回、2回、3回以上)より診療費が高くなっていた。

生活習慣病の状況

- ・生活習慣病の診療費は、残存歯数が少なくなるほど高くなっていた。歯周病の程度については、今回はP-が高くなっていた。また歯科健診受診なしは、歯科健診受診あり(1回、2回、3回以上)より診療費が高くなっていた。

II 平成22年度特定健診受診者の特定健診結果

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

平成20年度から特定健診・特定保健指導が始まったが、歯科に関する質問項目は含まれていない。当初より香川県では市町国保の特定健診および後期高齢者健診(以下特定健診という)の質問票に香川県独自の歯科に関する7項目の質問(下表)を追加している。この質問項目から下図の方法で歯科階層化判定を行い、歯科保健指導モデル事業を行っている。

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成22年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答および健診結果入手できた者を対象者とし、その属性および歯科階層化判定別と歯科質問項目1「何でもかんで食べられる」回答別に特定健診結果の分析を行った。

表 特定健診における歯科質問票

歯について	1 何でもかんで食べられる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	2 歯みがきの時に歯ぐきから血が出ることがある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	3 歯ぐきが腫れることがある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	4 歯がぐらぐらする	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	5 デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	6 フッ素入り歯みがき剤を使っている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	7 定期的(年に1回以上)に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

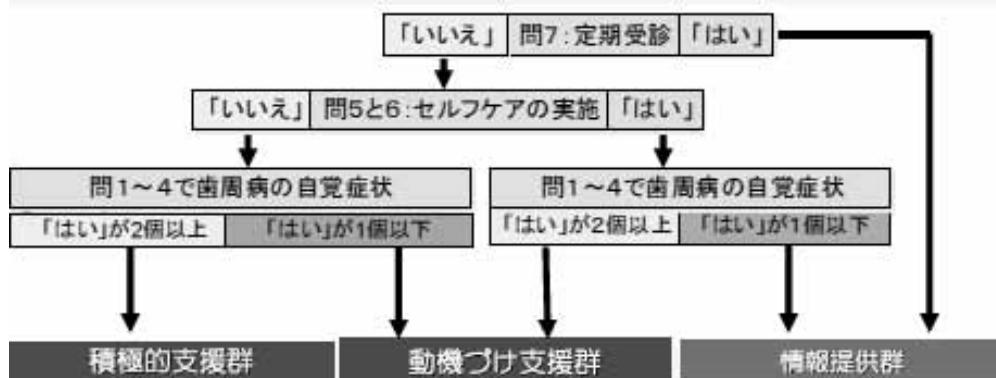


図 歯科保健指導モデル事業における歯科階層化判定方法

※問5と6では、2個とも「はい」の場合「はい」に判定、1個でも「いいえ」があれば「いいえ」に判定

※問1～4で「はい」の個数は、問1は「いいえ」を「はい」と読み替え、問2～4は「はい」を用いて判定

二 調査・分析結果

A 平成 22 年度特定健診受診者の属性

(1) 性別・年齢階級別の構成

対象となった特定健診受診者 93,056 人の性別・年齢階級別の構成は次のとおりである。

表 A-1 性別・年齢階級別人数・割合

年齢階級	男性		女性	
	人数	割合	人数	割合
40-64 歳	7,551	21.2%	12,219	21.3%
65-74 歳	13,043	36.7%	19,577	34.1%
75 歳以上	14,970	42.1%	25,696	44.7%
合計	35,564	100.0%	57,492	100.0%

(2) 対象者の歯科階層化判定の状況

2-1 年齢階級別歯科階層化判定別人数

年齢階級別歯科階層化判定について人数並びに割合を表 A-2 および図 A-2 に示す。

積極的支援の割合は、40-64 歳が 13.2%、65-74 歳が 9.3%、75 歳以上は 8.1% と年齢が高くなるにつれて減少していた。各年齢階級における各階層化判定別の割合は、昨年とほぼ同じであった。

表 A-2

年齢階級	情報提供	動機づけ支援	積極的支援	総数
40 - 64 歳	9,318	7,841	2,611	19,770
65 - 74 歳	18,422	11,157	3,041	32,620
75 歳以上	19,382	17,979	3,305	40,666
合計	47,122	36,977	8,957	93,056
40 - 64 歳	47.1%	39.7%	13.2%	100.0%
65 - 74 歳	56.5%	34.2%	9.3%	100.0%
75 歳以上	47.7%	44.2%	8.1%	100.0%
合計	50.6%	39.7%	9.6%	100.0%

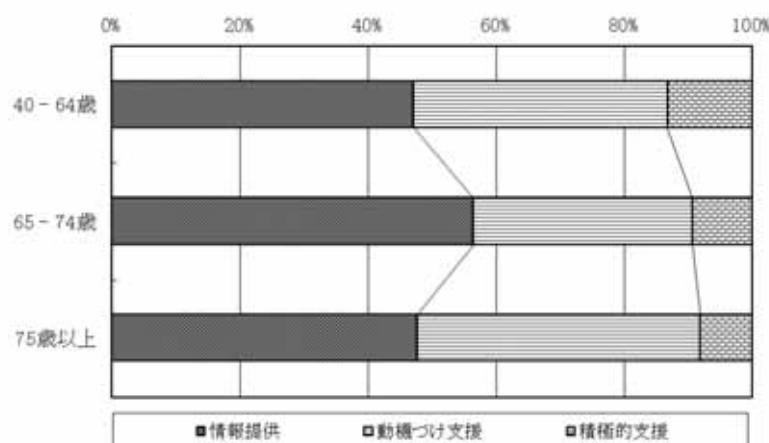


図 A-2

(3) 対象者の歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)の回答の状況

3-1 年齢階級別歯科質問項目1回答別人数

年齢階級別歯科質問項目1回答について人数ならびに割合を表A-3および図A-3に示す。

歯科質問項目1に「はい」(何でもかんで食べられる)と回答したのは、40-64歳が88.3%、65-74歳が85.2%、75歳以上が78.4%で、年齢が高くなるにつれて減少していた。各年齢階級における各回答別の割合は、昨年とほぼ同じであった。

表 A-3

年齢階級	はい	いいえ	無回答	総数
40 - 64 歳	17,452	2,241	77	19,770
65 - 74 歳	27,800	4,582	238	32,620
75 歳以上	31,870	8,219	577	40,666
合計	77,122	15,042	892	93,056
40 - 64 歳	88.3%	11.3%	0.4%	100.0%
65 - 74 歳	85.2%	14.0%	0.7%	100.0%
75 歳以上	78.4%	20.2%	1.4%	100.0%
合計	82.9%	16.2%	1.0%	100.0%

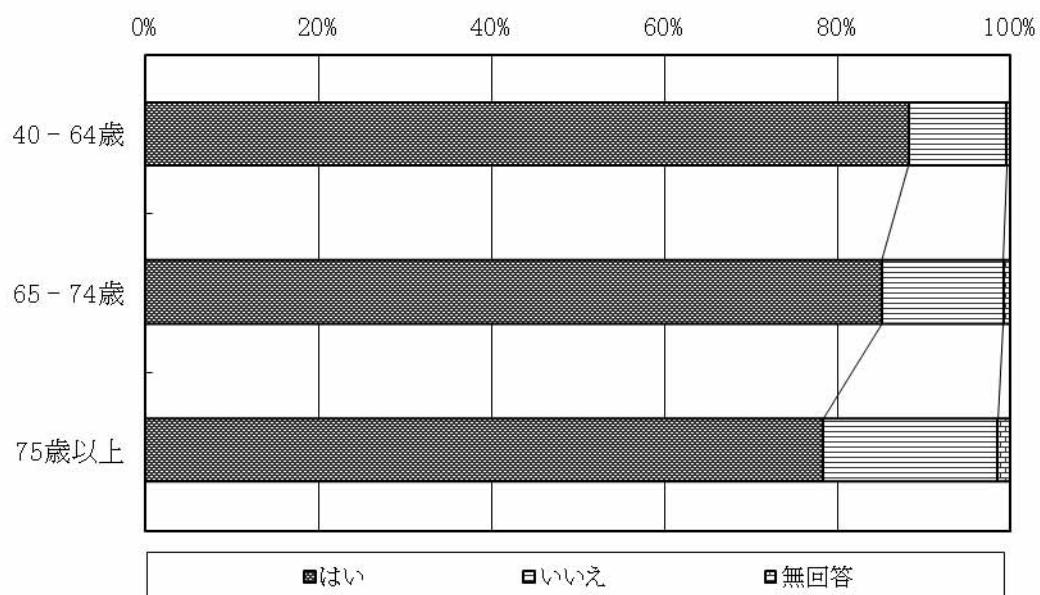


図 A-3-2 年齢階級別歯科質問項目1回答別割合

B 平成22年度特定健診受診者の特定健診結果の状況

(1) 特定健診の歯科階層化判定及び歯科質問項目 1 回答別、特定健診結果の状況

1-1 歯科階層化判定別 BMI

BMIは、肥満度の判定基準のひとつで、25以上であると特定保健指導の対象となる。

BMI25以上の割合は、40-64歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

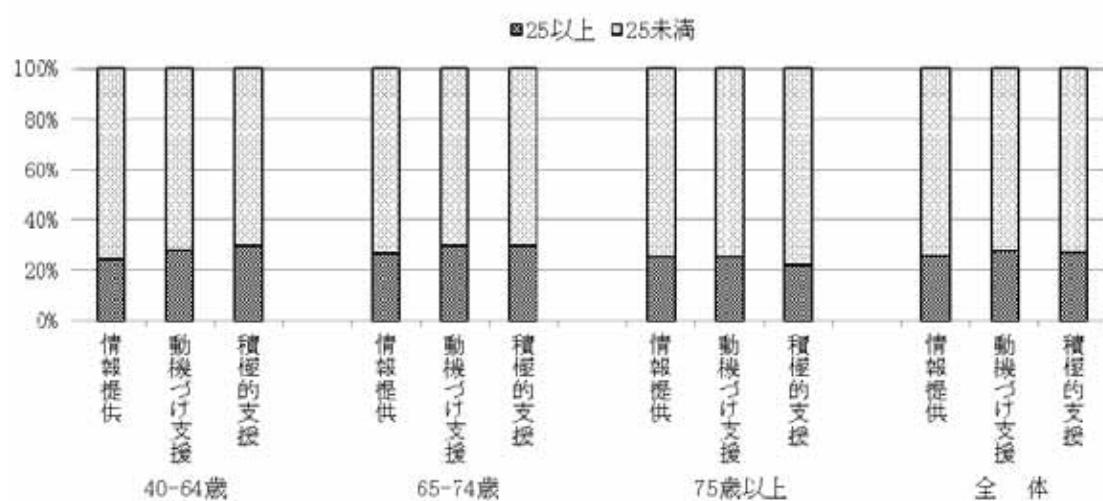
65-74歳では、情報提供が最も低く、動機づけ支援が最も高かった。

75歳以上では、積極的支援が情報提供、動機づけ支援より低くなっていた。

全体では、情報提供が、動機づけ支援、積極的支援より低くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	情報提供	9,318	7,054	2,264	75.7%	24.3%
	動機づけ支援	7,841	5,669	2,172	72.3%	27.7%
	積極的支援	2,611	1,838	773	70.4%	29.6%
65-74歳	情報提供	18,422	13,581	4,841	73.7%	26.3%
	動機づけ支援	11,157	7,814	3,343	70.0%	30.0%
	積極的支援	3,041	2,134	907	70.2%	29.8%
75歳以上	情報提供	19,382	14,532	4,850	75.0%	25.0%
	動機づけ支援	17,979	13,490	4,489	75.0%	25.0%
	積極的支援	3,305	2,579	726	78.0%	22.0%
全 体	情報提供	47,122	35,167	11,955	74.6%	25.4%
	動機づけ支援	36,977	26,973	10,004	72.9%	27.1%
	積極的支援	8,957	6,551	2,406	73.1%	26.9%



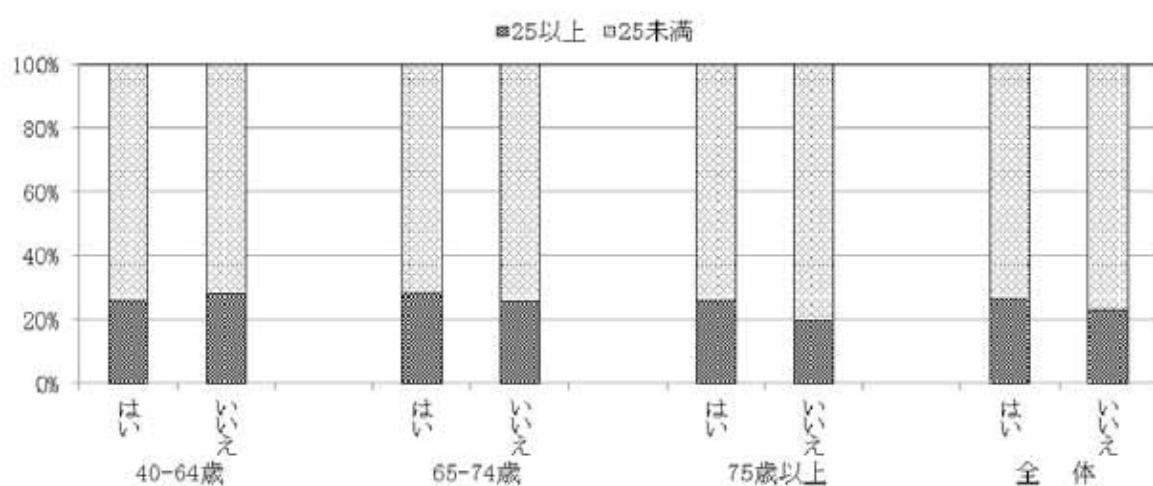
1-2 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 BMI

BMI25以上の割合は、40-64歳では、「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし、65-74歳、75歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人よりBMI25以上の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	はい	17452	12886	4566	73.8%	26.2%
	いいえ	2241	1621	620	72.3%	27.7%
	無回答	77	54	23	70.1%	29.9%
65-74歳	はい	27800	19953	7847	71.8%	28.2%
	いいえ	4582	3404	1178	74.3%	25.7%
	無回答	238	172	66	72.3%	27.7%
75歳以上	はい	31870	23549	8321	73.9%	26.1%
	いいえ	8219	6621	1598	80.6%	19.4%
	無回答	577	431	146	74.7%	25.3%
全 体	はい	77122	56388	20734	73.1%	26.9%
	いいえ	15042	11646	3396	77.4%	22.6%
	無回答	892	657	235	73.7%	26.3%



1-3 歯科階層化判定別 腹囲

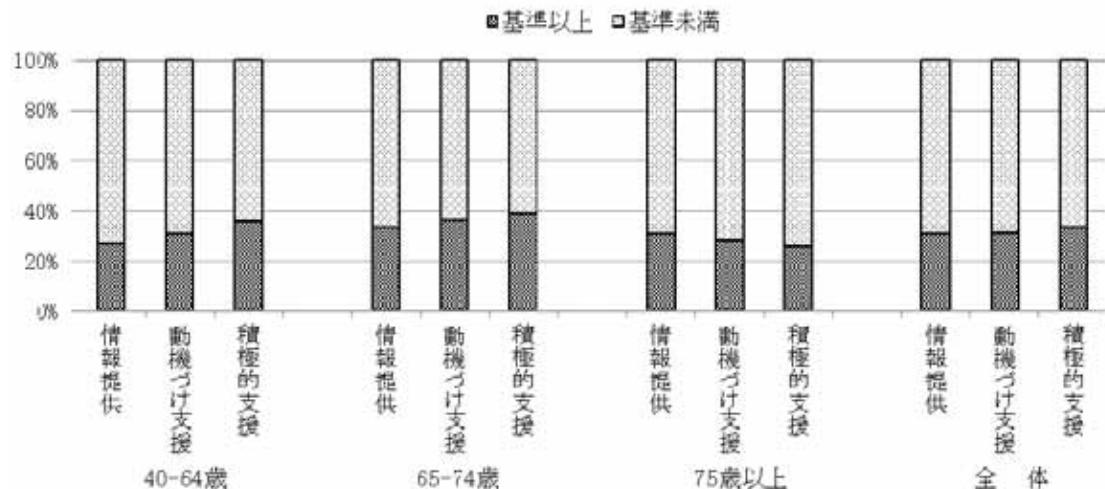
腹囲は、男性85cm以上、女性90cm以上で、特定保健指導の対象となる。

この基準以上の割合は、40-64歳、65-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。しかし、75歳以上では、歯科階層化判定が重くなるほど低くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

年齢階級	区分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	情報提供	9,318	6,834	2,484	73.3%	26.7%
	動機づけ支援	7,841	5,426	2,415	69.2%	30.8%
	積極的支援	2,611	1,672	939	64.0%	36.0%
65-74歳	情報提供	18,422	12,327	6,095	66.9%	33.1%
	動機づけ支援	11,157	7,095	4,062	63.6%	36.4%
	積極的支援	3,041	1,862	1,179	61.2%	38.8%
75歳以上	情報提供	19,382	13,455	5,927	69.4%	30.6%
	動機づけ支援	17,979	12,913	5,066	71.8%	28.2%
	積極的支援	3,305	2,451	854	74.2%	25.8%
全 体	情報提供	47,122	32,616	14,506	69.2%	30.8%
	動機づけ支援	36,977	25,434	11,543	68.8%	31.2%
	積極的支援	8,957	5,985	2,972	66.8%	33.2%

基準:男性 85cm、女性 90cm

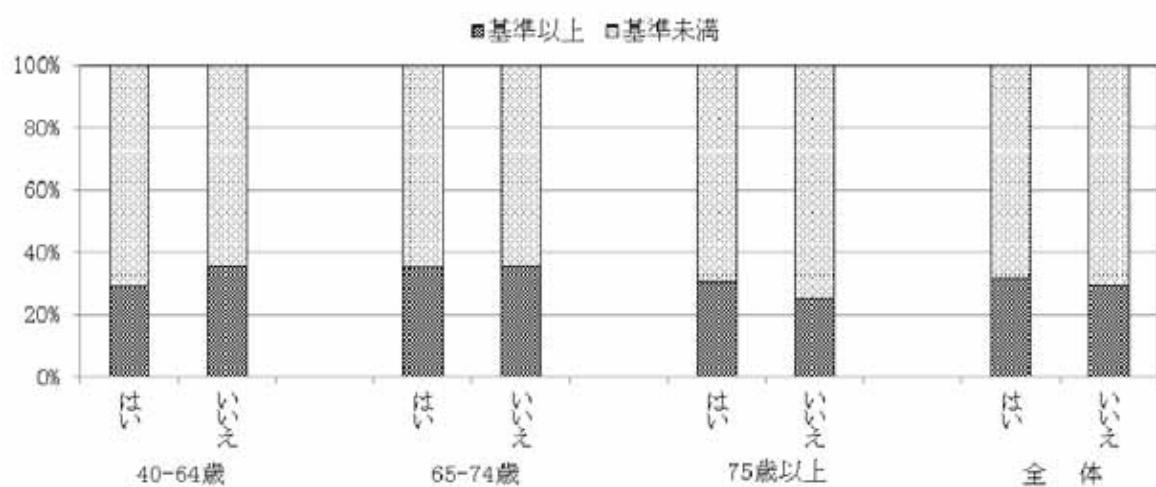


1-4 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 腹団

基準以上の割合は、40-64歳、65-74歳では、「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし、75歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体では、何でもかんで食べられる人の方がそうでない人より腹団が基準以上の割合が高くなっていた。

年齢階級	区分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	はい	17452	12430	5022	71.2%	28.8%
	いいえ	2241	1457	784	65.0%	35.0%
	無回答	77	45	32	58.4%	41.6%
65-74歳	はい	27800	18161	9639	65.3%	34.7%
	いいえ	4582	2976	1606	64.9%	35.1%
	無回答	238	147	91	61.8%	38.2%
75歳以上	はい	31870	22192	9678	69.6%	30.4%
	いいえ	8219	6205	2014	75.5%	24.5%
	無回答	577	422	155	73.1%	26.9%
全 体	はい	77122	52783	24339	68.4%	31.6%
	いいえ	15042	10638	4404	70.7%	29.3%
	無回答	892	614	278	68.8%	31.2%



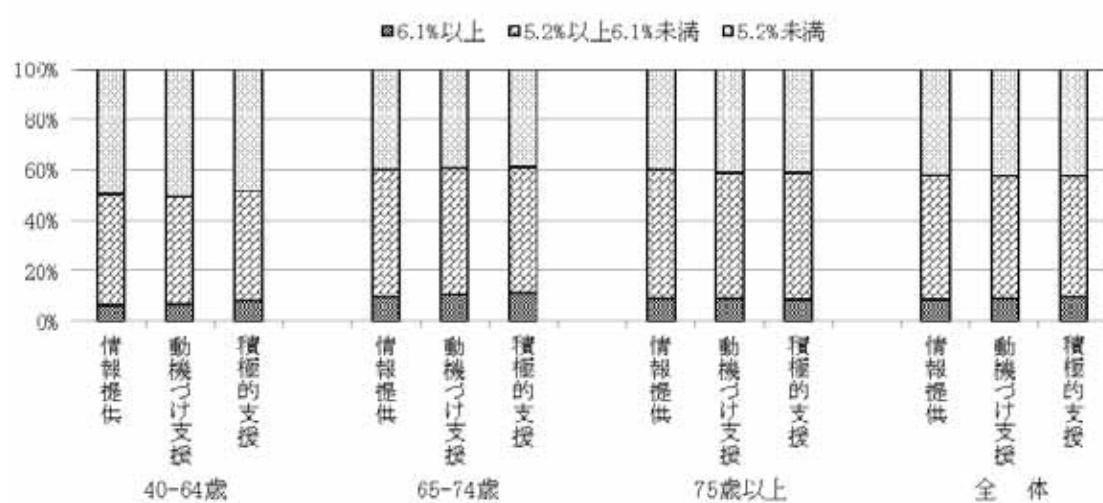
1-5 歯科階層化判定別 HbA1c

HbA1cは、血糖状態の指標のひとつで、5.2%以上で特定保健指導の選定基準となり、6.1%以上で糖尿病の診断基準となる。

HbA1cが6.1%以上の割合は、40-64歳、65-74歳で歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。75歳以上では、逆に歯科階層化判定が重くなるほど低くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

年齢階級	区分	人 数				割 合		
		総数	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上
40-64歳	情報提供	9,318	4,630	4,085	603	49.7%	43.8%	6.5%
	動機づけ支援	7,841	3,964	3,352	525	50.6%	42.7%	6.7%
	積極的支援	2,611	1,268	1,130	213	48.6%	43.3%	8.2%
65-74歳	情報提供	18,422	7,382	9,330	1,710	40.1%	50.6%	9.3%
	動機づけ支援	11,157	4,404	5,572	1,181	39.5%	49.9%	10.6%
	積極的支援	3,041	1,180	1,516	345	38.8%	49.9%	11.3%
75歳以上	情報提供	19,382	7,758	9,834	1,790	40.0%	50.7%	9.2%
	動機づけ支援	17,979	7,399	8,953	1,627	41.2%	49.8%	9.0%
	積極的支援	3,305	1,360	1,654	291	41.1%	50.0%	8.8%
全 体	情報提供	47,122	19,770	23,249	4,103	42.0%	49.3%	8.7%
	動機づけ支援	36,977	15,767	17,877	3,333	42.6%	48.3%	9.0%
	積極的支援	8,957	3,808	4,300	849	42.5%	48.0%	9.5%



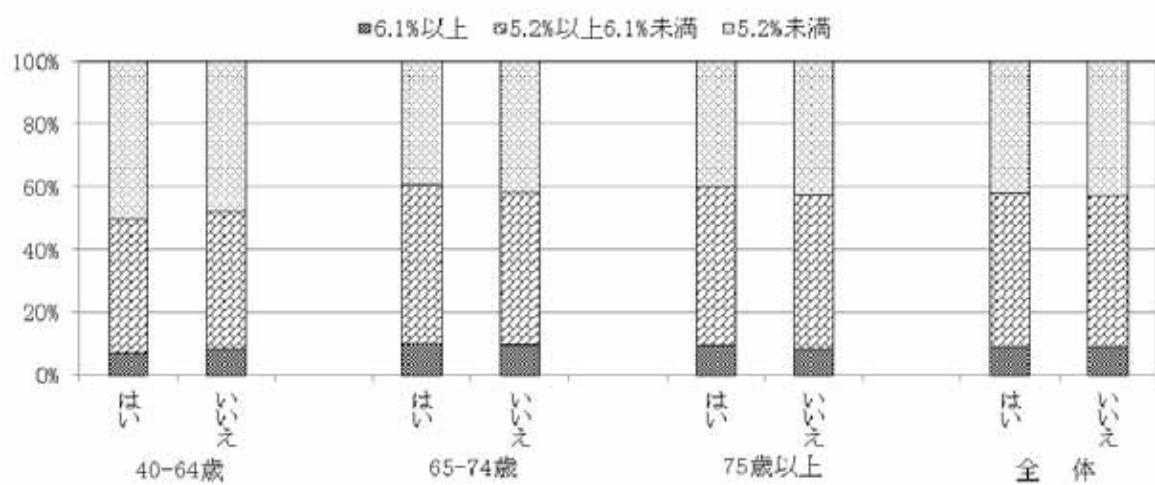
1-6 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 HbA1c

HbA1cが6.1%以上の割合は、40-64歳では「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし65-

74歳では同等、75歳以上では「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人よりHbA1cが6.1%以上の割合が高くなっていた。

年齢階級	区分	人 数				割 合		
		総数	5.2%未満 6.1%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上
40-64歳	はい	17452	8757	7544	1151	50.2%	43.2%	6.6%
	いいえ	2241	1068	988	185	47.7%	44.1%	8.3%
	無回答	77	37	35	5	48.1%	45.5%	6.5%
65-74歳	はい	27800	10942	14100	2758	39.4%	50.7%	9.9%
	いいえ	4582	1915	2217	450	41.8%	48.4%	9.8%
	無回答	238	109	101	28	45.8%	42.4%	11.8%
75歳以上	はい	31870	12723	16181	2966	39.9%	50.8%	9.3%
	いいえ	8219	3533	4000	686	43.0%	48.7%	8.3%
	無回答	577	261	260	56	45.2%	45.1%	9.7%
全 体	はい	77122	32422	37825	6875	42.0%	49.0%	8.9%
	いいえ	15042	6516	7205	1321	43.3%	47.9%	8.8%
	無回答	892	407	396	89	45.6%	44.4%	10.0%



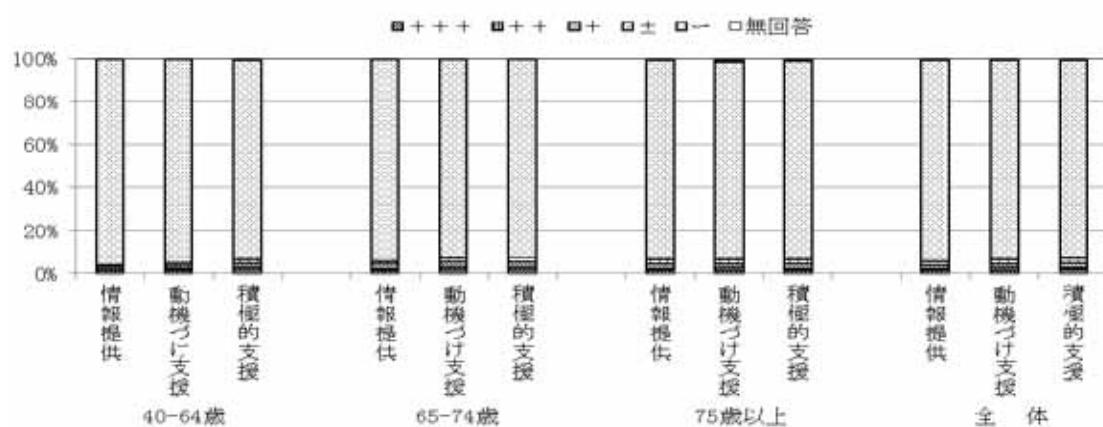
1-7 歯科階層化判定別 尿糖

尿糖は特定健診の必須項目であるが、特定保健指導の選定基準にはなっていない。

尿糖が土～++の割合は、40-64歳、65-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。75歳以上では、動機づけ支援が最も高くなっていた。

全体では、情報提供が最も低く、動機づけ支援、積極的支援は同等で高くなっていた。

年齢階級	区分	人 数						
		総数	一	土	+	++	+++	無回答
40-64歳	情報提供	9,318	8,924	110	105	81	86	12
	動機づけ支援	7,841	7,457	86	97	72	112	17
	積極的支援	2,611	2,448	45	40	26	43	9
65-74歳	情報提供	18,422	17,414	275	308	189	202	34
	動機づけ支援	11,157	10,383	224	220	165	129	36
	積極的支援	3,041	2,821	56	57	54	46	7
75歳以上	情報提供	19,382	18,099	398	363	195	208	119
	動機づけ支援	17,979	16,643	353	360	207	163	253
	積極的支援	3,305	3,085	62	73	25	32	28
全 体	情報提供	47,122	44,437	783	776	465	496	165
	動機づけ支援	36,977	34,483	663	677	444	404	306
	積極的支援	8,957	8,354	163	170	105	121	44
		割 合						
40-64歳	情報提供	100%	95.8%	1.2%	1.1%	0.9%	0.9%	0.1%
	動機づけ支援	100%	95.1%	1.1%	1.2%	0.9%	1.4%	0.2%
	積極的支援	100%	93.8%	1.7%	1.5%	1.0%	1.6%	0.3%
65-74歳	情報提供	100%	94.5%	1.5%	1.7%	1.0%	1.1%	0.2%
	動機づけ支援	100%	93.1%	2.0%	2.0%	1.5%	1.2%	0.3%
	積極的支援	100%	92.8%	1.8%	1.9%	1.8%	1.5%	0.2%
75歳以上	情報提供	100%	93.4%	2.1%	1.9%	1.0%	1.1%	0.6%
	動機づけ支援	100%	92.6%	2.0%	2.0%	1.2%	0.9%	1.4%
	積極的支援	100%	93.3%	1.9%	2.2%	0.8%	1.0%	0.8%
全 体	情報提供	100%	94.3%	1.7%	1.6%	1.0%	1.1%	0.4%
	動機づけ支援	100%	93.3%	1.8%	1.8%	1.2%	1.1%	0.8%
	積極的支援	100%	93.3%	1.8%	1.9%	1.2%	1.4%	0.5%

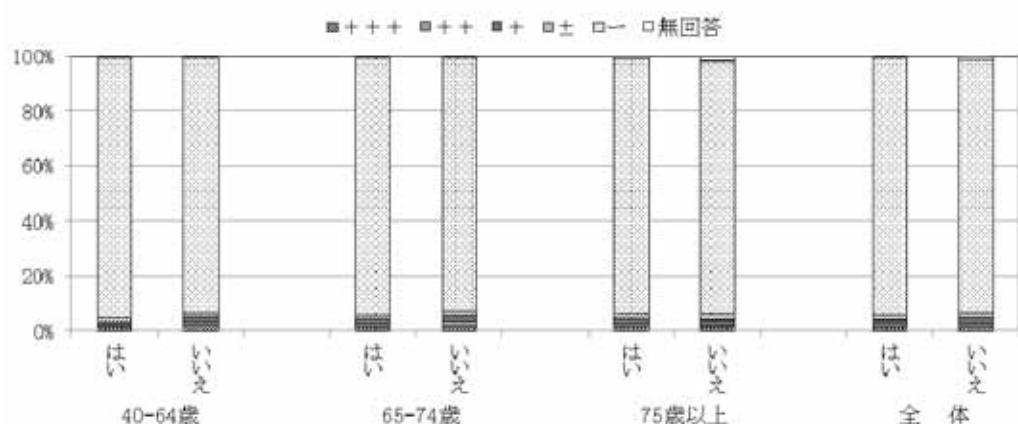


1-8 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 尿糖

尿糖が±～++の割合は、各年齢階級で「はい」が「いいえ」より低くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より尿糖が±～++の割合が低くなっていた。これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区分	人 数						
		総数	一	±	+	++	+++	無回答
40-64歳	はい	17452	16667	207	203	150	195	30
	いいえ	2241	2090	32	37	28	46	8
	無回答	77	72	2	2	1	0	0
65-74歳	はい	27800	26161	465	493	326	299	56
	いいえ	4582	4240	85	89	77	73	18
	無回答	238	217	5	3	5	5	3
75歳以上	はい	31870	29713	628	623	351	315	240
	いいえ	8219	7584	173	157	72	80	153
	無回答	577	530	12	16	4	8	7
全 体	はい	77122	72541	1300	1319	827	809	326
	いいえ	15042	13914	290	283	177	199	179
	無回答	892	819	19	21	10	13	10
割 合								
40-64歳	はい	100%	95.5%	1.2%	1.2%	0.9%	1.1%	0.2%
	いいえ	100%	93.3%	1.4%	1.7%	1.2%	2.1%	0.4%
	無回答	100%	93.5%	2.6%	2.6%	1.3%	0.0%	0.0%
65-74歳	はい	100%	94.1%	1.7%	1.8%	1.2%	1.1%	0.2%
	いいえ	100%	92.5%	1.9%	1.9%	1.7%	1.6%	0.4%
	無回答	100%	91.2%	2.1%	1.3%	2.1%	2.1%	1.3%
75歳以上	はい	100%	93.2%	2.0%	2.0%	1.1%	1.0%	0.8%
	いいえ	100%	92.3%	2.1%	1.9%	0.9%	1.0%	1.9%
	無回答	100%	91.9%	2.1%	2.8%	0.7%	1.4%	1.2%
全 体	はい	100%	94.1%	1.7%	1.7%	1.1%	1.0%	0.4%
	いいえ	100%	92.5%	1.9%	1.9%	1.2%	1.3%	1.2%
	無回答	100%	91.8%	2.1%	2.4%	1.1%	1.5%	1.1%



1-9 歯科階層化判定別 喫煙

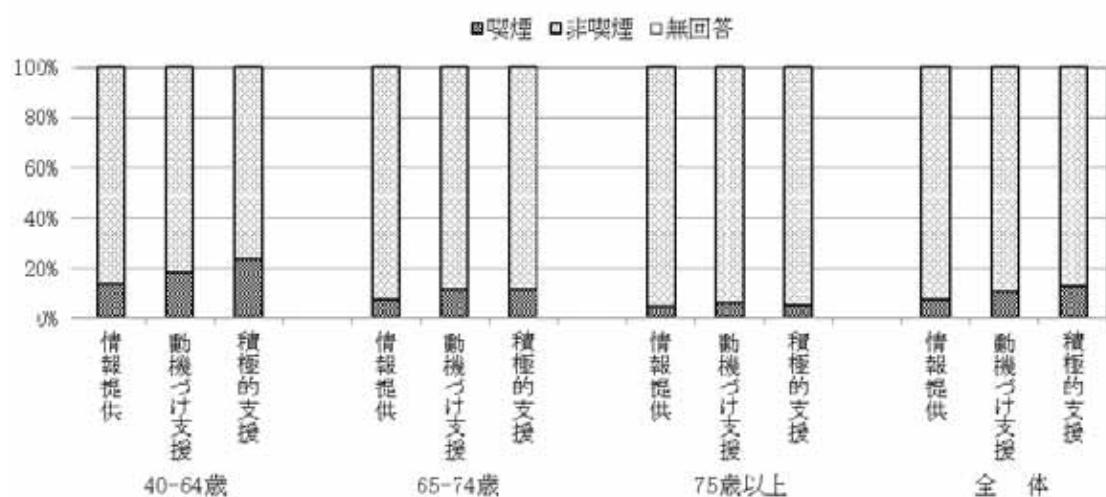
喫煙は特定保健指導の選定基準のひとつになっている。

喫煙者の割合は、40-64歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

65-74歳、75歳以上では、情報提供が最も少なく、動機づけ支援が最も高くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど喫煙者の割合が高くなっていた。

年齢階級	区分	人 数				割 合		
		総数	喫煙	非喫煙	無回答	喫煙	非喫煙	無回答
40-64歳	情報提供	9,318	1,249	8,068	1	13.4%	86.6%	0.0%
	動機づけ支援	7,841	1,436	6,405	0	18.3%	81.7%	0.0%
	積極的支援	2,611	612	1,999	0	23.4%	76.6%	0.0%
65-74歳	情報提供	18,422	1,368	17,052	2	7.4%	92.6%	0.0%
	動機づけ支援	11,157	1,259	9,897	1	11.3%	88.7%	0.0%
	積極的支援	3,041	342	2,697	2	11.2%	88.7%	0.1%
75歳以上	情報提供	19,382	906	18,473	3	4.7%	95.3%	0.0%
	動機づけ支援	17,979	1,057	16,922	0	5.9%	94.1%	0.0%
	積極的支援	3,305	175	3,130	0	5.3%	94.7%	0.0%
全 体	情報提供	47,122	3,523	43,593	6	7.5%	92.5%	0.0%
	動機づけ支援	36,977	3,752	33,224	1	10.1%	89.9%	0.0%
	積極的支援	8,957	1,129	7,826	2	12.6%	87.4%	0.0%

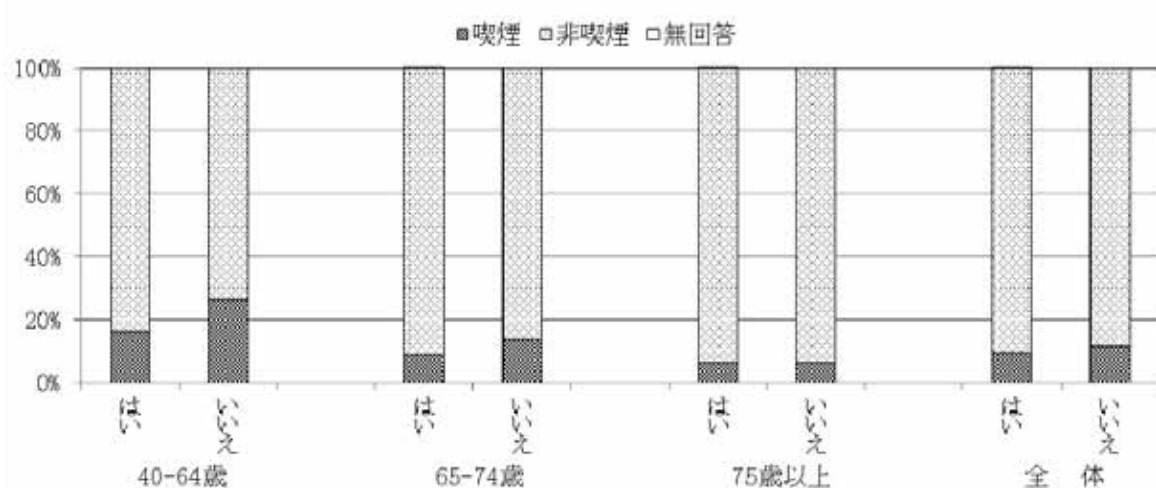


1-10 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 喫煙

喫煙者の割合は、各年齢階級とも「はい」「いいえ」より低くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より喫煙者の割合が低くなっていた。
これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区分	人 数			割 合		
		総数	喫煙	非喫煙	無回答	喫煙	非喫煙
40-64歳	はい	17452	2723	14728	1	15.6%	84.4%
	いいえ	2241	560	1681	0	25.0%	75.0%
	無回答	77	14	63	0	18.2%	81.8%
65-74歳	はい	27800	2354	25444	2	8.5%	91.5%
	いいえ	4582	584	3996	2	12.7%	87.2%
	無回答	238	31	206	1	13.0%	86.6%
75歳以上	はい	31870	1649	30219	2	5.2%	94.8%
	いいえ	8219	457	7762	0	5.6%	94.4%
	無回答	577	32	544	1	5.5%	94.3%
全 体	はい	77122	6726	70391	5	8.7%	91.3%
	いいえ	15042	1601	13439	2	10.6%	89.3%
	無回答	892	77	813	2	8.6%	91.1%



1-11 歯科階層化判定別 メタボ判定区分

特定健診結果よりメタボリックシンドローム該当、予備群、非該当が判定され、特定保健指導における積極的支援、動機づけ支援、情報提供に分類される。

メタボ該当の割合は、40-64歳、65-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

75歳以上では、逆に歯科階層化判定が重くなるほど低くなっていた。

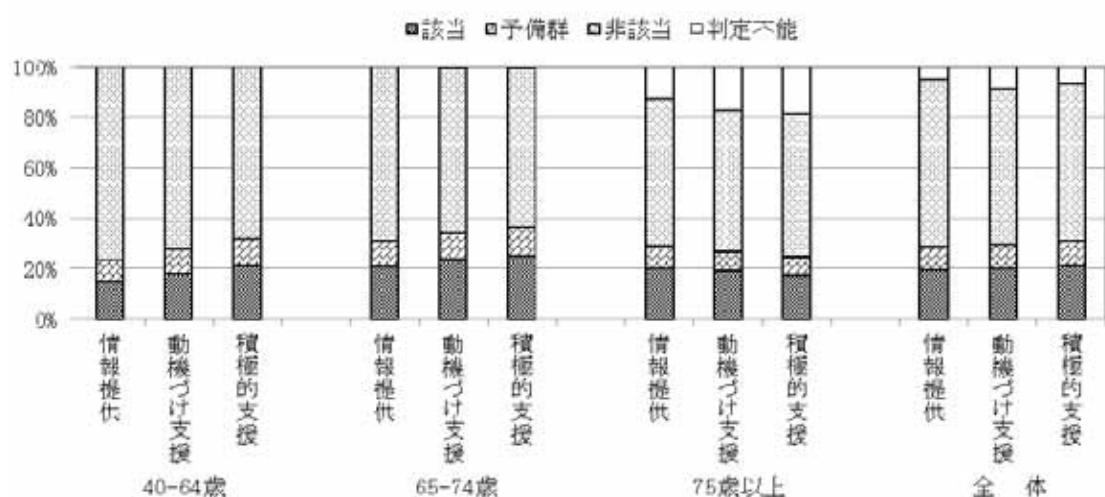
メタボ予備群を含めても、各年齢階級で同様の傾向が認められた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど、メタボ該当の割合が高くなっていた。

メタボ予備群を含めても同様の傾向が認められた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区分	人 数					割 合			
		総数	該当	予備群	非該当	無回答	該当	予備群	非該当	無回答
40-64歳	情報提供	9,318	1,378	798	7,141	1	14.8%	8.6%	76.6%	0.0%
	動機づけ支援	7,841	1,374	780	5,687	0	17.5%	9.9%	72.5%	0.0%
	積極的支援	2,611	553	276	1,782	0	21.2%	10.6%	68.2%	0.0%
65-74歳	情報提供	18,422	3,831	1,827	12,732	32	20.8%	9.9%	69.1%	0.2%
	動機づけ支援	11,157	2,650	1,156	7,307	44	23.8%	10.4%	65.5%	0.4%
	積極的支援	3,041	762	342	1,924	13	25.1%	11.2%	63.3%	0.4%
75歳以上	情報提供	19,382	3,885	1,741	11,331	2,425	20.0%	9.0%	58.5%	12.5%
	動機づけ支援	17,979	3,383	1,451	10,032	3,113	18.8%	8.1%	55.8%	17.3%
	積極的支援	3,305	576	237	1,882	610	17.4%	7.2%	56.9%	18.5%
全 体	情報提供	47,122	9,094	4,366	31,204	2,458	19.3%	9.3%	66.2%	5.2%
	動機づけ支援	36,977	7,407	3,387	23,026	3,157	20.0%	9.2%	62.3%	8.5%
	積極的支援	8,957	1,891	855	5,588	623	21.1%	9.5%	62.4%	7.0%



1-12 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 メタボ判定区分

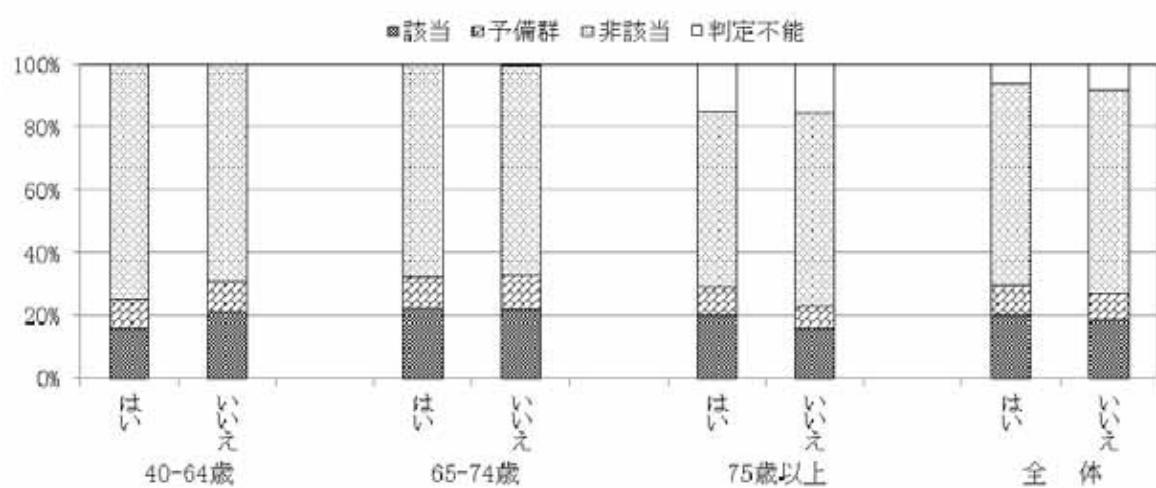
メタボ該当の割合は、40-64歳では「はい」「いいえ」より低くなっていた。しかし65-74歳ではほぼ同等、75歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

メタボ予備群を含めても、各年齢階級で同様の傾向が認められた。

全体では、何でもかんで食べられる人はそうでない人より、メタボ該当の割合が高くなっていた。

メタボ予備群を含めても同様の傾向が認められた。

年齢階級	区分	人 数					割 合			
		総数	該当	予備群	非該当	判定不能	該当	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	はい	17452	2811	1626	13014	1	16.1%	9.3%	74.6%	0.0%
	いいえ	2241	473	221	1547	0	21.1%	9.9%	69.0%	0.0%
	無回答	77	21	7	49	0	27.3%	9.1%	63.6%	0.0%
65-74歳	はい	27800	6177	2815	18737	71	22.2%	10.1%	67.4%	0.3%
	いいえ	4582	1005	487	3072	18	21.9%	10.6%	67.0%	0.4%
	無回答	238	61	23	154	0	25.6%	9.7%	64.7%	0.0%
75歳以上	はい	31870	6444	2778	17896	4752	20.2%	8.7%	56.2%	14.9%
	いいえ	8219	1303	600	5056	1260	15.9%	7.3%	61.5%	15.3%
	無回答	577	97	51	293	136	16.8%	8.8%	50.8%	23.6%
全 体	はい	77122	15432	7219	49647	4824	20.0%	9.4%	64.4%	6.3%
	いいえ	15042	2781	1308	9675	1278	18.5%	8.7%	64.3%	8.5%
	無回答	892	179	81	496	136	20.1%	9.1%	55.6%	15.2%



まとめ・考察（II）

A 平成22年度特定健診受診者

性別・年齢階級別の状況

- 平成22年度特定健診受診者は、約9万3千人で、平成21年度より約1万2千人増加していた。その属性については、男女比ではおよそ1:1.6で女性が多く、年齢階級別では40-64歳がおよそ21%、65-74歳がおよそ35%、75歳以上がおよそ44%と、75歳以上が一番多かった。

歯科階層化判定の状況

- 対象者の歯科階層化判定の状況は、各年齢階級とも情報提供群が最も多かった。積極的支援群の割合は年齢階級が高くなるにつれ13.2%、9.3%、8.1%と少なくなっていた。

歯科質問項目1の回答の状況

- 歯科質問項目1「何でもかんで食べられる」について「はい」と答えた者の割合は40-64歳で88.3%、65-74歳で85.2%、75歳以上で78.4%と、高齢になるほど何でもかんで食べられる者の割合が少なくなっていた。

B 平成22年度特定健診受診者の特定健診結果の状況

歯科階層化判定と特定健診結果の状況

- 歯科階層化判定とBMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。40-64歳と65-74歳では全ての項目において、概ね歯科階層化判定が重くなるほど肥満、糖尿病、喫煙傾向、メタボの割合が高くなっていた。ところが、75歳以上ではこの傾向とは逆の傾向を示していた。

歯科質問項目1の回答と特定健診結果の状況

- 歯科質問項目1「何でもかんで食べられる」回答とBMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。
肥満(BMI、腹囲)の割合は40-64歳では「いいえ」と答えた群の方が高かったが、65-74歳、75歳上では逆に「はい」と答えた群の方が高かった。
糖尿病に関してはHbA1cが基準値以上の割合は40-64歳では「いいえ」と答えた群の方が高かったが、65-74歳、75歳上では逆に「はい」と答えた群の方が高かった。尿糖が±～++の割合はすべての年齢階級で「いいえ」と答えた群の方が高かった。
喫煙する人の割合は、すべての年齢階級で「いいえ」と答えた群の方が高かった。メタボの割合は40-64歳では「いいえ」と答えた群の方が高かったが、65-74歳では同等、75歳以上では「はい」と答えた群の方が高くなっていた。

まとめ

- 昨年に引き続き、特定健診受診者について、香川県独自の歯科質問項目から歯科階層化判定と何でもかんで食べられるかどうかで、特定健診結果との関係を分析した。40-64歳では、歯科階層化判定が重度なほど、また「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が、各種健診結果が悪くなっていたが、75歳以上では逆の結果が出た。これは昨年の結果と同じ傾向であり、その要因を検討するために、今回は更に、歯科階層化判定別や歯科質問項目1回答別と残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度との関係を分析した。その結果をIVに記した。

III 平成 22 年度特定健診受診者のうち平成 22 年 5,8,11 月,平成 23 年 2 月に受診した者の状況

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成 22 年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答および健診結果を入手できた者を対象者とし、歯科階層化判定別と歯科質問項目1「何でもかんべ食べられる」回答別に平成 22 年度の医療費について分析を行った。

香川県国保連合会および香川県後期高齢者医療広域連合では毎年度 5, 8, 11, 2 月診療分のレセプトについて疾病分類を行っているので、平成 22 年度の 4 か月分のレセプトを用いて、特定健診受診者と突合を行い、以下の項目について分析を行った。分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、分析に使用した。名寄せ人数は 86,283 人で、特定健診受診者の 92.7% であった。

レセプトは 4 か月分なので求めた諸数値を 3 倍して、受診者 1 人あたり 1 年間の諸数値を求めた。

診療日数や診療費の分布はほとんどの場合、正規分布しない。そのような分布において、平均値は飛び外れた高い値に影響を受けるので、集団の代表値として適さないこともある。そのような場合、中央値は代表値として有用である。そこで、今回の分析では、それぞれの平均値とともに中央値を求めた。グラフでは、平均値を棒グラフに、中央値を折れ線グラフで示した。

2 分析項目

(1) 医科(入院・外来含む)、歯科、調剤別

(2) 主要疾病別

以下の疾病を主要疾病とし、この疾病に分類されないものを「その他」として分析した。

主要疾病名	対象者(人)
悪性新生物	6,320
虚血性心疾患	3,086
脳血管疾患	4,668
糖尿病	6,294
高血圧性疾患	27,396
動脈硬化症	363
歯の疾患	38,526

(3) 生活習慣病

以下の疾病を生活習慣病として分析した。

悪性新生物 虚血性心疾患 脳血管疾患
糖尿病 高血圧性疾患 動脈硬化症

生活習慣病で受診した者は 42,736 人 (49.5%) であった。

(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

1-1 歯科階層化判定別日数(一人あたり1年間、円)

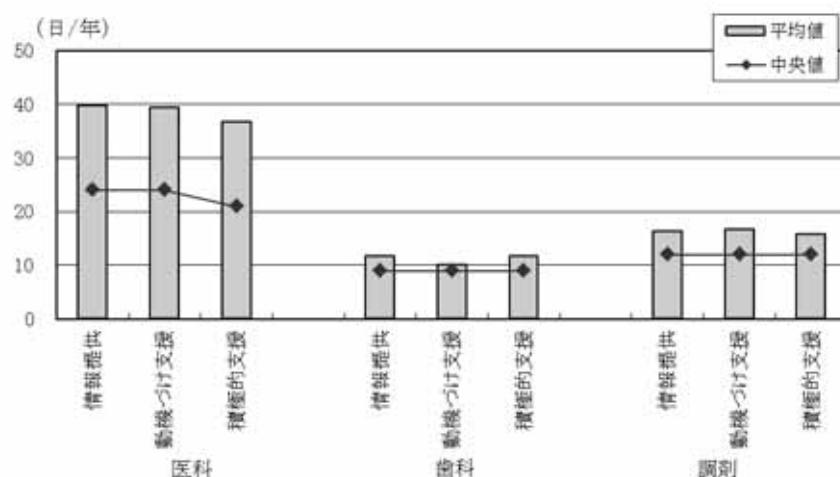
全体の平均日数は医科 39.4 日で、歯科の 11.2 日に比べて約 28 日多くなっていた。また、調剤は 16.4 日で歯科よりも約 5 日多くなっていた。

医科では情報提供群の平均日数が 39.7 日、積極的支援群が 36.7 日と、歯科階層化判定区分が重くなるほど診療日数が少なくなっていた。

歯科では動機づけ支援群が 9.9 日と最も平均診療日数が少なくなっていた。

調剤では逆に動機づけ支援群が 16.6 日で最も平均診療日数が多くなっていた。

	人数	医科		歯科		調剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報提供	44,685	39.7	24.0	11.6	9.0	16.3	12.0
動機づけ支援	33,588	39.5	24.0	9.9	9.0	16.6	12.0
積極的支援	8,010	36.7	21.0	11.6	9.0	15.7	12.0
全体	86,283	39.4	24.0	11.2	9.0	16.4	12.0



1-2 歯科階層化判定別診療費(一人あたり1年間、円)

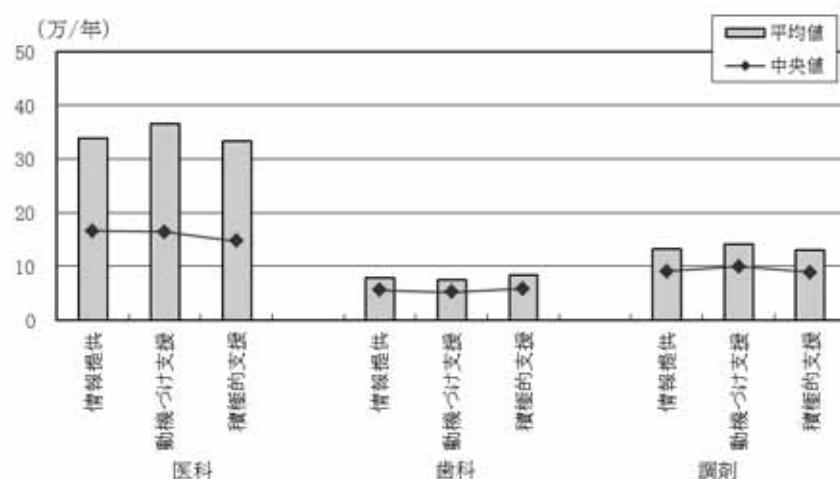
全体の平均診療費は医科約34.8万円で、歯科の約7.8万円に比べて約27万円高くなっていた。また、調剤は約13.5万円で歯科よりも約6万円高くなっていた。

医科では情報提供群の平均診療費が約33.8万円で最も低く、動機づけ支援群が約36.6万円で最も高かった。しかし、中央値で見ると情報提供群が最も高かった。

歯科では積極的支援群の診療費が平均値、中央値とも最も高くなっていた。および調剤の平均診療費は動機づけ支援群が最も高かった。

調剤では、医科と同様に情報提供群の平均診療費が約13.1万円で最も低く、動機づけ支援群が約14.1万円で最も高かった。

	人数	医科		歯科		調剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報提供	44,685	337,659	165,870	77,825	55,635	131,212	90,720
動機づけ支援	33,588	365,848	163,980	75,218	51,720	140,784	99,300
積極的支援	8,010	332,531	147,375	83,645	58,320	131,010	88,470
全 体	86,283	348,273	163,560	77,653	54,840	134,892	93,600



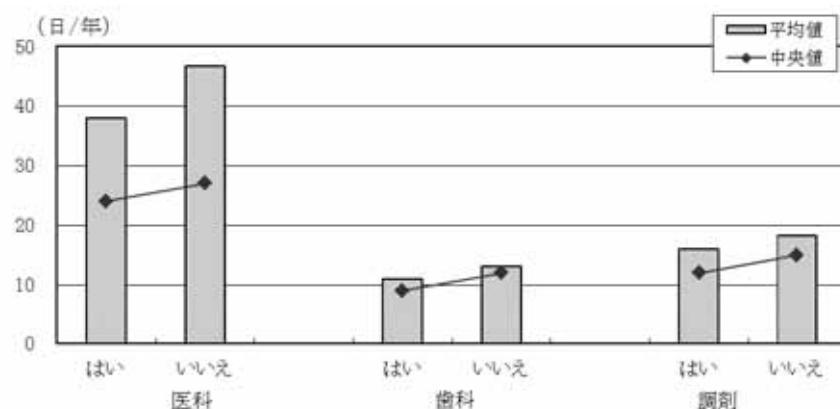
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

2-1 歯科質問項目1別日数(一人あたり1年間、日)(無回答は非表示)

「何でもかんで食べられる」の質問項目に対し医科、歯科、調剤のいずれにおいても「はい」と答えた群の方が平均値、中央値とも診療日数が少なかった。

医科では平均値で8.6日、中央値で3日、歯科では平均値で2.1日、中央値で3日、調剤では平均値で2.2日、中央値で3日、「はい」が「いいえ」より少なくなっていた。

	人数	医科		歯科		調剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
はい	71,326	38.0	24.0	10.9	9.0	16.0	12.0
いいえ	14,119	46.6	27.0	13.0	12.0	18.2	15.0
全体	86,283	39.4	24.0	11.2	9.0	16.4	12.0

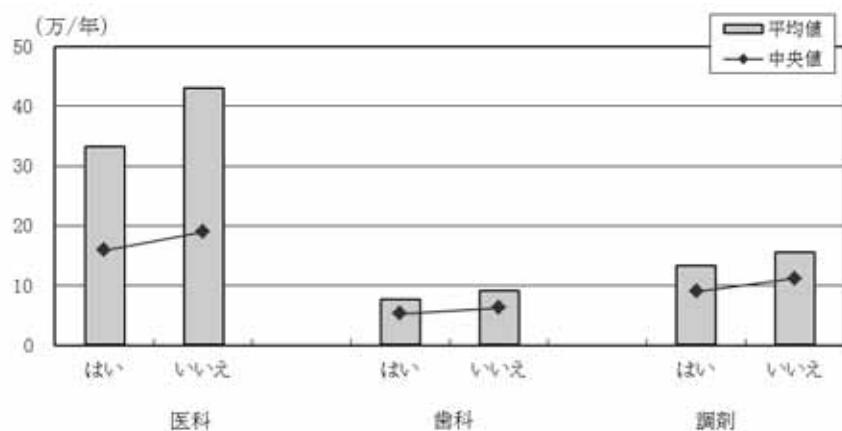


2-2 歯科質問項目1別診療費(一人あたり1年間、円)(無回答は非表示)

「何でもかんべ食べられる」の質問項目に対し医科、歯科、調剤のいずれにおいても「はい」と答えた群の方が平均値、中央値とも診療費が低かった。

医科では平均値で約9.8万円、中央値で約3.1万円、歯科では平均値で約1.4万円、中央値で0.9万円、調剤では平均値で約2.3万円、中央値で約2.1万円、「はい」が「いいえ」より低くなっていた。

	人数	医科		歯科		調剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
はい	71,326	331,705	158,730	75,119	53,205	130,972	90,120
いいえ	14,119	429,210	189,720	89,509	62,505	153,731	111,255
全 体	86,283	348,273	163,560	77,653	54,840	134,892	93,600



(3) 主要疾病別分析

悪性新生物 年齢階級別歯科階層化判定別

悪性新生物の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

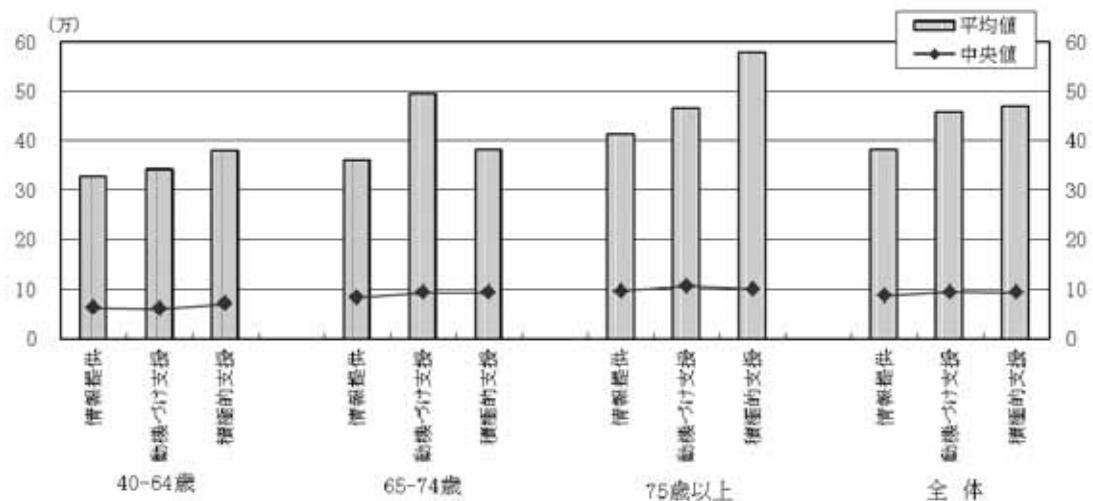
	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
情報提供	414	1340	1690	3444
動機づけ支援	319	679	1343	2341
積極的支援	88	205	242	535
計	821	2224	3275	6320

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別ではばらつきがあるが、全体では、歯科階層化判定が重くなるほど診療費が高くなつており、積極的支援群は情報提供群より約9万円高かった。

65-74歳では動機づけ支援群の平均値が高いが中央値で見ると他の年齢階級と同様に歯科階層化判定区分が重くなるほど診療費は高くなつていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報提供	326350	61850	359110	82500	412180	96020	381220	86970
動機づけ支援	341670	59700	494680	93150	465480	106380	457080	93990
積極的支援	379210	70010	379850	93330	577030	99890	468930	93390
全 体	337970	60810	402410	86450	446220	99810	416740	90030



悪性新生物 年齢階級別歯科質問項目1回答別

悪性新生物の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

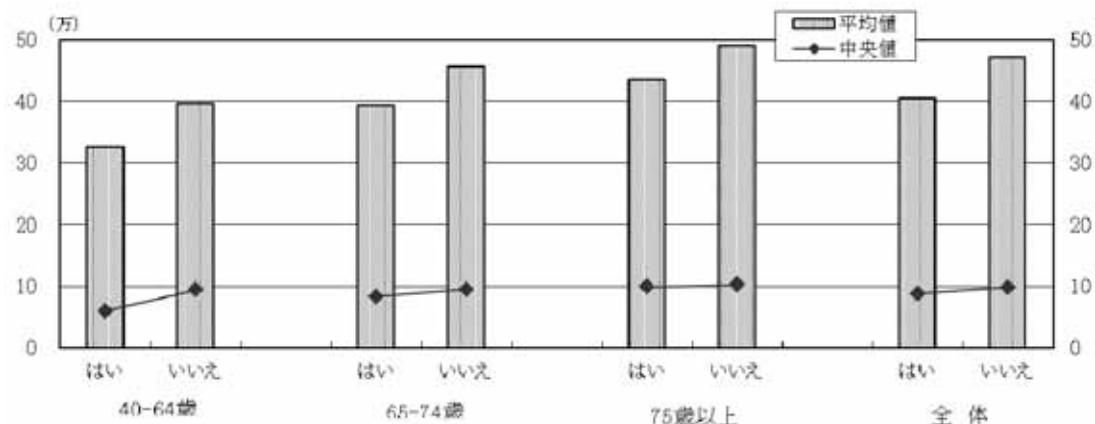
	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
は い	739	1868	2600	5207
い い え	79	346	637	1062
無 回 答	3	10	38	51
計	821	2224	3275	6320

・診療費（一人あたり1年間、円）

「何でもかんべ食べられる」の質問項目に対しすべての年齢階級で、「はい」と答えた群の方が「いいえ」と答えた群より診療費が低くなっていた。

全体でも「はい」と答えた群は、「いいえ」と答えた群より平均診療費が約7万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	326500	59760	393710	83390	434290	98870	404430	88440
い い え	397130	94110	456200	95090	490500	102060	472380	98570
全 体	337970	60810	402410	86450	446220	99810	416740	90030



虚血性心疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
情報提供	135	549	926	1610
動機づけ支援	89	292	831	1212
積極的支援	34	85	145	264
計	258	926	1902	3086

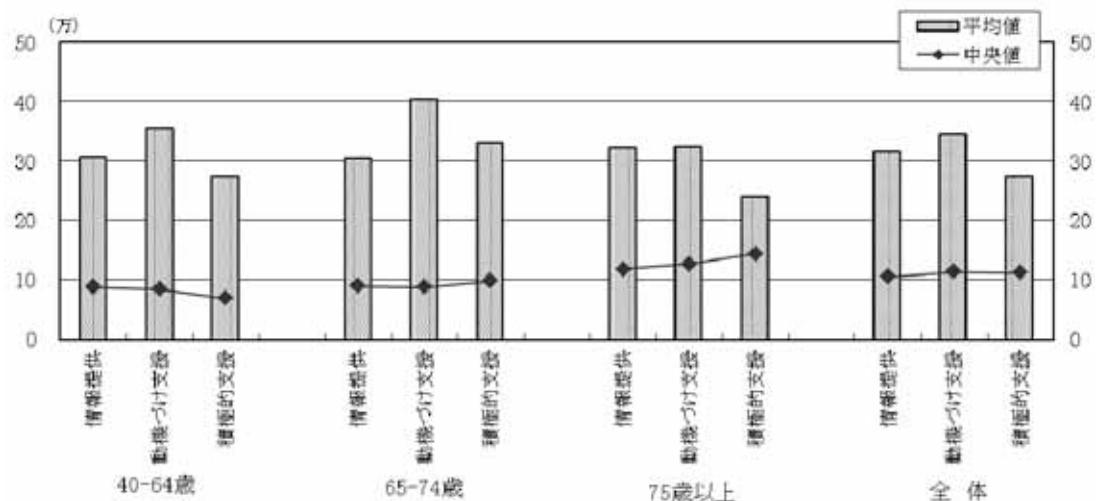
・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも動機づけ支援群の平均診療費が最も高くなっていた。

全体でも、動機づけ支援群の平均診療費が最も高く、積極的支援群が最も低くなっていた。

昨年の調査では動機付け支援群の平均診療費が最も低く、昨年と異なっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報提供	307320	87870	305090	89670	322930	118040	315540	105530
動機づけ支援	354800	84480	404070	87540	323660	126600	345320	113520
積極的支援	274190	69020	330250	98040	240040	143760	273490	111990
全 体	319330	85040	338610	89630	316930	122820	323640	109320



虚血性心疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

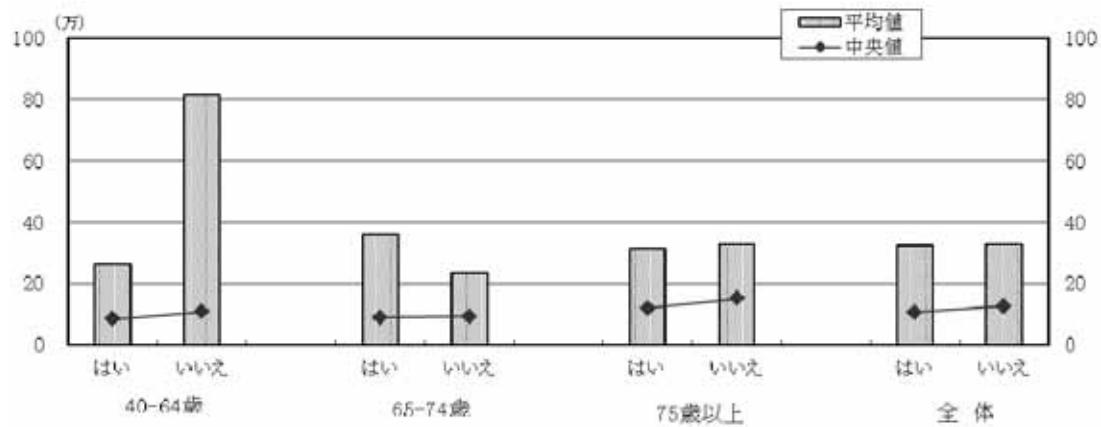
虚血性心疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
は い	223	765	1474	2462
い いえ	28	144	404	576
無 回 答	7	17	24	48
計	258	926	1902	3086

・診療費（一人あたり1年間、円）

平均値では65-74歳で「何でもかんべ食べられる」の質問項目に対し「はい」と答えた群の方が高くなっていたが、中央値では全ての年齢層で「いいえ」と答えた群の方が高かった。
全体でも「はい」と答えた群の方が平均値、中央値とも低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	265270	84840	362980	89400	314510	119040	325110	105840
い いえ	815470	108620	235370	92580	327050	150570	327880	126680
全 体	319330	85040	338610	89630	316930	122820	323640	109320



脳血管疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

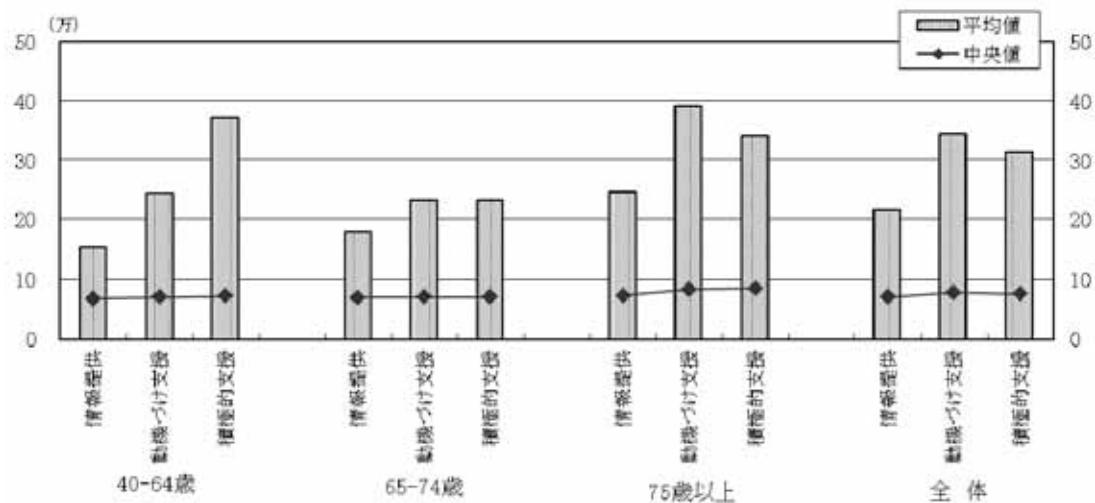
脳血管疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
情報 提 供	190	738	1366	2294
動機づけ支援	116	473	1344	1933
積極的 支援	47	122	272	441
計	353	1333	2982	4668

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも情報提供群の平均診療費が最も低かった。65-74歳と75歳以上では、動機づけ支援群の方が積極的支援群より平均診療費が高く、全体でも動機づけ支援群の診療費が高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報 提 供	153690	67890	179130	70050	246220	73110	216970	70500
動機づけ支援	244150	70500	232720	70500	391820	83360	344020	78000
積極的 支援	372560	72540	231800	70500	340530	85020	313860	76230
全 体	212560	70500	202970	70500	320440	78000	278740	72590



脳血管疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

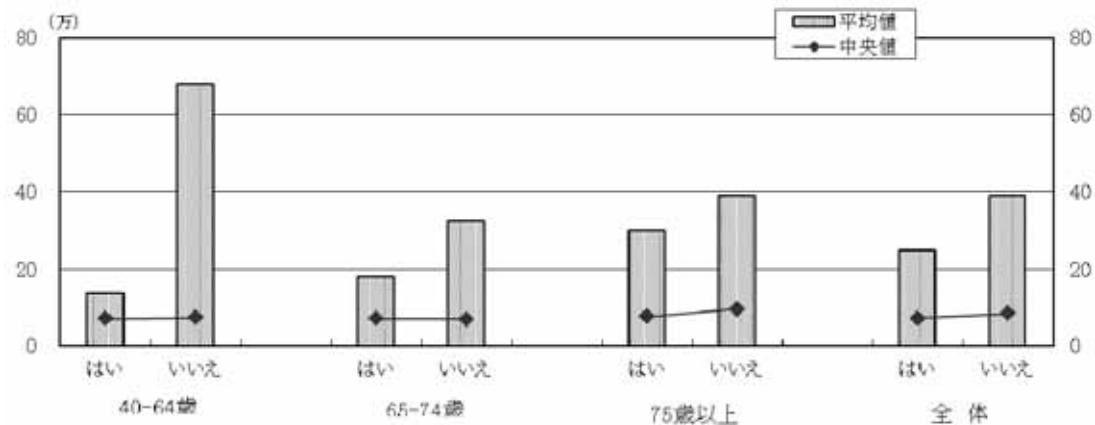
脳血管疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
は い	300	1104	2198	3602
い いえ	50	219	743	1012
無 回 答	3	10	41	54
計	353	1333	2982	4668

・診療費(一人あたり1年間、円)

各年齢階級とも「何でもかんべ食べられる」の質問項目に対し「はい」と答えた群の方が平均診療費が低くなっていた。全体でも、「はい」と答えた群は方「いいえ」と答えた群より平均診療費が約14万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	136520	70500	179910	70500	298550	75870	248690	71100
い いえ	679140	72750	323610	69300	387120	95400	387810	83940
全 体	212560	70500	202970	70500	320440	78000	278740	72590



糖尿病 年齢階級別歯科階層化判定別

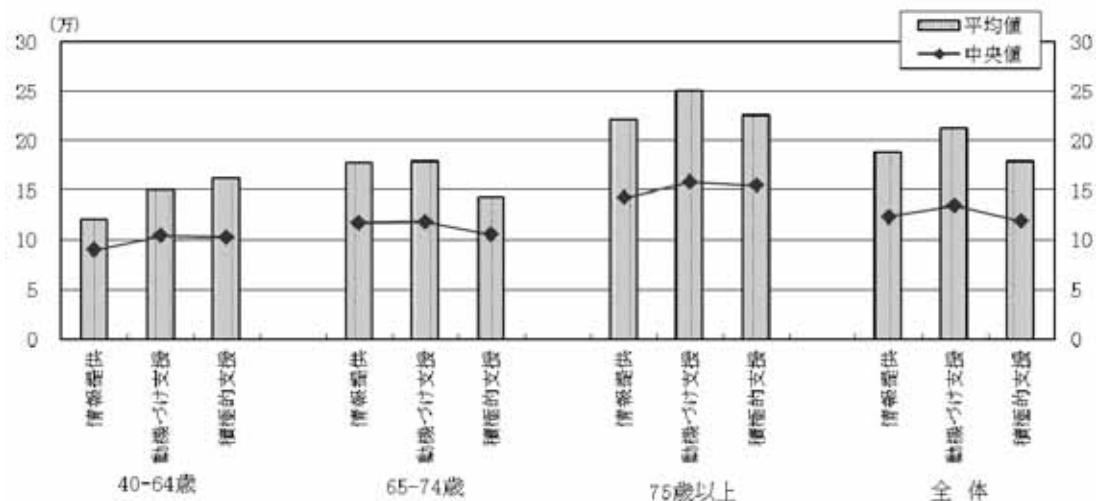
糖尿病の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
情報提供	459	1355	1408	3222
動機づけ支援	360	847	1295	2502
積極的支援	115	236	219	570
計	934	2438	2922	6294

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳、75歳以上では動機づけ支援群の平均診療費が最も高く、全体においても動機づけ支援群の診療費が最も高かった。40-64歳では、平均値では、歯階層化判定が重度なほどが高くなっていたが、中央値では動機づけ支援群の診療費が最も高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報提供	119700	88920	177700	116640	221430	141720	188550	122810
動機づけ支援	149400	103640	179090	117240	250660	157860	211860	133880
積極的支援	162530	101880	142680	104450	225430	154020	178480	117870
全 体	136420	98450	174800	114740	234680	150620	196900	126290



糖尿病 年齢階級別歯科質問項目1回答別

糖尿病の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

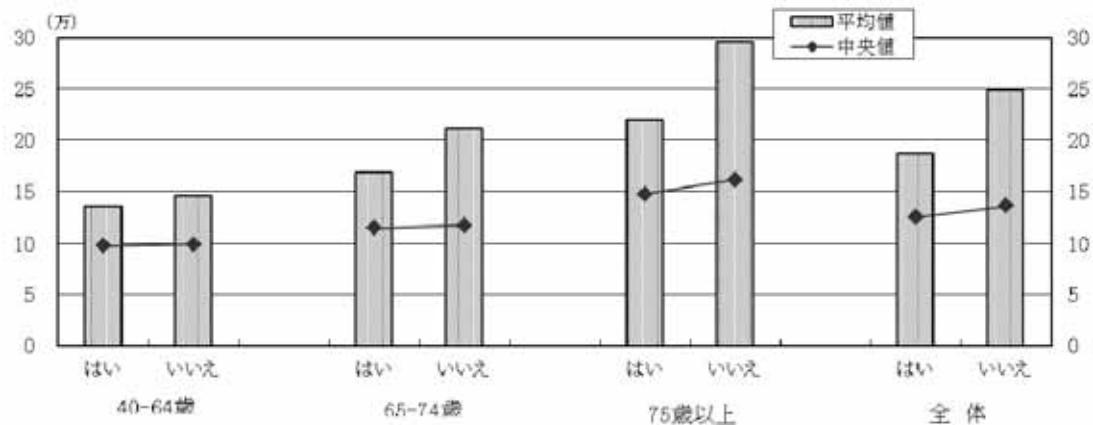
	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
は い	804	2058	2320	5182
い いえ	127	360	560	1047
無 回 答	3	20	42	65
計	934	2438	2922	6294

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも「何でもかんべ食べられる」の質問項目に対し「はい」と答えた群の方が平均値、中央値とも低くなっていた。

全体でも、「はい」と答えた群は「いいえ」と答えた群より平均診療費が約6万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	135060	97680	168310	114380	219930	147420	186260	124650
い いえ	145640	99210	212160	117320	296090	161030	248980	135480
全 体	136420	98450	174800	114740	234680	150620	196900	126290



高血圧性疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

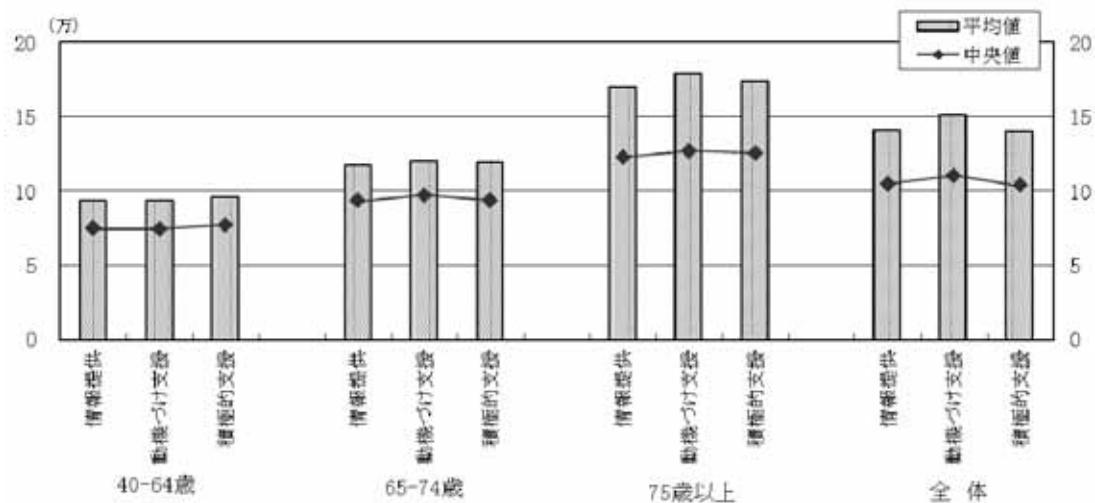
高血圧性疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
情報提供	1557	5147	6776	13480
動機づけ支援	1331	3394	6599	11324
積極的支援	498	911	1183	2592
計	3386	9452	14558	27396

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳、75歳以上では動機づけ支援群の平均医療費が最も高く、40-64歳では積極的支援群の医療費が最も高かったが、いずれの年齢階級においても各群の間で平均値、中央値ともその差は小さかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報提供	93840	74640	117290	93060	169560	122630	140860	104400
動機づけ支援	93670	74280	120210	97010	178570	126540	151100	109980
積極的支援	95550	76880	119540	93390	174000	125100	139790	103680
全 体	94030	74790	118550	94680	174000	124590	144990	106620



高血圧性疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

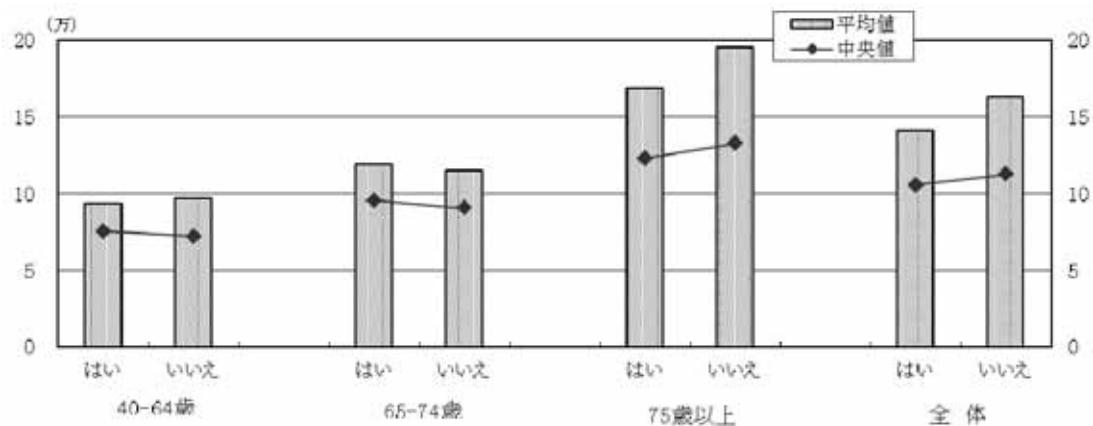
高血圧性疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
は い	2980	8125	11662	22767
い いえ	390	1273	2681	4344
無 回 答	16	54	215	285
計	3386	9452	14558	27396

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳では、「何でもかんで食べられる」の質問項目に対し「はい」と答えた群の方が平均値、中央値とも高くなっていたが、75歳以上では、「はい」と答えた群の方が平均値、中央値とも低くなっていた。全体では、「はい」と答えた群の方が「いいえ」と答えた群より平均診療費が約2万円低かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	93790	75300	119280	95580	168550	122760	141180	105420
い いえ	97100	72110	115290	90420	195160	132720	162950	112640
全 体	94030	74790	118550	94680	174000	124590	144990	106620



動脈硬化症 年齢階級別歯科階層化判定別

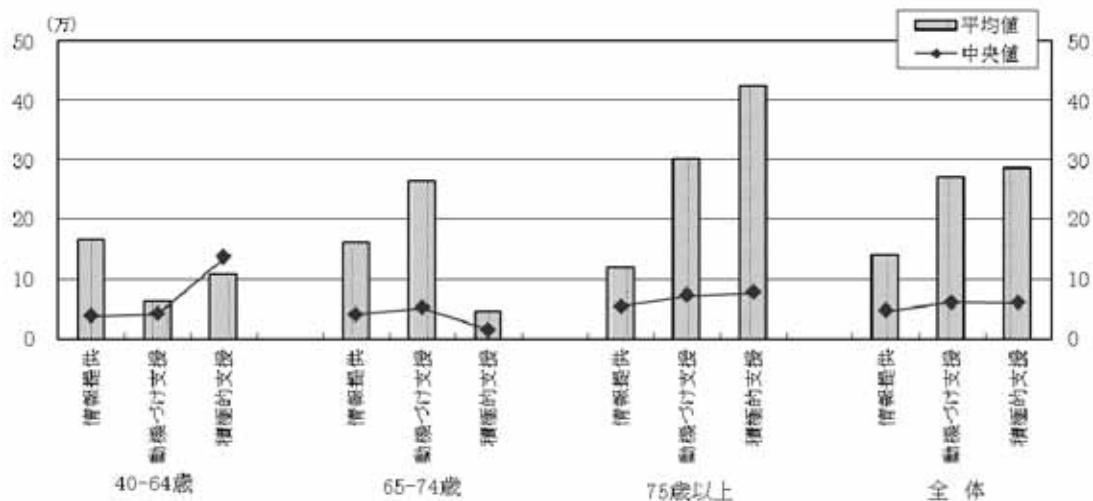
動脈硬化症の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
情報 提 供	19	64	93	176
動機づけ支援	13	45	95	153
積極的 支援	3	10	21	34
計	35	119	209	363

・診療費（一人あたり1年間、円）

対象者が少なく、各年齢階級においてばらつきがあるが、全体では歯科階層化判定が重度なほど平均診療費が高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報 提 供	165380	37620	160360	40610	120450	54570	139820	46080
動機づけ支援	63930	41010	264080	51930	301310	72600	270190	60930
積極的 支援	108240	136500	45420	14180	424680	77820	285210	60450
全 体	122800	41010	189920	46500	233230	66300	208390	55230



動脈硬化症 年齢階級別歯科質問項目1回答別

動脈硬化症の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
は い	30	102	152	284
い い え	4	16	50	70
無 回 答	1	1	7	9
計	35	119	209	363

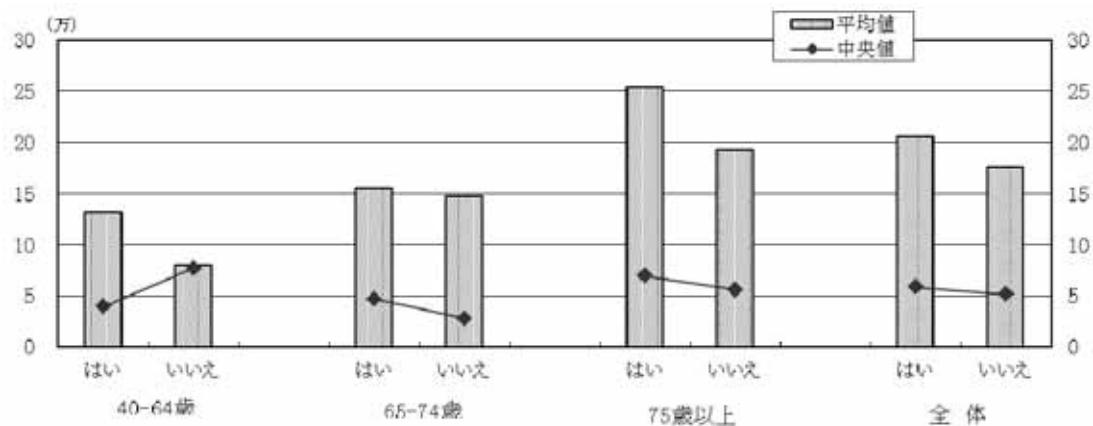
・診療費（一人あたり1年間、円）

他の主要疾患と異なり、各年齢階級とも「何でもかんで食べられる」の質問項目に対し「はい」と答えた群の方が平均診療費が高くなっていた。

全体でも、「はい」と答えた群の方が約3万円平均診療費が高くなっていた。

これらの傾向は、昨年も同じであった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	131800	39320	155510	47070	254060	69240	205750	58200
い い え	80850	76790	147590	27800	192340	55920	175740	51600
全 体	122800	41010	189920	46500	233230	66300	208390	55230



歯の疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

歯の疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

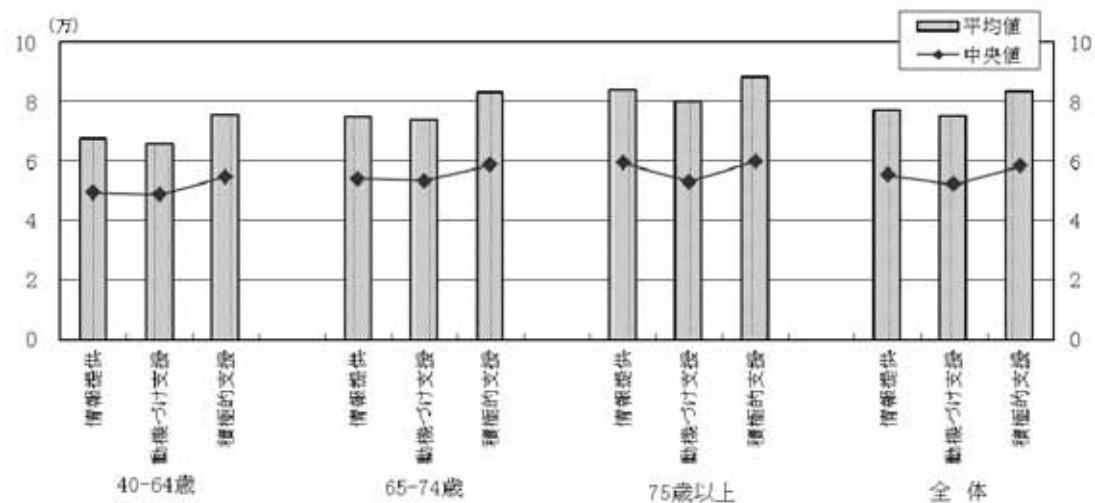
	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
情報提供	4794	10632	10874	26300
動機づけ支援	1749	3086	4383	9218
積極的支援	719	1079	1210	3008
計	7262	14797	16467	38526

・診療費（一人あたり1年間、円）

全ての年齢階級において積極的支援群の平均診療費が最も高く、動機づけ支援群が最も平低かった。

全体では、積極的支援群は、動機づけ支援群より約8千円平均診療費が高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報提供	67660	49380	74740	54060	83870	59280	77220	55220
動機づけ支援	65800	48600	73710	53280	80140	52950	75270	52110
積極的支援	75570	54660	83160	58620	88320	59870	83420	58290
全 体	67990	49490	75140	54330	83210	57810	77240	54720



歯の疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

歯の疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

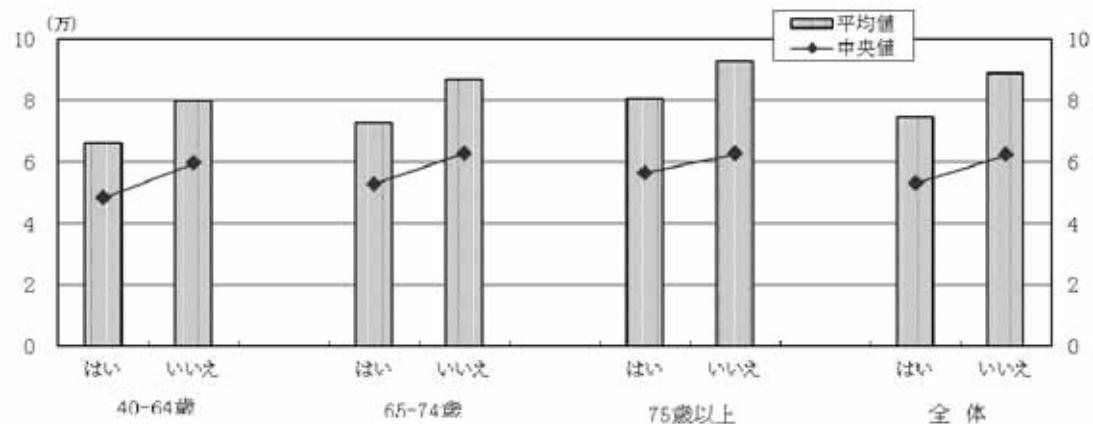
	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
は い	6341	12471	12897	31709
い いえ	895	2229	3404	6528
無 回 答	26	97	166	289
計	7262	14797	16467	38526

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも「何でもかんべ食べられる」の質問項目に対し「はい」と答えた群の方が平均値、中央値とも低くなっていた。診療費の平均は年齢階級が上がるほど高くなり、質問項目回答間の差は年齢階層が上がるほど小さくなっていた。

全体では、「はい」と答えた群の方が「いいえ」と答えた群より約1.4万円平均診療費が低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	66220	48300	72900	52710	80680	56340	74730	53100
い いえ	79840	59670	87040	62760	92890	62610	89100	62300
全 体	67990	49490	75140	54330	83210	57810	77240	54720



(4) 生活習慣病に関する分析

生活習慣病 年齢階級別歯科階層化判定別

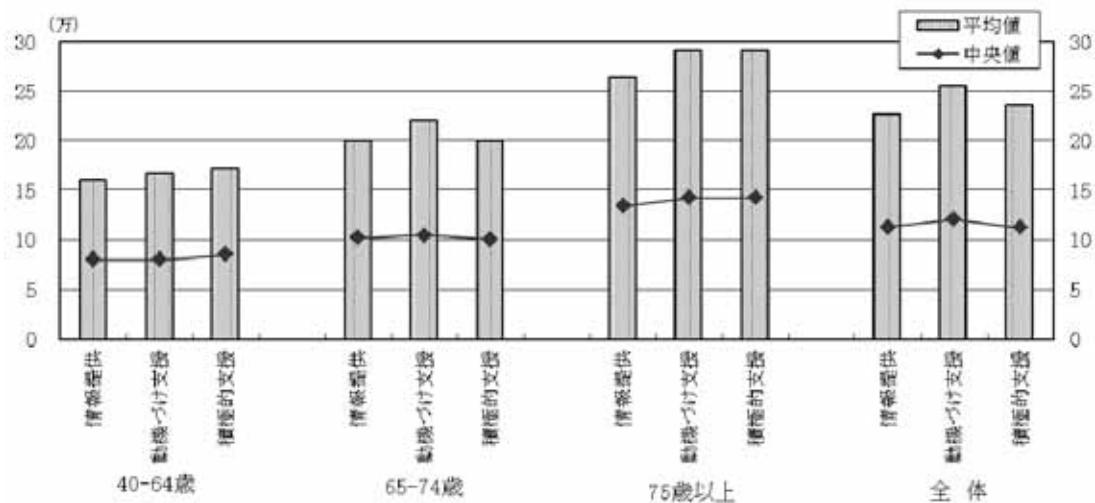
生活習慣病の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
情報提供	2557	8201	10627	21385
動機づけ支援	2093	5155	10143	17391
積極的支援	739	1392	1829	3960
計	5389	14748	22599	42736

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳では積極的支援群が最も診療費が低かったが、40-65歳、75歳以上では、情報提供群が最も低く、歯科階層化判定が重度なほど高くなっていた。全体では、情報提供群が最も低く、動機づけ支援群が最も高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情報提供	160340	79920	199440	101190	263840	133590	226770	112260
動機づけ支援	166360	79800	220270	103920	291070	141660	255070	119970
積極的支援	171590	84990	199170	99810	290430	141810	236180	111590
全 体	164220	80220	206700	102120	278210	137340	239160	115410



生活習慣病 年齢階級別歯科質問項目1回答別

生活習慣病の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

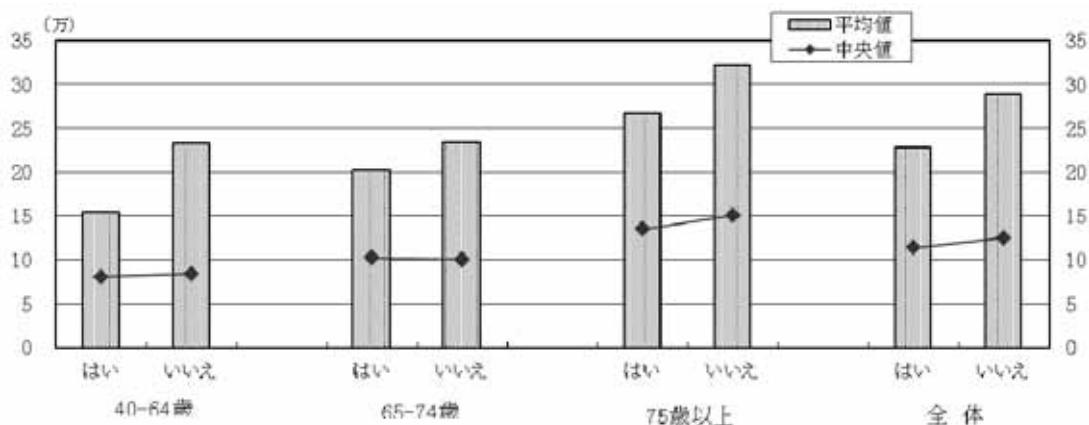
	40-64歳代	64-75歳代	75歳以上	全 体
は い	4737	12565	17839	35141
い い え	621	2082	4441	7144
無 回 答	31	101	319	451
計	5389	14748	22599	42736

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも「何でもかんべ食べられる」の質問項目に対し「はい」と答えた群の方が平均診療費が低くなっていた。

全体でも、「はい」と答えた群の方が「いいえ」と答えた群より平均診療費が約6万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	154830	80190	202400	102270	267020	134880	228790	113640
い い え	233250	83700	234440	100490	322190	150480	288890	124710
全 体	164220	80220	206700	102120	278210	137340	239160	115410



まとめ・考察（Ⅲ）

歯科階層化判定と診療日数、診療費の関係

- 平成 22 年度特定健診受診者について、歯科質問項目から歯科階層化判定を行い、この階層化判定と診療日数・診療費との関係を分析した結果、診療日数については、歯科階層化判定による大きな差は認められなかった。診療費については、わずかな差ではあるが、医科・調剤では動機づけ支援群が最も高く、歯科では積極的支援群が最も高くなっていた。

歯科質問項目1の回答と診療日数、診療費の関係

- 特定健診の歯科質問項目 1 「何でもかんで食べられる」の回答と診療日数、診療費の関係を分析した結果、医科・歯科・調剤とも、「はい」と答えた群は「いいえ」と答えた群より診療日数・診療費とも少なくなっていた。「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群は、「いいえ」と答えた群に比べ平均で約 9 日医科診療日数が少なく、約 10 万円医科診療費が低くなっていた。

主要疾患別における歯科階層化判定と診療費の関係

- 主要疾患別診療費を分析した結果、歯科階層化判定別では、悪性新生物と動脈硬化症で、歯科階層化判定が重くなるほど診療費が高くなっていた。

主要疾患別における歯科質問項目1の回答と診療費の関係

- 主要疾患別診療費を分析した結果、歯科質問項目 1 「何でもかんで食べられる」回答別では、悪性新生物、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、歯の疾患で、「はい」と答えた群の方が平均診療費が低くなっていた。動脈硬化症においては昨年と同様に、「はい」と答えた群の方が診療費が高く、他の疾患とは逆の傾向になっていた。尚、動脈硬化症は対象人数が特に少なかった。

歯科階層化判定及び歯科質問項目1の回答と生活習慣病の診療費の関係

- 生活習慣病に関する分析において、歯科階層化判定別では、情報提供群の診療費が最も低かったが、積極的支援群よりも動機づけ支援群の方が診療費が高くなっていた。歯科質問項目 1 の回答別では、「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群は「いいえ」と答えた群より平均診療費が約 6 万円低くなっていた。

まとめ

- 歯科質問項目 1 の回答別では「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方がおむね診療費が少なくなる傾向が見られた。しかし、歯科階層化判定区分では、診療費との間に一定の傾向を見いだすことが出来なかつた。
これらの結果は、昨年の結果とほぼ同様であり、その要因を検討するために、今回は更に、歯科階層化判定別や歯科質問項目 1 回答別と残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度との関係を分析した。その結果を IV に記した。

IV 平成 22 年度特定健診受診者のうち平成 23 年 5 月に歯科を受診した者の状況

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成 22 年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答を入手できた者のうち、平成 23 年 5 月に歯科を受診し、歯科レセプトに残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度が記載された者 5,984 人を対象者とした。

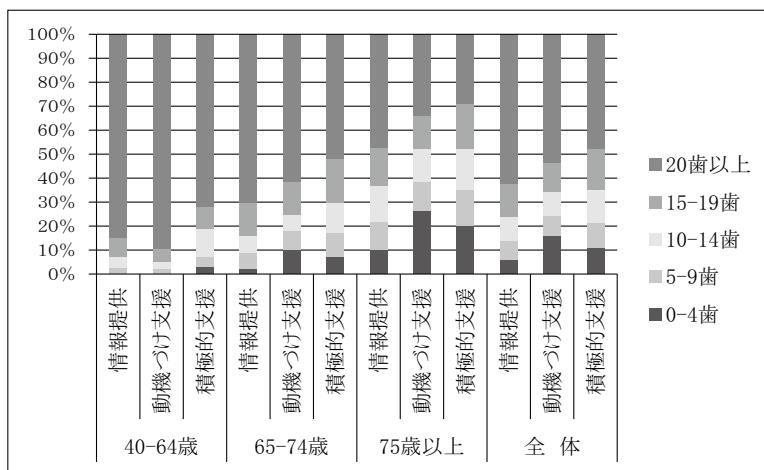
特定健診受診者の歯科質問票から分類された歯科階層化判定別と歯科質問項目 1 「何でもかんで食べられる」回答別に残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度について 40-64 歳、65-75 歳、75 歳以上に分類して分析を行った。

二 調査・分析結果

(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

1-1 歯科階層化判定別残存歯数

年齢階級	階層化判定	人 数					
		総数	0- 4 歯	5- 9 歙	10-14 歙	15-19 歙	20 歙以上
40-64 歳	情報提供	602	6	12	26	49	509
	動機づけ支援	244	2	4	8	13	217
	積極的支援	99	3	4	12	9	71
65-74 歳	情報提供	1696	47	104	127	231	1187
	動機づけ支援	493	51	37	34	69	302
	積極的支援	212	15	22	26	39	110
75 歳以上	情報提供	1832	186	219	266	299	862
	動機づけ支援	629	166	79	86	85	213
	積極的支援	177	36	27	29	34	51
全 体	情報提供	4130	239	335	419	579	2558
	動機づけ支援	1366	219	120	128	167	732
	積極的支援	488	54	53	67	82	232
割 合							
40-64 歳	情報提供	100%	1.0%	2.0%	4.3%	8.1%	84.6%
	動機づけ支援	100%	0.8%	1.6%	3.3%	5.3%	88.9%
	積極的支援	100%	3.0%	4.0%	12.1%	9.1%	71.7%
65-74 歳	情報提供	100%	2.8%	6.1%	7.5%	13.6%	70.0%
	動機づけ支援	100%	10.3%	7.5%	6.9%	14.0%	61.3%
	積極的支援	100%	7.1%	10.4%	12.3%	18.4%	51.9%
75 歳以上	情報提供	100%	10.2%	12.0%	14.5%	16.3%	47.1%
	動機づけ支援	100%	26.4%	12.6%	13.7%	13.5%	33.9%
	積極的支援	100%	20.3%	15.3%	16.4%	19.2%	28.8%
全 体	情報提供	100%	5.8%	8.1%	10.1%	14.0%	61.9%
	動機づけ支援	100%	16.0%	8.8%	9.4%	12.2%	53.6%
	積極的支援	100%	11.1%	10.9%	13.7%	16.8%	47.5%

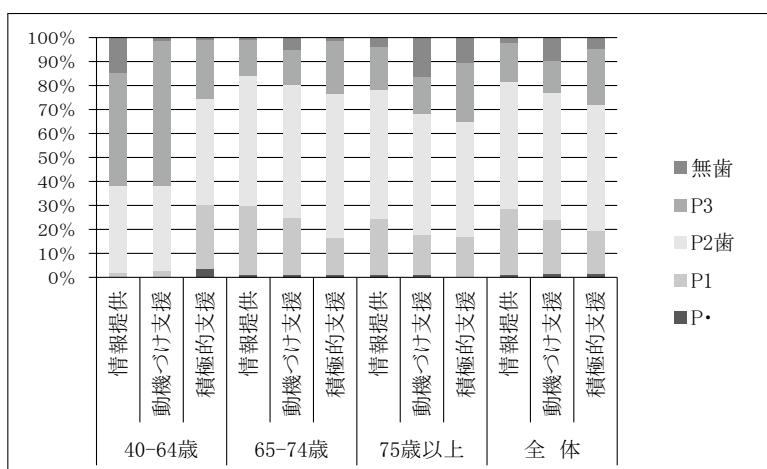


歯科階層化判定と残存歯数との関係は、全体では、情報提供群、動機づけ支援群、積極的支援群と支援の程度が重くなる程、20歯以上の者の割合が少ない傾向にあった。しかし、0-4歯の者の割合は、積極的支援群より動機づけ支援群の方が多かった。

年齢階級別では、20歯以上の者の割合は、65-74歳と75歳以上では支援の程度が重くなる程少ない傾向にあったものの、40-64歳では、動機づけ支援群よりも情報提供群の方が少なかった。また、0-4歯の者の割合は、75歳以上で積極的支援群より動機づけ支援群の方が多かった。

1-2 歯科階層化判定別歯周病の程度

年齢階級	階層化判定	人 数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無歯
40-64 歳	情報提供	602	13	219	283	87	0
	動機づけ支援	244	7	87	128	19	3
	積極的支援	99	4	26	44	24	1
65-74 歳	情報提供	1696	25	479	924	253	15
	動機づけ支援	493	7	115	274	74	23
	積極的支援	212	3	32	128	46	3
75 歳以上	情報提供	1832	22	424	986	326	74
	動機づけ支援	629	8	106	316	97	102
	積極的支援	177	1	29	85	44	18
全 体	情報提供	4130	60	1122	2193	666	89
	動機づけ支援	1366	22	308	718	190	128
	積極的支援	488	8	87	257	114	22
割 合							
40-64 歳	情報提供	100%	2.2%	36.4%	47.0%	14.5%	0.0%
	動機づけ支援	100%	2.9%	35.7%	52.5%	7.8%	1.2%
	積極的支援	100%	4.0%	26.3%	44.4%	24.2%	1.0%
65-74 歳	情報提供	100%	1.5%	28.2%	54.5%	14.9%	0.9%
	動機づけ支援	100%	1.4%	23.3%	55.6%	15.0%	4.7%
	積極的支援	100%	1.4%	15.1%	60.4%	21.7%	1.4%
75 歳以上	情報提供	100%	1.2%	23.1%	53.8%	17.8%	4.0%
	動機づけ支援	100%	1.3%	16.9%	50.2%	15.4%	16.2%
	積極的支援	100%	0.6%	16.4%	48.0%	24.9%	10.2%
全 体	情報提供	100%	1.5%	27.2%	53.1%	16.1%	2.2%
	動機づけ支援	100%	1.6%	22.5%	52.6%	13.9%	9.4%
	積極的支援	100%	1.6%	17.8%	52.7%	23.4%	4.5%

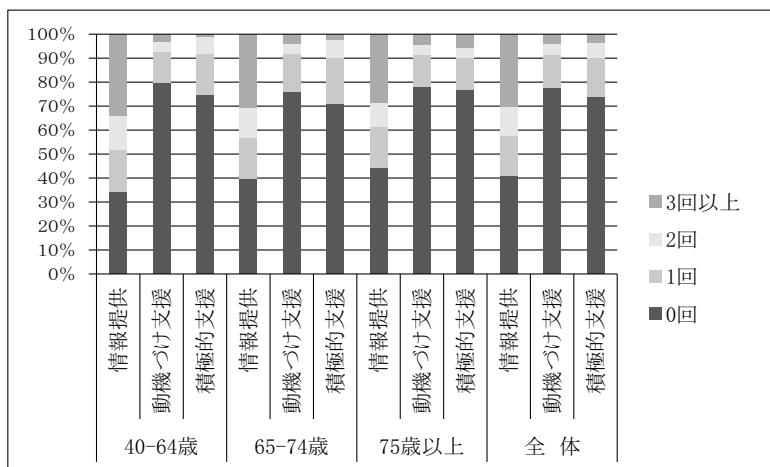


歯科階層化判定と歯周病の程度との関係は、全体では、情報提供群、動機づけ支援群、積極的支援群と支援の程度が重くなる程、P-およびP1の者の割合が少なく、P3および無歯の割合が多くなる傾向にあった。P2の者の割合は各階層でほぼ同じであった。しかし、積極的支援群より動機づけ支援群の方が無歯の者の割合は多かった。

年齢階級別では、65-74 歳と 75 歳以上では支援の程度が重くなる程、P-およびP1の者の割合が少なく、P3および無歯の割合が多くなる傾向にあったものの、無歯の割合に限って見てみると、動機づけ支援群が一番多かった。40-64 歳では、動機づけ支援群よりも情報提供群の方がP3の割合が多かった。

1-3 歯科階層化判定別歯科健診受診頻度

年齢階級	階層化判定	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64 歳	情報提供	602	209	104	85	204
	動機づけ支援	244	195	31	11	7
	積極的支援	99	74	17	7	1
65-74 歳	情報提供	1696	672	289	219	516
	動機づけ支援	493	375	77	22	19
	積極的支援	212	151	41	15	5
75 歳以上	情報提供	1832	814	314	190	514
	動機づけ支援	629	492	86	25	26
	積極的支援	177	136	24	7	10
全 体	情報提供	4130	1695	707	494	1234
	動機づけ支援	1366	1062	194	58	52
	積極的支援	488	361	82	29	16
割 合						
40-64 歳	情報提供	100%	34.7%	17.3%	14.1%	33.9%
	動機づけ支援	100%	79.9%	12.7%	4.5%	2.9%
	積極的支援	100%	74.7%	17.2%	7.1%	1.0%
65-74 歳	情報提供	100%	39.6%	17.0%	12.9%	30.4%
	動機づけ支援	100%	76.1%	15.6%	4.5%	3.9%
	積極的支援	100%	71.2%	19.3%	7.1%	2.4%
75 歳以上	情報提供	100%	44.4%	17.1%	10.4%	28.1%
	動機づけ支援	100%	78.2%	13.7%	4.0%	4.1%
	積極的支援	100%	76.8%	13.6%	4.0%	5.6%
全 体	情報提供	100%	41.0%	17.1%	12.0%	29.9%
	動機づけ支援	100%	77.7%	14.2%	4.2%	3.8%
	積極的支援	100%	74.0%	16.8%	5.9%	3.3%



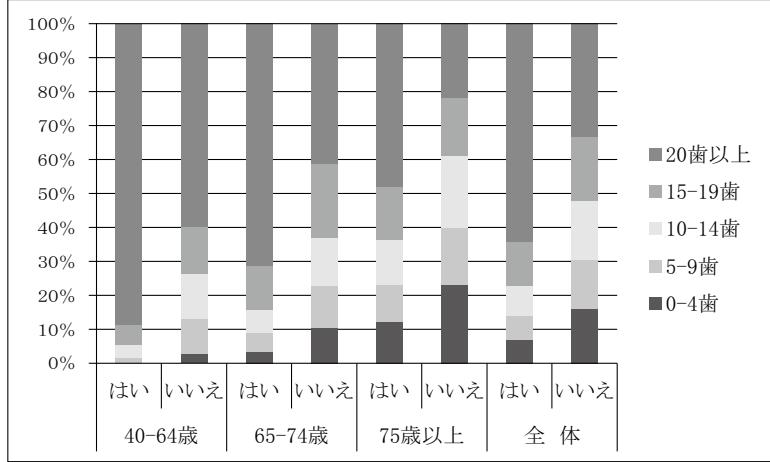
歯科階層化判定と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、情報提供群と支援群の間で大きく傾向が分かれた。情報提供群では歯科健診受診 0 回が 41.0% だが、動機づけ支援群は 77.7%、積極的支援群は 74.0% で大きな差があった。また、わずかだが動機づけ支援群の方が積極的支援群よりも歯科健診受診 0 回の割合が多かった。

年齢階級別では、各年齢階級とも歯科健診受診 0 回は、情報提供群が 4 割前後と少なく、動機づけ支援群と積極的支援群が 7 割 5 分前後と高かった。また、年齢階級が高くなる程、やや歯科健診受診頻度が少なくなる傾向にあった。

(2)歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

2-1 歯科質問項目1別残存歯数

年齢階級	問診 1	人 数					
		総数	0~4 歯	5~9 歯	10~14 歯	15~19 歙	20 歯以上
40~64 歳	はい	810	7	7	29	53	714
	いいえ	129	4	13	17	18	77
	無回答	6	0	0	0	0	6
65~74 歳	はい	2020	73	117	134	257	1439
	いいえ	367	39	45	52	81	150
	無回答	14	1	1	1	1	10
75 歳以上	はい	2088	259	234	268	324	1003
	いいえ	521	121	88	109	90	113
	無回答	29	8	3	4	4	10
全 体	はい	4918	339	358	431	634	3156
	いいえ	1017	164	146	178	189	340
	無回答	49	9	4	5	5	26
		割 合					
40~64 歳	はい	100%	0.9%	0.9%	3.6%	6.5%	88.1%
	いいえ	100%	3.1%	10.1%	13.2%	14.0%	59.7%
65~74 歳	はい	100%	3.6%	5.8%	6.6%	12.7%	71.2%
	いいえ	100%	10.6%	12.3%	14.2%	22.1%	40.9%
75 歳以上	はい	100%	12.4%	11.2%	12.8%	15.5%	48.0%
	いいえ	100%	23.2%	16.9%	20.9%	17.3%	21.7%
全 体	はい	100%	6.9%	7.3%	8.8%	12.9%	64.2%
	いいえ	100%	16.1%	14.4%	17.5%	18.6%	33.4%

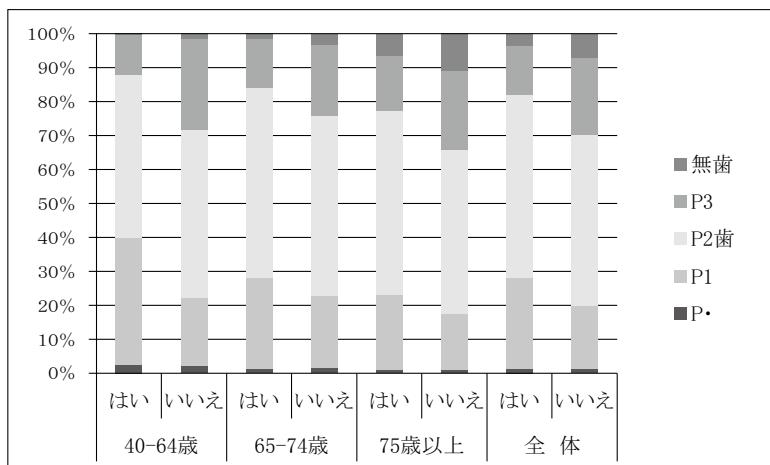


歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と残存歯数との関係は、全体では、20 歯以上ある者の割合は、「はい」と答えた群が 64.2%「いいえ」と答えた群が 33.4%と、「はい」答えた群が約 2 倍多かった。

年齢階級別では、40~64 歳、65~74 歳、75 歳以上のいずれにおいても 20 歯以上ある者の割合は「はい」と答えた群が「いいえ」と答えた群より約 3 割多く、残存歯数は年齢階級が進むにつれ減少していた。何でもかんで食べられるかで一番大きな差があるのは全ての年齢階級で 20 歯以上だが、2 番目に差があるのは各年齢階級で異なり、75 歳以上で 0~4 歯、65~74 歳で 15~19 歯、40~64 歳で 10~14 歯であった。

2-2 歯科質問項目1別歯周病の程度

年齢階級	問診 1	人 数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無歯
40-64 歳	はい	810	21	304	388	95	2
	いいえ	129	3	26	64	34	2
	無回答	6	0	2	3	1	0
65-74 歳	はい	2020	28	546	1123	294	29
	いいえ	367	7	77	194	78	11
	無回答	14	0	3	9	1	1
75 歳以上	はい	2088	24	467	1124	342	131
	いいえ	521	6	86	251	121	57
	無回答	29	1	6	12	4	6
全 体	はい	4918	73	1317	2635	731	162
	いいえ	1017	16	189	509	233	70
	無回答	49	1	11	24	6	7
		割 合					
40-64 歳	はい	100%	2.6%	37.5%	47.9%	11.7%	0.2%
	いいえ	100%	2.3%	20.2%	49.6%	26.4%	1.6%
65-74 歳	はい	100%	1.4%	27.0%	55.6%	14.6%	1.4%
	いいえ	100%	1.9%	21.0%	52.9%	21.3%	3.0%
75 歳以上	はい	100%	1.1%	22.4%	53.8%	16.4%	6.3%
	いいえ	100%	1.2%	16.5%	48.2%	23.2%	10.9%
全 体	はい	100%	1.5%	26.8%	53.6%	14.9%	3.3%
	いいえ	100%	1.6%	18.6%	50.0%	22.9%	6.9%

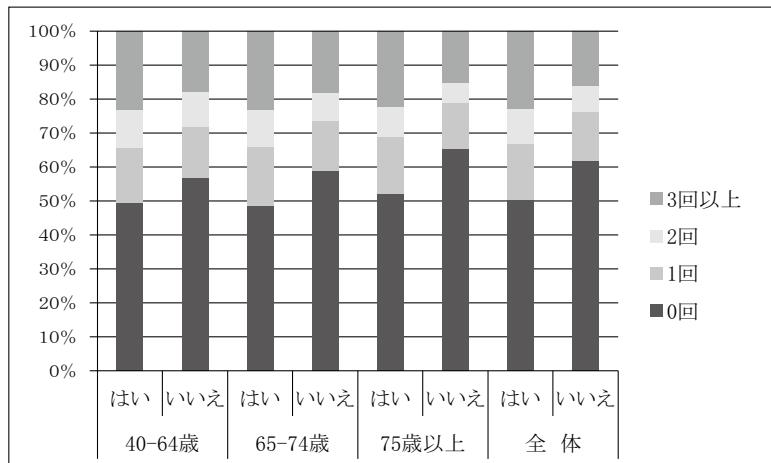


歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と歯周病の程度との関係は、全体では、P-およびP1の割合が「はい」と答えた群で約 28%、「いいえ」と答えた群で約 20%と、「はい」と答えた群が約 8%多く、また、P3および無歯の割合が「はい」と答えた群で約 18%、「いいえ」と答えた群で約 30%と、「いいえ」と答えた群が約 12%多く、「いいえ」と答えた群の方が歯周病が重度の者の割合が多かった。

年齢階級別では、40-64 歳、65-74 歳、75 歳以上のいずれにおいても「はい」と答えた群より「いいえ」と答えた群の方が歯周病が重度の者の割合が多く、歯周病の程度の差が最も大きかつたのは 40-64 歳であった。

2-3 歯科質問項目1別歯科健診受診頻度

年齢階級	問診 1	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64 歳	はい	810	401	131	90	188
	いいえ	129	73	20	13	23
	無回答	6	4	1	0	1
65-74 歳	はい	2020	980	350	224	466
	いいえ	367	215	55	31	66
	無回答	14	3	2	1	8
75 歳以上	はい	2088	1086	346	188	468
	いいえ	521	340	71	32	78
	無回答	29	16	7	2	4
全 体	はい	4918	2467	827	502	1122
	いいえ	1017	628	146	76	167
	無回答	49	23	10	3	13
		割 合				
40-64 歳	はい	100%	49.5%	16.2%	11.1%	23.2%
	いいえ	100%	56.6%	15.5%	10.1%	17.8%
65-74 歳	はい	100%	48.5%	17.3%	11.1%	23.1%
	いいえ	100%	58.6%	15.0%	8.4%	18.0%
75 歳以上	はい	100%	52.0%	16.6%	9.0%	22.4%
	いいえ	100%	65.3%	13.6%	6.1%	15.0%
全 体	はい	100%	50.2%	16.8%	10.2%	22.8%
	いいえ	100%	61.8%	14.4%	7.5%	16.4%



歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、「いいえ」と答えた群の方が「はい」と答えた群より歯科健診受診頻度が少ない傾向にあった。歯科健診受診頻度 0 回の者の割合は「はい」と答えた群が「いいえ」と答えた群より約 12%少なく、歯科受診頻度 3 回以上の者の割合は「はい」と答えた群が「いいえ」と答えた群より約 9%多かった。

年齢階級別では、40-64 歳、65-74 歳、75 歳以上のいずれにおいても「はい」と答えた群より「いいえ」と答えた群の方が受診頻度が少なくなる傾向が見られたが、その差が最も大きかったのは 75 歳以上であった。

まとめ・考察 (IV)

歯科階層化判定別残存歯数

- ・全体の傾向として歯科階層化判定で支援の程度が重い者ほど残存歯が少なくなっていたが、0-4 歯の者の割合については動機づけ支援群が一番多かった。
- ・年齢階級別にみると、40-64 歳では動機づけ支援群の方が情報提供群より残存歯数が多いという特徴が見られ、65 歳以上と異なっていた。したがって、若年層ほど歯科階層化判定は残存歯数を反映していない。
- ・65 歳以上では動機づけ支援群の方が積極的支援群より 0-4 歯の者の割合が多いという特徴が見られ、この傾向は、65-74 歳より 75 歳以上でより強く認められた。
- ・以上から、歯科階層化判定は、20 歯以上の歯を持つ者の割合を反映していたが、極端に歯の数が少ない者に関してはこれが当てはまらない。

歯科階層化判定別歯周病の程度

- ・全体の傾向として歯科階層化判定で支援の程度が重い者ほど歯周病の程度が重くなっていたが、無歯の者の割合については動機づけ支援群が一番多かった。
- ・年齢階級別にみると、40-64 歳では動機づけ支援群の方が情報提供群より重度歯周病の割合が少ないという特徴が見られ、65 歳以上と異なっていた。
- ・65 歳以上では動機づけ支援群の方が積極的支援群より無歯の者の割合が多いという特徴が見られ、この傾向は、65-74 歳より 75 歳以上でより強く認められた。
- ・以上から、歯科階層化判定は、歯周病の重症度を反映していたが、動機づけ支援群に無歯の者が多く含まれており、また、積極的支援群にも無歯の者が相当数含まれている。
- ・歯科階層化判定は無歯の者に対しては不向きで、年齢階級で一番多い 75 歳以上に無歯の者が多いことから、義歯装着が多くなる 75 歳以上で歯科階層化判定と歯周病の程度についての関係が当てはまらなくなる可能性が示唆された。

歯科階層化判定別歯科健診受診頻度

- ・情報提供群の方が支援群よりも歯科健診受診頻度は明らかに高くなっていたり、歯科階層化判定と歯科健診受診頻度との間に相関があった。これは、階層化の最初のステップが定期受診の有無であることから当然の結果といえる。
- ・動機づけ支援群と積極的支援群の間では、わずかだが動機づけ支援群の方が積極的支援群よりも歯科健診受診頻度が少ない傾向があった。
- ・また、情報提供群で歯科健診受診 0 回の者が全体で 43% 程認められた。これらは、定期健診を受けていないがセルフケアを実施していて歯周病の自覚症状が無い者といえる。

歯科質問項目1別残存歯数

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が残存歯数が少なく、どの年齢階級においても、その傾向に違いは無かった。

歯科質問項目1別歯周病の程度

- ・各年齢階級とも質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が歯周病が進行しており、どの年齢階級においても、その傾向に違いは無かった。

歯科質問項目1別歯科健診受診頻度

- ・各年齢階級とも質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が歯科健診受診頻度が低く、どの年齢階級においても、その傾向に違いは無かった。また、年齢階級が高くなるほど受診頻度は減っていた。

II に関する考察

- ・Ⅱ平成22年度特定健診受診者の特定健診結果で、BMI、腹囲、HbA1c、喫煙、メタボ判定区分について、40-74歳と75歳以上の年齢区分で、別の傾向が見られた原因について分析した。結果、歯科階層化判定については、75歳以上で残存歯数が極端に少ない者が多く含まれることから、歯周病リスクと関係なく階層化されている可能性が高いことが示唆された。歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度との関係については、特に75歳以上で特別な傾向は見られず、その原因について考察することができなかった。ただ、歯周病の重症度とかめるもの間に相関はあると考えられるが、歯周病が進行して抜歯後に義歯が入った場合、また良く噛めるようになることも考えられるので、そういうことも考える必要があると思われる。よって、義歯装着者の状況も考慮し、歯科質問項目の組み合わせの設定の見直し等、今後、さらに有効な歯科階層化判定を検討していく必要性が示唆された。

IIIに関する考察

- ・Ⅲ平成22年度特定健診受診者の平成22年度一年間の各種医療費の調査結果で、医科と調剤の医療費や主要疾患別分析における虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、また生活習慣病全体において、歯科階層化判定区別で動機づけ支援群の方が、積極的支援群よりも、医療費が高くなっていた原因について分析した。結果、65歳以上の年齢階級では動機づけ支援群の方が積極的支援群より0-4歯の者、特に無歯の者の割合が多いことや歯科健診受診頻度が少ない傾向があり、ここでも歯科階層化判定が必ずしも、口腔内の状況や歯科健康管理の状況を反映していない可能性があることが示唆された。

**平成 23 年度香川県 8020 運動推進特別事業
(香川県歯科医師会委託事業)**

**平成23年度
香川県
歯の健康と医療費に関する実態調査報告書**

平成24年3月発行

(社)香川県歯科医師会

会長 豊嶋 健治

〒760-0020 香川県高松市錦町2丁目8番38号

TEL: 087-851-4965 FAX: 087-822-4948

Eメール: jimu@kashi.or.jp HP: <http://www.kashi.or.jp>